# DocuPrint C1250
## 取扱説明書（設置編）

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

**ご注意**

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

# はじめに

このたびはDocuPrint C1250をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、機械の操作方法、および使用上の注意事項について記載してあります。

製品の性能を十分に発揮させ有効的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

本書を読んだあとも必ず保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合を生じたときに読み直してご活用いただけます。

1999年5月
富士ゼロックス株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。
また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。
このような活動の一環として、DocuPrint C1250に、弊社の品質基準に適合したリサイクル・パーツを使用しております。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

# 目　次

# マニュアル体系について

ここでは、本機のマニュアルの種類と、本体同梱のマニュアルの概要を説明します。

## マニュアルの種類

この製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

### 本体同梱マニュアル

プリンター本体には、いくつかの取扱説明書が同梱されています。この取扱説明書を本体同梱マニュアルと呼びます。
本体同梱マニュアルでは、設置、設定/操作方法などを説明しています。

### オプション製品同梱マニュアル

プリンター本体のほかに、専用の別売品を用意しています。このプリンター専用の別売品にも取扱説明書が同梱されているものがあります。この取扱説明書をオプション製品同梱マニュアルと呼びます。
オプション製品同梱マニュアルでは、オプション製品の取り付け手順、ソフトウェアのインストール手順などを説明しています。

## 本体同梱マニュアル

プリンター本体には、以下のマニュアルが同梱されています。

### 取扱説明書（設置編）　＜本書＞

プリンター本体の設置、オプション製品の取り付け、プリンターの設定、特長、主な仕様、機能上の注意や制限について説明しています。プリンターを設置するときにお読みください。

### 取扱説明書（操作編）

電源の入/切、印刷の中止などの基本的な操作、用紙のセット方法、応用機能の使用方法、プリンターの各種設定項目、障害時の対応、消耗品の交換など、日常プリンターを利用するときに必要なことについて説明しています。

### 取扱説明書（仕様編）

プリンターの特長、主な仕様、機能上の注意や制限について説明しています。
プリンター自体の機能について詳しく知りたいときにお読みください。
なお、このマニュアルは、付属の「DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250電子マニュアル」CD-ROMに、電子マニュアルとして入っています。

### 取扱説明書（ネットワークプリント環境設定編）

ネットワークの環境設定方法について説明しています。このマニュアルは、ネットワーク機能が使用できる場合に、同梱されます。

# 本書の読み方

## 前提知識

本書は、本機を使用するときに、最初に読んでいただきたいマニュアルです。しかし、接続対象となる機器やソフトウェアの基本操作や概念についての知識が十分でないと思われる場合は、本書を読む前に、接続対象先について説明している説明書をお読みください。
なお、接続対象となる機器やソフトウェアとは、プリンターと接続する、PC(パーソナルコンピューター)、ワークステーション、ネットワーク、およびそれらのシステムで作動するOS(オペレーティングシステム)、アプリケーションソフトウェアを指します。

## 前提条件

本書は、本機をはじめて設置するかたが対象です。本書を読む場合には、最初から順に読み進めてください。このとき、購入していない別売品の設置手順や、接続対象ではないシステムに関する部分は読み飛ばしてもかまいません。
また、本書を読み始める前に、次の項目を確認してください。
- 接続対象となる機器やソフトウェアが明確になっていること
- 本機を接続するために必要な製品については、販売店やカタログなどからの情報によってすでに準備できていること

## 本書の構成

本書の各章の内容を次に説明します。

### 第1章　プリンター本体の設置

プリンターの梱包を開け、製品を確認し、プリンター本体を設置するまでの手順を説明しています。

### 第2章　周辺機器・部品の設置

プリンター本体に各種オプション製品を取り付ける手順について説明しています。

### 第3章　インターフェイスの設定

パラレルインターフェイスやEthernetインターフェイスのケーブルの接続や、メモリーの割り当てについて説明しています。

**第4章　ホスト設置側の設定**

プリンターをホスト装置としてパラレルインターフェイスで接続した場合の、ホスト装置側の設定手順を説明しています。設定方法は、ご使用のOS(オペレーティングシステム)により異なります。該当するOSについての記載を参照してください。

**第5章　設置時のトラブルシューティング**

プリンターの設置時に発生するトラブルの対処方法を説明しています。

**第6章　保守機能について**

プリンター機能の自己診断テストの機能と実行方法について説明しています。

## 本書の表記

① 本文中の「ホスト装置」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、次の用語を使用しています。

注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
補足　補足事項を記述しています。
参照　参照先を記述しています。

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

| | |
|---|---|
| 参照　「　」 | 参照先は、本書内です。 |
| 参照　『　』 | 参照先は、本書内ではなく他の説明書です。 |
| 〈　〉キー | キーボード上のキーを表しています。 |
| 【　】 | ディスプレイに表示されるメッセージを表します。 |

④ チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

⑤ ラジオボタンがチェックされている項目が、選択されている項目です。

# 安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

**各図記号は以下のような意味を表しています**

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アースを接続せよ

## 設置および移動時の注意

### ⚠注意

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

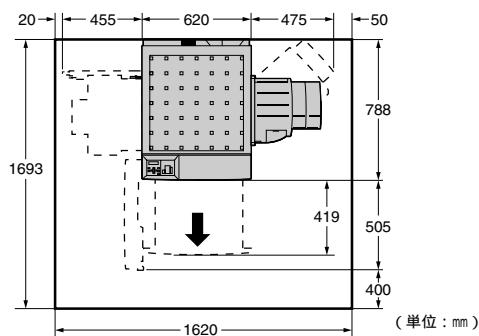
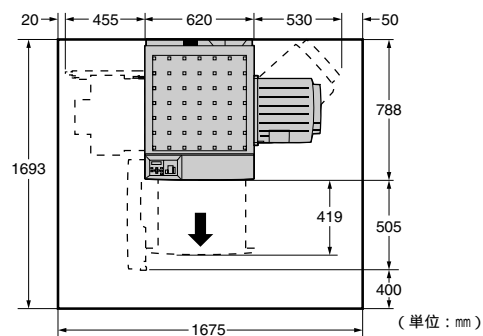
機械は、重さ186kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

**機械を移動するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。**

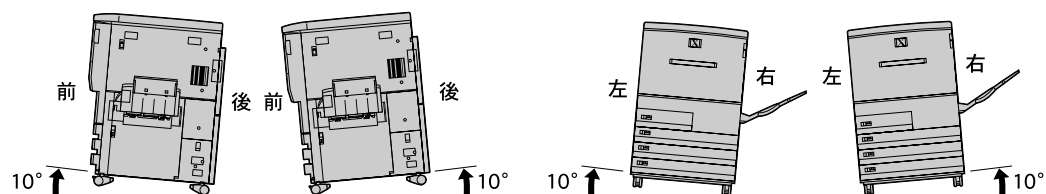
**機械の底面には通気口があります。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。**

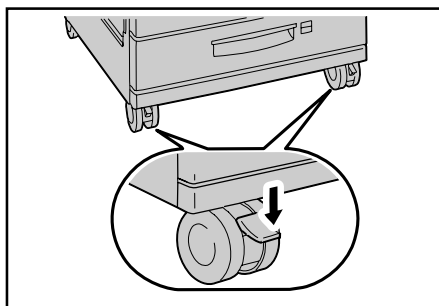
**また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。**

**排出トレイSの場合**

20 455 620 475 50
1693 788 419 505 400
1620
（単位：mm）

**排出トレイMの場合**

**機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。**

**機械を移動する場合は、機械を10度以上に傾けないでください。**

**転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。**

**機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。**

**ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。**

## その他

- **いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**

  **温度10 ～ 35°C　湿度15 ～ 85%（結露がないこと）**

  **温度が**35°C**のときは湿度**47.5%**以下、湿度が**85%**のときは温度**27.8°C**以下でお使いください。**

  補足 **冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。**

- **直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。**

## 電源およびアース接続時の注意

### ⚠警告

電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は100V、15Aとなっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事(第3種)を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

**電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)弊社のテレフォンセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。**

## ⚠注意

**機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。**

**電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。**

**1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。**

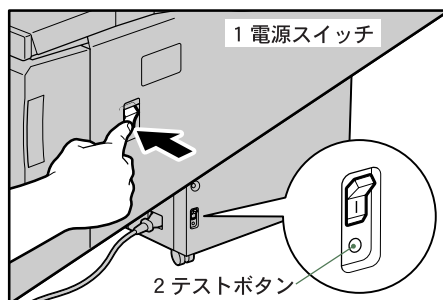
- **電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。**
- **電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。**
- **電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。**
- **電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。**

**連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。**

**機械には漏電保護回路がついています。1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、漏電保護回路が正常に働くかを確認してください。正常に動作しない場合にアースが接続されていないと、感電の原因となるおそれがあります。**

**なお、漏電保護回路の確認手順は以下のとおりです。異常などがある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。**

1. **電源スイッチを「⏻」(切)にします。**
2. **ディスプレイが消灯してから(約20秒後)、ボールペンなどの先で、ブレーカースイッチの下にあるテストボタンを押します。**

   **ブレーカースイッチが「｜」から「○」に倒れれば、正常に作動しています。**
3. **確認後、ブレーカースイッチ、電源スイッチの順に「｜」(入)にします。**

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず本機とホスト装置の電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

## その他

- 機械には、落雷によるサージ電流からの保護回路が内蔵されています。付近に落雷が発生したときは電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源コードを機械から外して、雷がおさまるのを待ってください。

## 機械使用上の注意

### ⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

### ⚠注意

機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

この機械に固定されているカバーは外さないでください。レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。

この商品は、レーザーの国際規格IEC825(Class1)に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは商品内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

操作パネルの上に重い物を載せたり、ひじをついたりしないでください。ガラスが破損し、ケガをする原因となるおそれがあります。

電気を通しやすい紙(折り紙・カーボン紙・コート紙など)は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺(定着部やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

用紙トレイを引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙が定着部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。

狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となるおそれがあります。

## その他

- 紙づまりの処置や故障の処置を行うときは、本書をよくお読みください。

## 消耗品取扱上の注意

### ⚠警告

トナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

トナー、または使用済みのトナー回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

現像剤、または使用済みの現像剤回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

### ⚠注意

ドラムカートリッジを勢いよく引き出さないでください。ドラムカートリッジが飛び出し、けがの原因となるおそれがあります。

クリーニングカートリッジは、高温になっいます。充分冷えてから操作してください。転写ユニットを引き出した状態で約20分放置すると、クリーニングカートリッジ中央部の取っ手の温度が安全に操作できる温度(70℃)になります。

クリーニングカートリッジを取り外した本体の内部は熱いので、シャッターの中には決して手を差し込まないでください。また、本体の内部に異物が落下した場合には、無理にとらないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに、電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。

クリーニングカートリッジは、外部が冷えた状態でも内側は高温になっています。取っ手以外の箇所には、触れないように注意して交換してください。

### その他

- 消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温、多湿の場所
  - 火気のある場所
  - 直射日光の当たる場所
  - ホコリが多い場所
- 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。
- 回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。

**－取り扱い上の注意－**

不要となりましたトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。

- 以下の事項に従って、応急措置を行ってください。
  - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
  - トナーを吸入した場合は、暴露環境から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
  - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出させ、速やかに医師に相談し指示を受けてください。
- オイルカートリッジは消防法「第四類第四石油類」に該当します。

**－取り扱い上の注意－**

- 取り扱いは弊社のカストマーエンジニアにおまかせください。

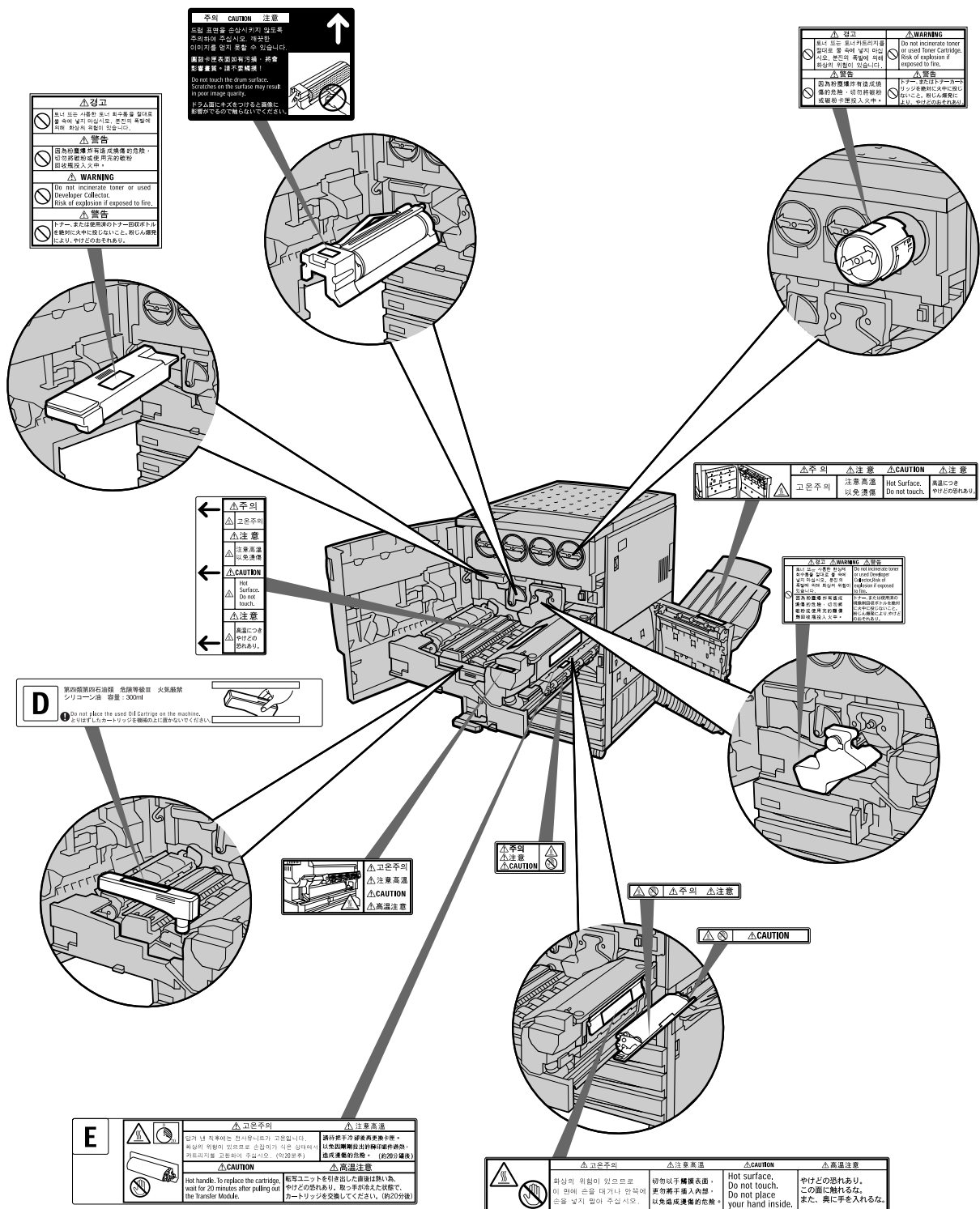
## 電源を切るときの注意

### その他

- 電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

  通常の操作時に電源を切るときは、操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認してから、電源を切ってください。

## ■警告および注意ラベルの貼付け位置

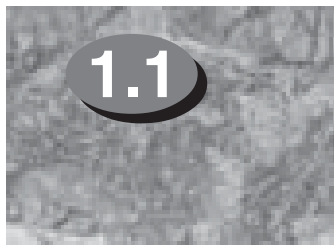
**本機には安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルおよび注意ラベルが機械内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。**

# 国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的としています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

**低電力モード（ローパワーモード）**

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能を持っています。工場出荷時の設定では60分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に機械の消費電力を節約するようになっています。この設定は15〜240分の間で1分刻みに設定できます。操作の詳細については、『取扱説明書（操作編）』の「6.2　共通メニューの設定」をごらんください。なお、共通メニューでは「低電力モード（ローパワーモード）」は、「節電モード」と表示されます。

# プリンター本体の設置

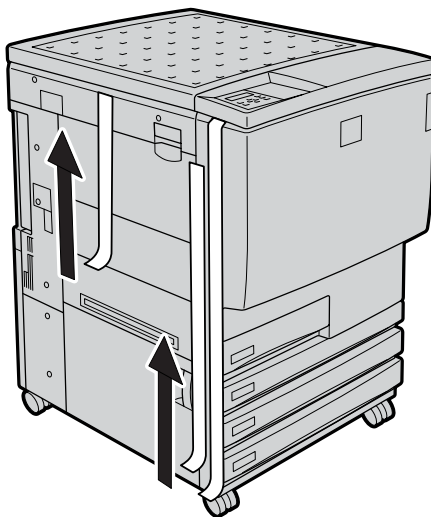
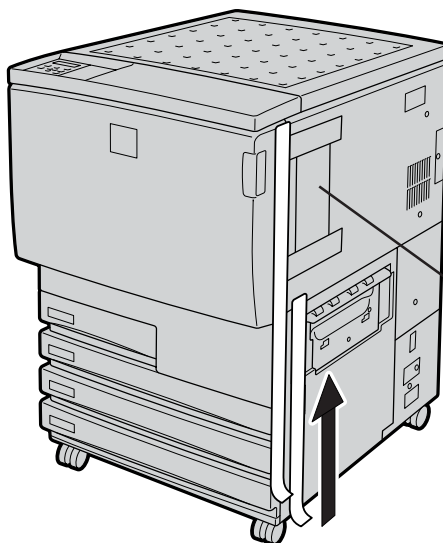
1章

# 製品の確認

**プリンターを設置する前に、5本の梱包用テープをはがし、外観を確認します。テープは必ず下から上に向かってはがします。**

**注記** **テープは、必ず下から上にはがしてください。**

**なお、すでに下図で示すテープあるいはラベルがない場合には、以降の設置手順で説明するまで絶対に電源を入れないようにして、「1.2　同梱品の確認」から作業を進めてください。**

**注記** **下図で示している電源スイッチのところに注意書きのラベルが貼られているかどうか確認し、ラベルがない場合でも、設置手順の中で説明するまで、絶対に電源を入れないでください。**

左側３本のテープ
をはがす

右側２本のテープ
をはがす

このラベルは設置の
手順の中ではがします。
ここでは、はがさない
でください。

# 同梱品の確認

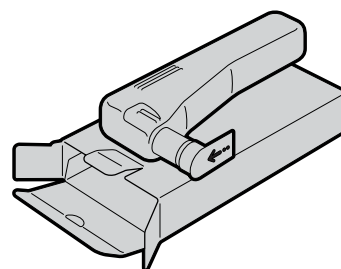
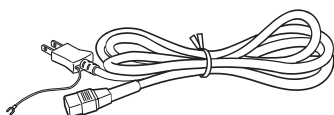


**プリンターの梱包の中の同梱品がそろっているか確認します。万一、不足している物がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。引っ越しなど、プリンターを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材および箱は保管しておくと便利です。**

## 1.2.1　本体の同梱品

**本体付属品の箱には次の物が入っています。**

❑ **トナーカートリッジ（各1本）（シアン/マゼンタ/イエロー/黒）**

❑ **オイルカートリッジ**

❑ **電源コード**

❑ プリンタードライバー関連
- Printer Driver DocuPrint C1250/DocuColor 1250（CD-ROM）

❑ 階調補正用色見本

❑ 取扱説明書・CD-ROMマニュアル
- DocuPrint C1250取扱説明書（設置編）<本書>
- DocuPrint C1250取扱説明書（操作編）
- DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250 電子マニュアル（CD-ROM）

❑ DocuWorksパッケージ

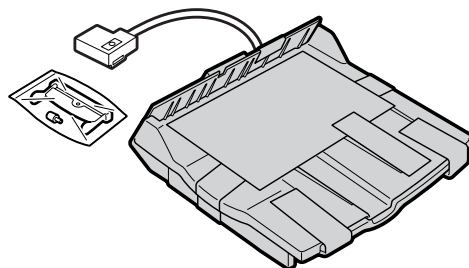
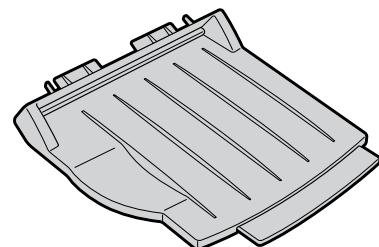
❑ CentreWareパッケージ（DocuPrint C1250 Netのみ付属）

❑ その他
- 保証書（梱包箱の外側に貼りつけ）
- 顧客登録カード

## 1.2.2　別同梱品

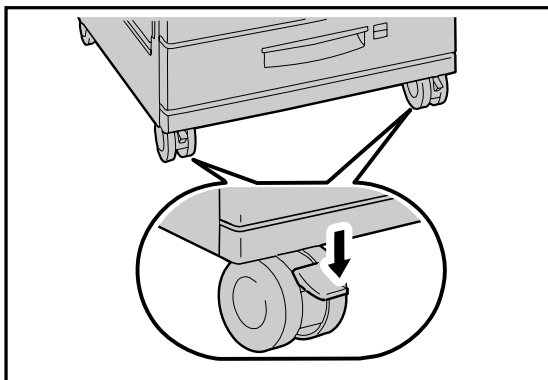
別同梱品の箱には次の物が入っています。

❑ 排出トレイ（お買い上げのモデルによって付属の排紙トレイは異なります）

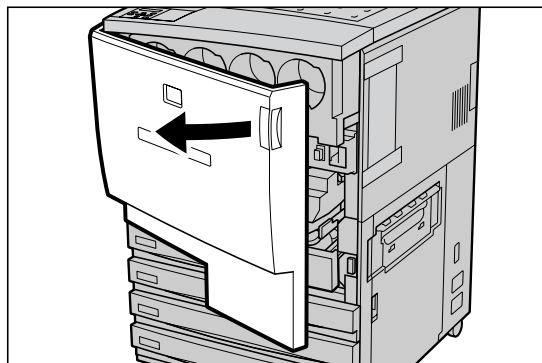
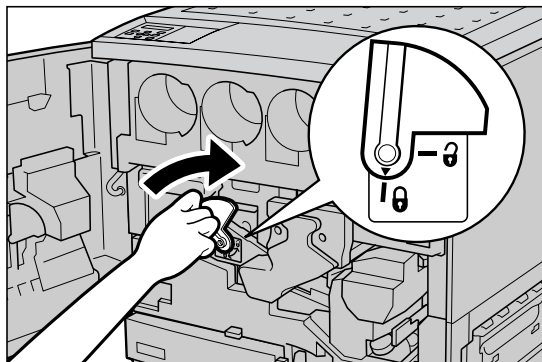
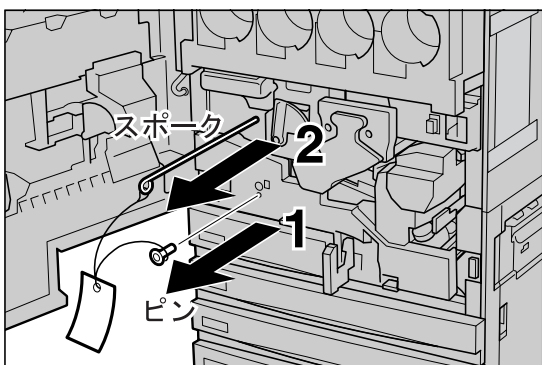
排出トレイM
（DocuPrint C1250 Netの場合）

排出トレイS
（DocuPrint C1250の場合）

# 1.3 設置時の注意事項

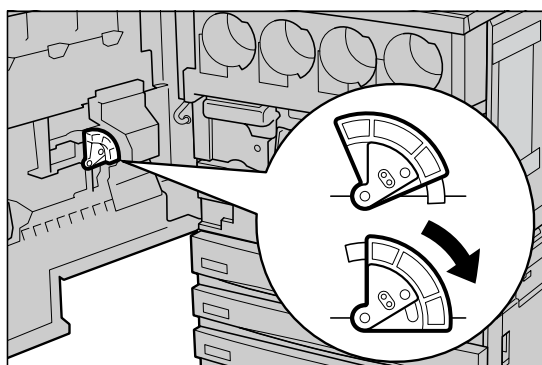


**プリンターを設置場所まで移動し、前面２か所のキャスターに付いている移動防止用ストッパーをロックします。**

⚠注意 **プリンターを設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、プリンターが思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。**

参照 **その他の設置時の注意事項、設置スペース、電源については、本書の「安全にご利用いただくために」を参照してください。**

# 輸送用措置の解除

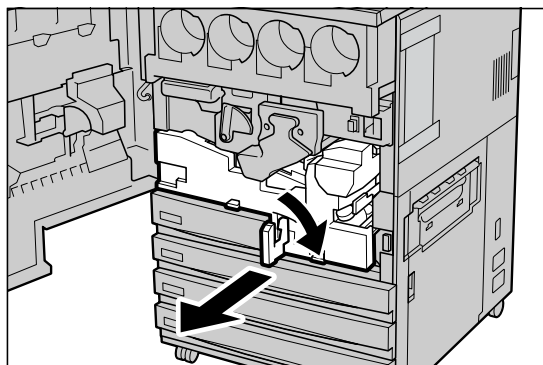
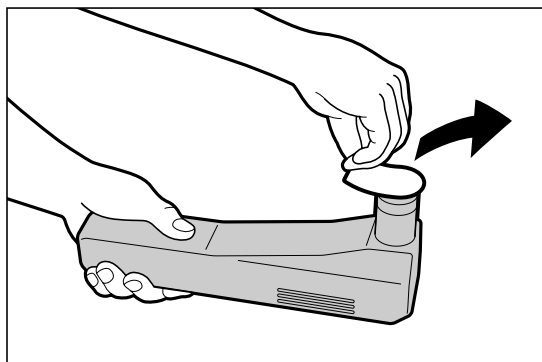
**輸送時の振動や衝撃から機械を守るための措置を通常状態に戻します。**

① フロントカバーを開けます。

② 図の位置のハンドルを右方向に回し、ロック位置（🔒）に、▼を合わせます。

③ 左図のように、下のピン、上のスポークの順に、引き抜きます。

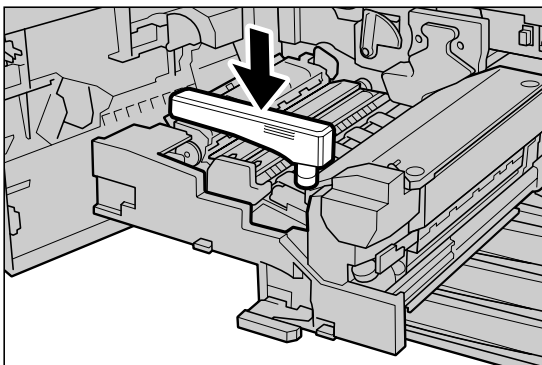
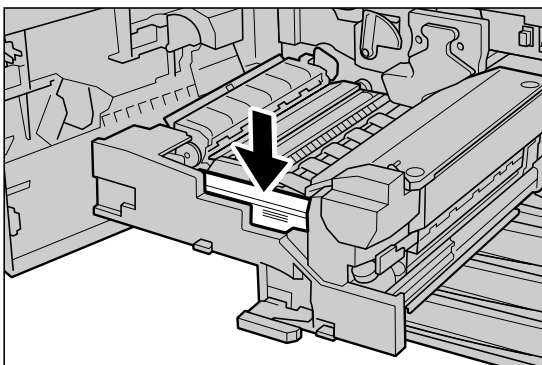
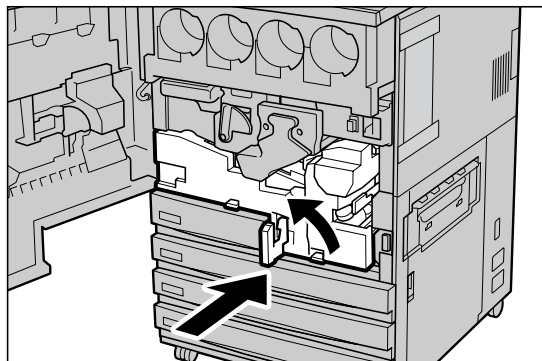
補足 スポークとピンは輸送時に必要となりますので、保管しておいてください。

④ 左図のように、フロントカバー内側の部品を右方向に止まるまで、回します。

**続けて、オイルカートリッジを取り付けます。**

# 1.5 オイルカートリッジの取り付け



**以下の手順に従ってオイルカートリッジを取り付けます。**

1. **転写ユニット中央にある緑色のレバーを、右方向に水平になるまで回してから、転写ユニットを手前に止まるまでゆっくり引き出します。**

2. **オイルカートリッジを箱から取り出し、先端のシールをはがします。**

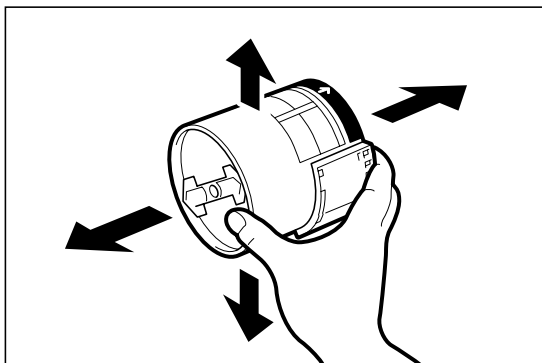
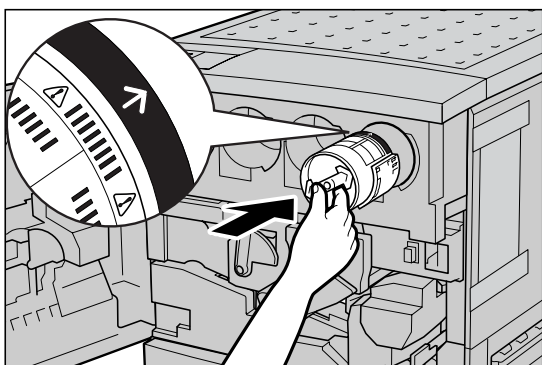
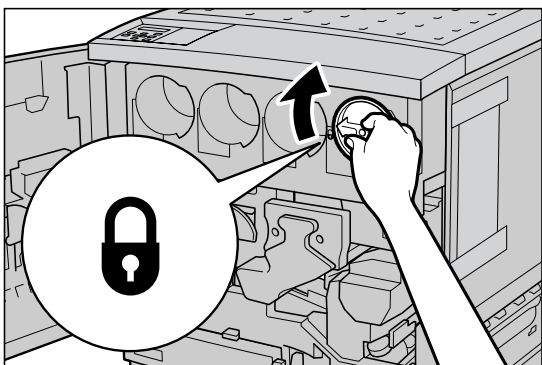
   注記 オイルカートリッジのシールをはがさずに機械に挿入すると、オイル供給部が破損するおそれがありますので、注意してください。

3. **オイルカートリッジの口を下に向け、左図のように機械に挿入します。**

4. **左図のようにオイルカートリッジの上端が水平になるようにして、止まるまで押し込みます。**

⑤ 転写ユニットを完全に奥まで押し込み、レバーを左に回します。

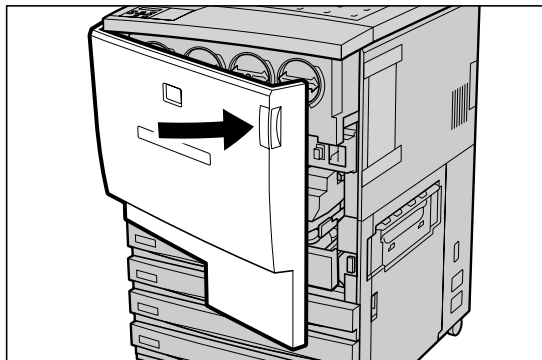
レバーを回せない場合は、転写ユニットを途中まで引き出してから再度押し込んでください。

続けてトナーカートリッジを取り付けます。

# 1.6 トナーカートリッジの取り付け



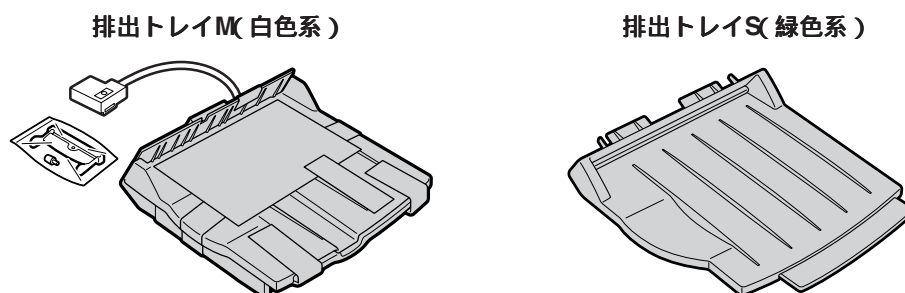
以下の手順に従って4本のトナーカートリッジ(シアン、マゼンタ、イエロー、黒)を取り付けます。

① 差し込み位置の色と同じ色のトナーカートリッジを箱から取り出し、図のようにトナーカートリッジを上下左右によく振り、中のトナーを均一にします。

② トナーカートリッジの矢印(↑)部を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。

③ トナーカートリッジを鍵印(閉)まで右方向に回します。

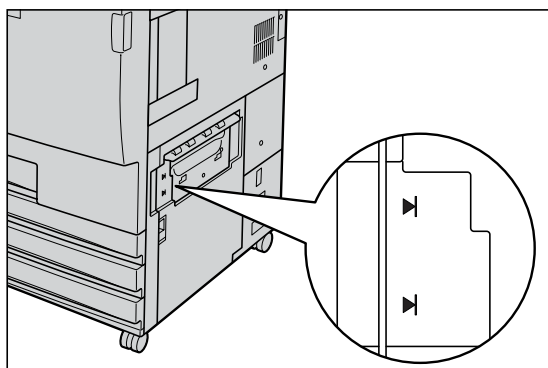
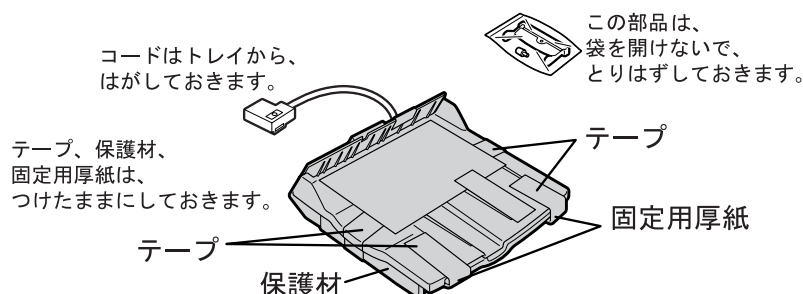
④ 残りの3つのトナーカートリッジも同様に、手順①〜③を繰り返して取り付けます。

⑤ フロントカバーを閉めます。

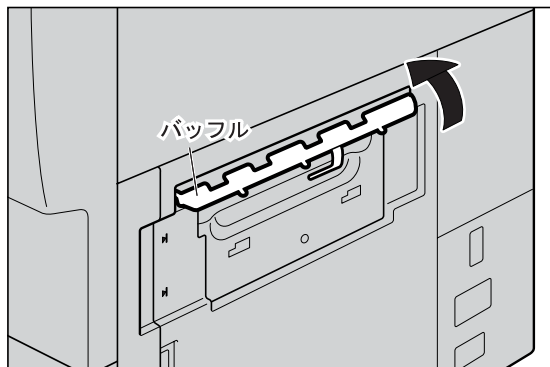
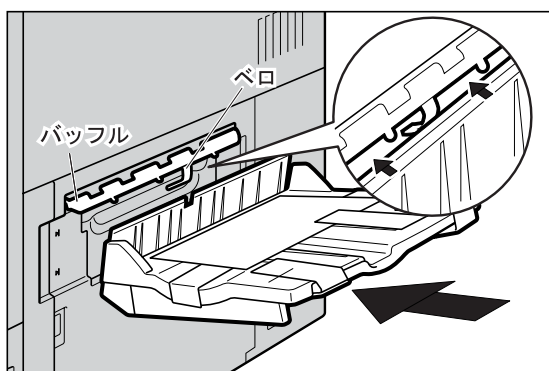
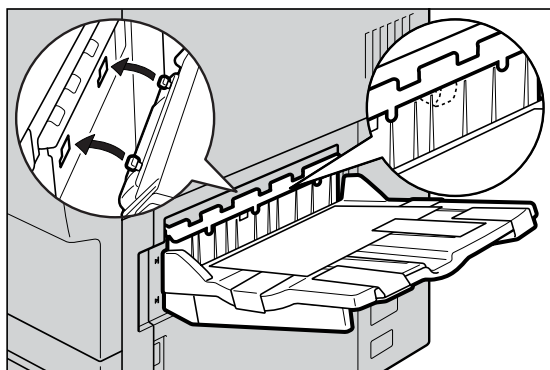
続けて、排出トレイを取り付けます。

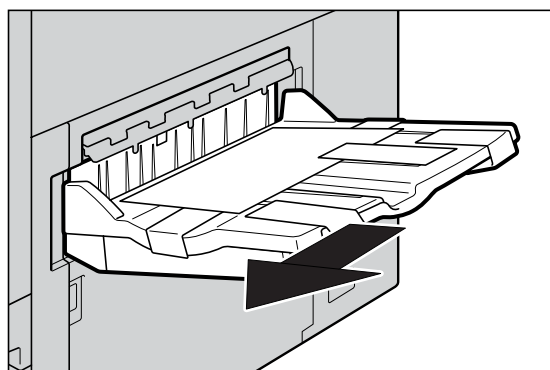
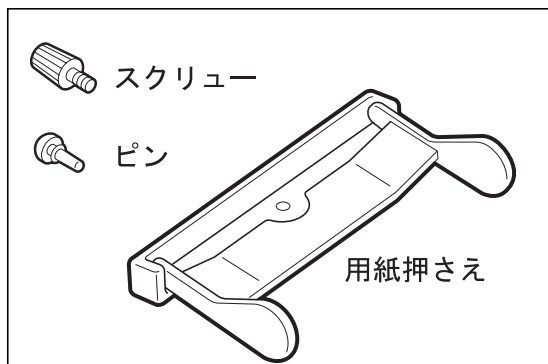
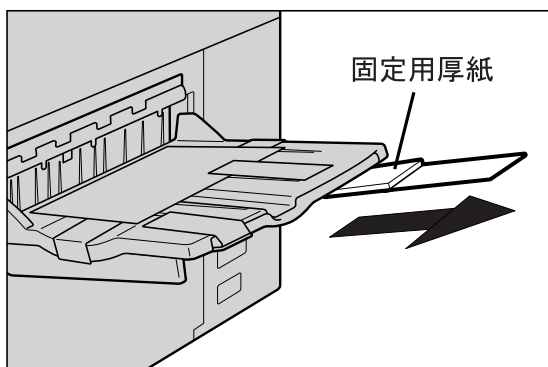
# 排出トレイの取り付け

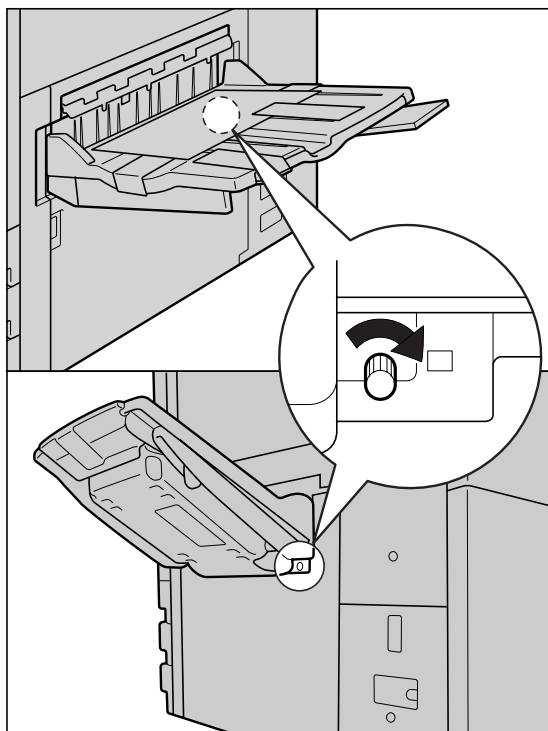


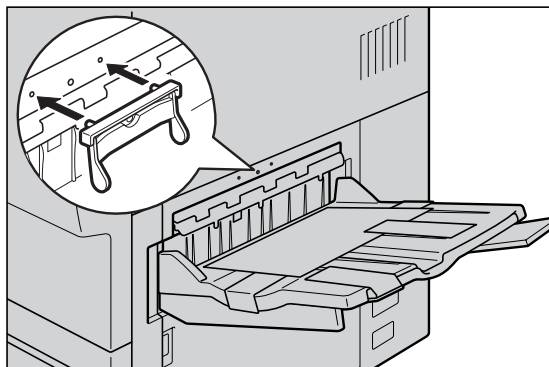
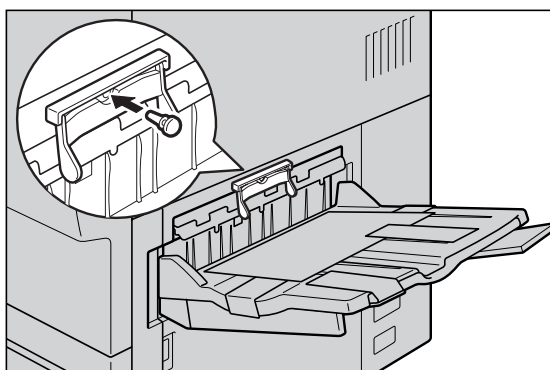
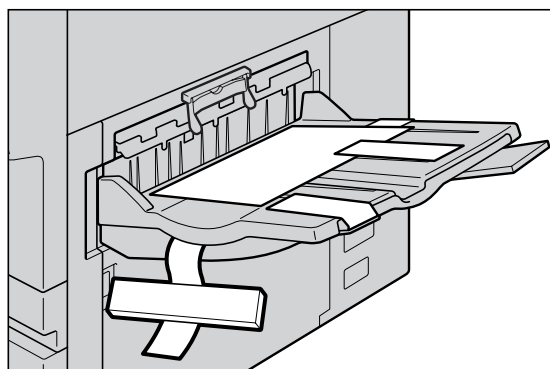
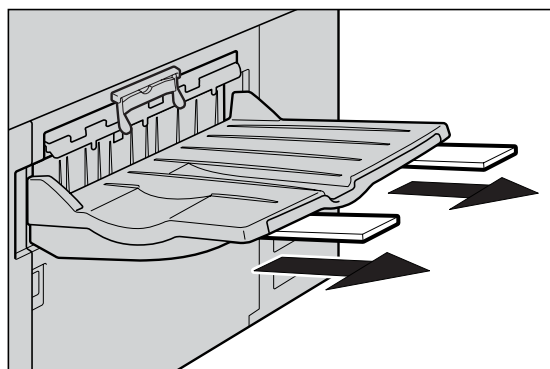
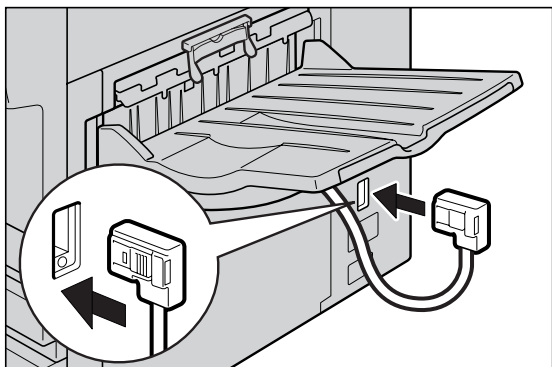
**排出トレイを取り付けます。モデルによって、付属しているトレイの形状が異なります。**
**以下の２つの排出トレイのうち、どちらかのトレイが付属していますので、付属しているトレイの説明を参照して排出トレイを設置してください。**

## 1.7.1 排出トレイMを取り付ける場合

注記 **排出トレイMのテープ、裏側の固定用厚紙、保護材は、つけたままにしてください。取り付け手順のなかで取り外します。**

**1 排出トレイMを取り付ける位置の、本体側のガイドラインを確認します。**

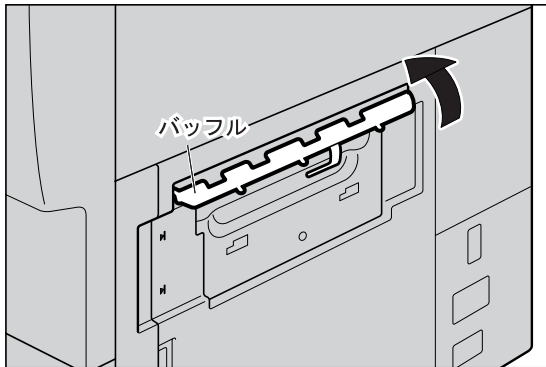
補足 **排出トレイの取り付け位置に、注意書きの用紙が貼られている場合には、まず注意書きをはがしてください。**

② 本体用紙出口のバッフルを持ち上げます。

③ 排出トレイMの上端で、バッフルのベロの部分を押さえるようにしながら、手順4以降で説明するようにして、排出トレイをセットします。

④ ガイドラインに排出トレイMの左端を合わせて、本体の図の位置に排出トレイMのツメを差し込みます。

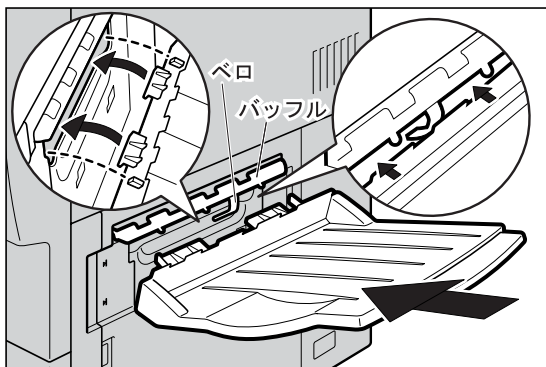
このとき、バッフルのベロが隠れ、左図のようにバッフルの下端が排出トレイMの上端にかぶっていることを確認します。

⑤ ガイドラインが見えなくなる位置まで、排出トレイMの下部を持って左にスライドします。

❻ 添付されていたビニール袋の中の、用紙押さえ、スクリュー、ピンを取り出します。

❼ 排出トレイMの右側（奥側）の固定用厚紙のテープをはがして、厚紙を少し引き出し、排紙トレイMの裏側にあるスクリューをとめる穴を見やすくします。

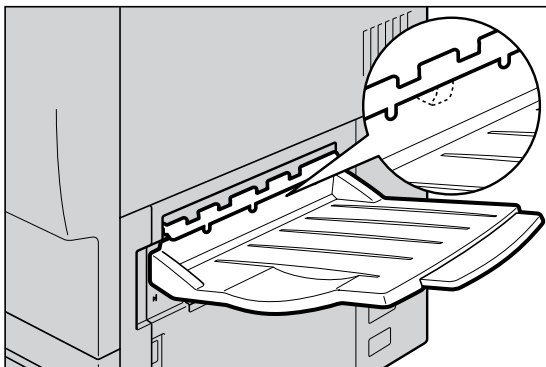
> ⚠注意　**固定用厚紙を引き出すときに、排出トレイMが落下しないように、注意してください。**

❽ 排出トレイMの裏側、右下（奥側）にあるトレイ側の穴と、本体側の穴の位置を合わせて、スクリューをしめます。

穴の位置が合わない場合には、トレイが落下しないように注意しながら、手順5で行った左側へのスライドが十分かどうか確認してください。

⑨ 本体用紙出口上部の穴に用紙押さえを取り付けます。

⑩ 用紙押さえを押さえたまま、穴にピンを差し込みます。

⑪ 排出トレイMのテープをはがし、保護材を取り外します。

⑫ 排出トレイM裏側の固定用厚紙を取り外します。

⑬ 排出トレイMから出ているコードのコネクターを本体に差し込みます。

以上で排出トレイMの取り付けは終了です。続けて、用紙をセットします。

## 1.7.2　排出トレイSを取り付ける場合

① **本体用紙出口のバッフルを持ち上げます。**

補足　排出トレイの取り付け位置に、注意書きの用紙が貼られている場合には、まず注意書きをはがしてください。

② **排出トレイSの2つのツメの外側にある2つのガイドを、穴の両端にあわせて、バッフルのベロの部分を、排出トレイSの上端で押さえるようにしながら、つめを穴の下端に引っかけるようにしてセットします。**

補足　排出トレイの上端でベロを押しながら、バッフル下端とベロの間に、排出トレイSの上端を差し込むような感じでセットします。

③ **左図のように、バッフルのベロが隠れ、バッフルの下端が排出トレイSの上端にかぶっていることを確認します。**

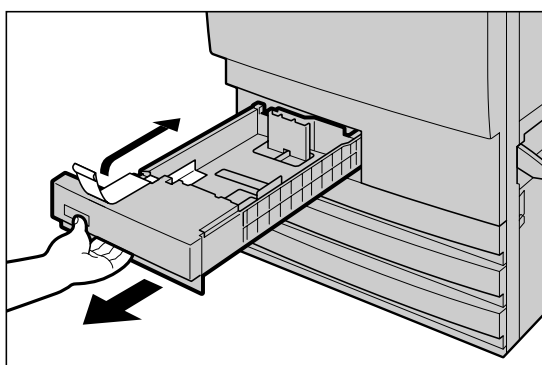
**以上で排出トレイSの取り付けは終了です。続けて、用紙をセットします。**

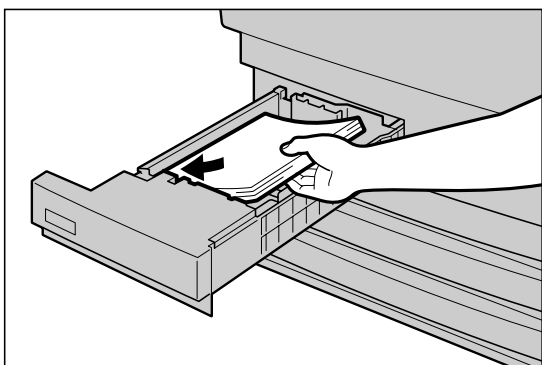
# 用紙をセットする

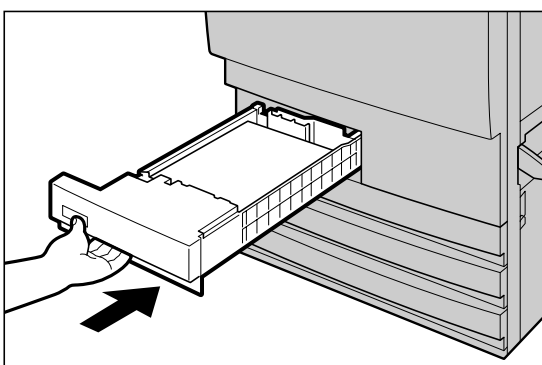


**電源を入れると、自動的にスタートページがプリントされます。電源を入れる前に、以下の手順に従って各トレイに用紙をセットしてください。**

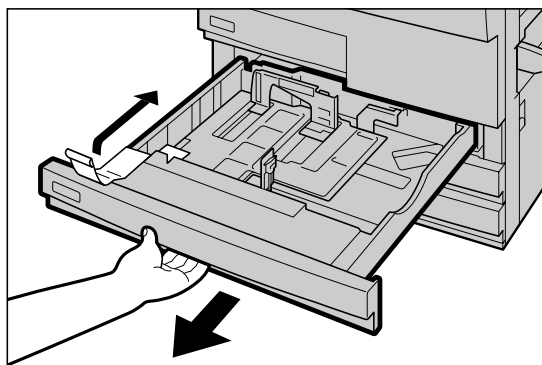
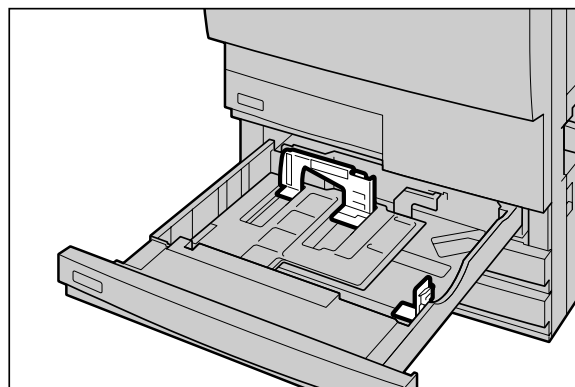
## 1.8.1　用紙トレイ1に用紙をセットする

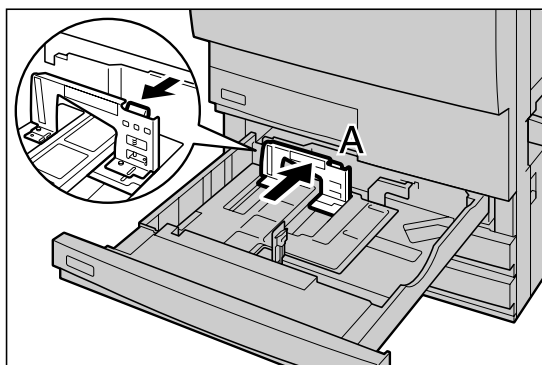
**用紙トレイ1のサイズは通常、A4▯固定です。**

**① 用紙トレイ1を手前に止まるまで引き出し、固定用テープをはがします。**

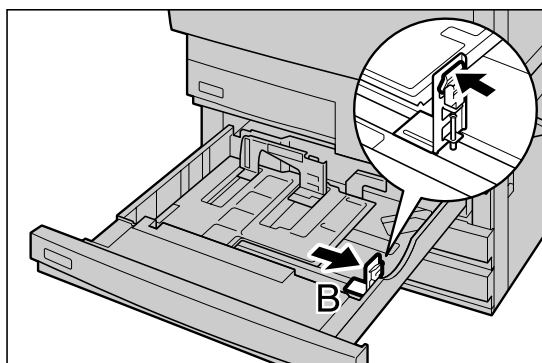
> ⚠注意　**用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

**② A4の用紙の四隅をそろえ、プリントする面を下にして、用紙トレイの左手前に合わせてセットします。**

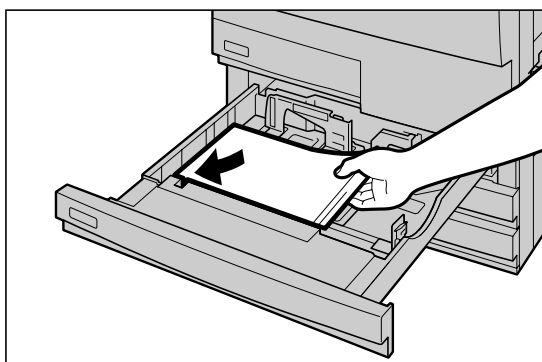
**注記** 用紙をセットする場合、用紙上限線（MAX）を越えないようにしてください。

**③ 用紙トレイ1を奥に突き当たるまで、ゆっくりと押し込みます。**

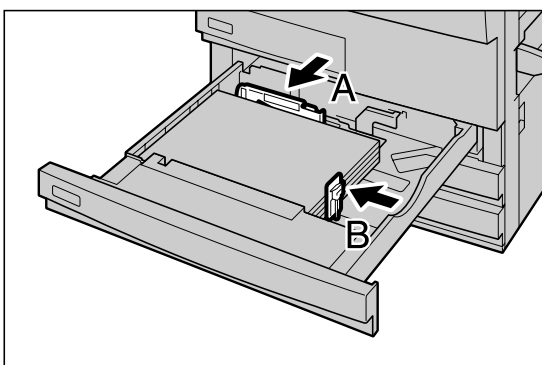
## 1.8.2　用紙トレイ2〜4に用紙をセットする

用紙トレイ2〜4に用紙をセットします。
用紙ガイドの位置をずらすことによって、用紙トレイのサイズを変更することができます。
ここでは、用紙トレイ2を例に説明します。用紙トレイ3、4も同様の手順です。

① 用紙トレイを手前に止まるまで引き出し、固定用テープをはがします。

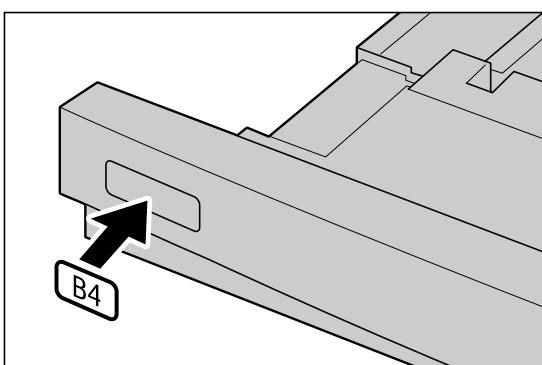
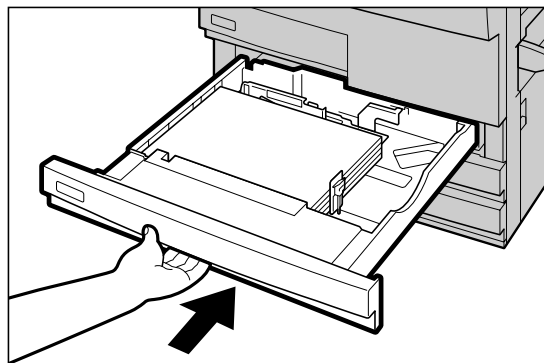
> ⚠注意　用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

② 用紙ガイドレバーAをつまみながら、ガイドを奥まで移動させます。

補足　用紙サイズの位置は、用紙トレイの底面に表示されています。

③ **用紙ガイドレバーBをつまみながら、ガイドを右側へ移動させます。**

補足 用紙サイズの位置は、用紙トレイの底面に表示されています。

④ **用紙の四隅をそろえ、プリントする面を下にして、用紙トレイの左手前に合わせてセットします。**

注記 用紙をセットする場合、用紙上限線（MAX）を越えないようにしてください。

⑤ **レバーをつまみながら、用紙に軽く当てるように合わせます。**

**用紙ガイドを正しい用紙サイズの位置に合わせるとカチッと音がします。**

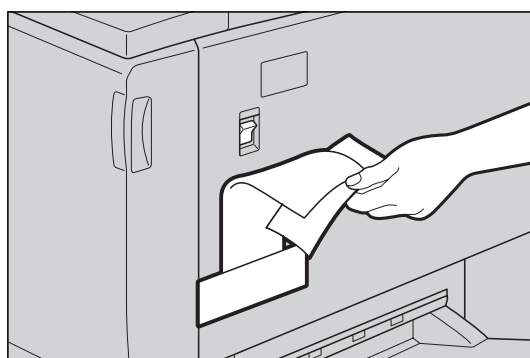
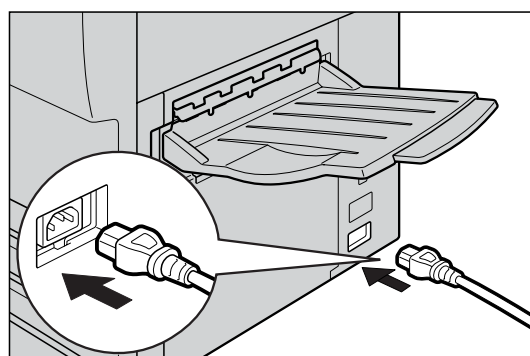
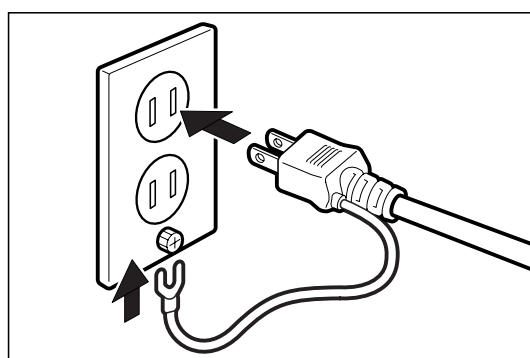
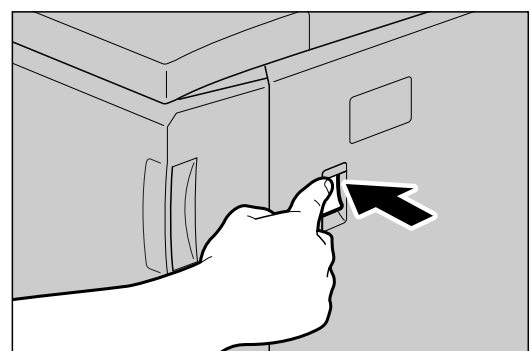
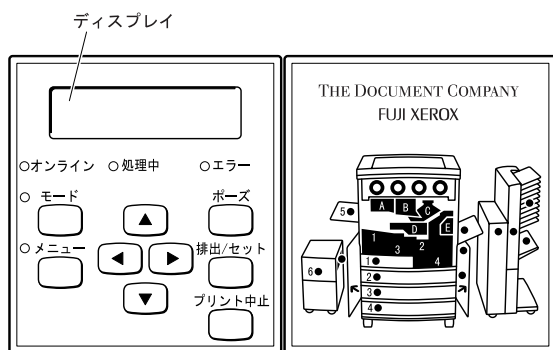
注記 ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因となります。

⑥ **用紙サイズのラベルを貼ります。**

⑦ 用紙トレイを奥に突き当たるまで、ゆっくりと押し込みます。

以上で、用紙のセットは終了です。続けて、電源コードを接続して電源を入れます。

# 電源を入れる



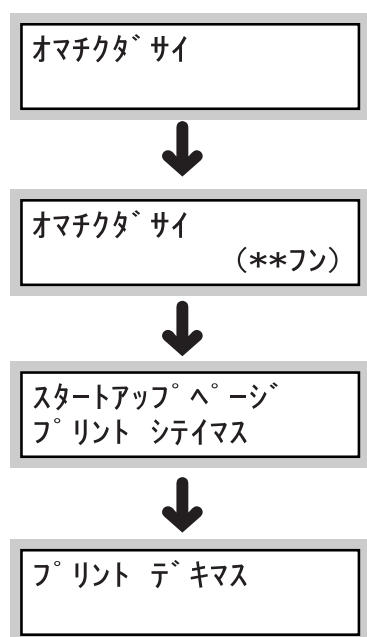
**プリンターに電源コードを接続し、電源を入れます。**

## 1.9.1　電源コードの接続と電源投入

① 電源スイッチの位置に貼られているラベルをはがします。

② 電源コードのメス側をプリンターの電源コネクターに差し込みます。
電源コネクターは、本体右側面下にあります。

③ 電源コードから出ているアース線を電源コンセントのアースターミナルに接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

④ 電源スイッチを入れます。
スイッチを「｜」側にします。

本体上部の操作パネルのディスプレイに「オマチクダサイ」と表示され、9分10秒程度で、自動的にスタートアップページがプリントされます。

スタートアップページには、電源を入れたときのプリンター本体の印字状態や周辺機器の設置状況が表示されます。

## 1.9.2　スタートアップページプリントの確認

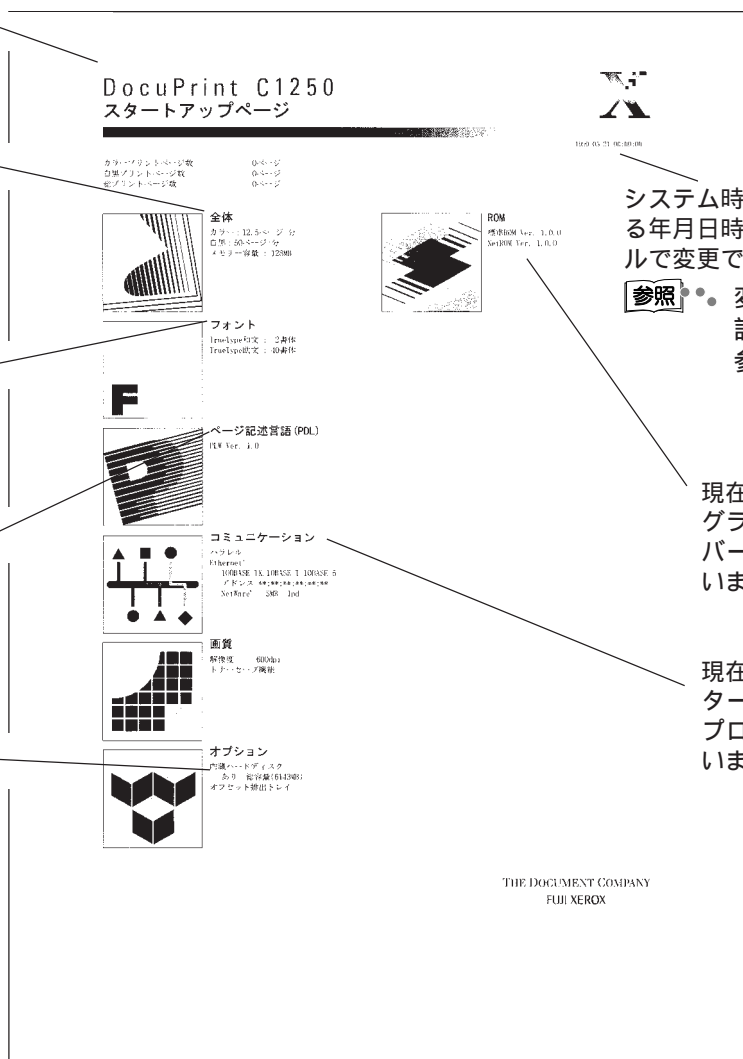
電源を入れると、自動的に次ページに示すようなスタートアップページがプリントされます。スタートアップページによって、プリンター本体の印字状態や、周辺機器や部品が正しく設置され稼働できる状態になっているかどうかを確認することができます。
スタートページはA4/B4/A3サイズのいずれかの用紙でプリントすることができます。

補足
- 次回の電源投入時から、スタートページをプリントしないように設定することもできます。工場出荷時には、プリントするよう設定されています。
- 設定項目の詳細は、プリンター設定リストで確認できます。プリンター設定リストの詳細については、『取扱説明書（仕様編）』を参照してください。

プリンターの電源が入ると、コントロールパネルのディスプレイに【オマチクダサイ】と表示され、9分10秒程度で【スタートページ　プリント　シテイマス】の表示に変わり、スタートページのプリントが開始されます。

プリント終了後、【プリントデキマス】の表示になります。

注記　スタートページがプリントされない場合には、本書の「第5章　設置時のトラブルシューティング」を参照して、対処してください。

**スタートアップページのサンプルを以下に示します。**

補足　ここでは、DocuPrint C1250のネットワークモデルのスタートアップページを例にあげます。

# 周辺機器・部品の設置



2章

# 2.1 オプション品の設置の前に



## 2.1.1　オプション品の設置の前に

**オプション品を設置する操作の流れを下の図で確認してください。**

⚠警告　**オプション品の設置作業に入る前に、プリンターの電源が切れていることを確認してください。感電の原因となることがあります。**

注記　各オプション品の取り付け手順では、ひとつのオプションの取り付けが終ったら、電源を入れてプリンター設定リストを出力するよう記述してあります。ただし、複数のオプションを取り付ける場合には、すべてのオプションの取り付けが終了したあとに、プリンター設定リストを出力してもかまいません。なお、各オプションの取り付けが確実に行われたことを確認して作業を進める場合には、1つのオプションの取り付け終了ごとにプリンター設定リストを出力して確認することをお勧めします。

補足　オプション品は、本章で説明する取り付けのほかに、各ホスト装置のプリンタードライバーでの設定が必要です。オプションを取り付けたあとは、プリンターの使用者に追加したオプションをお知らせください。プリンタードライバーのインストールとドライバーでの設定操作は、本書の「第4章　ホスト装置側の設定」で説明しています。

**取り付けの準備をする**

参照 「2.1.4 取り付けの準備をする」

**オプション品を設置する**

参照 「2.2 増設RAMモジュール(64/128MByte)を取り付ける」
「2.3 内蔵ハードディスクを取り付ける」
「2.4 インターフェイスボードを取り付ける」
「2.5 カラーイメージアクセラレーターを取り付ける」
「2.6 CPUアップグレードキットを取り付ける」

**機械を元に戻す**

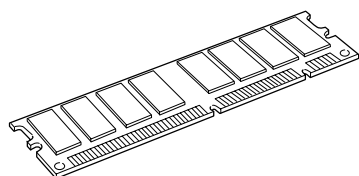
参照 「2.1.5 機械を元に戻す」

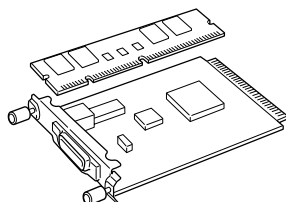
**設置・設定を確認する**

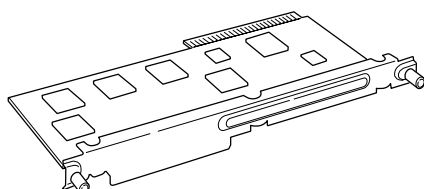
参照 「2.1.6 プリンター設定リストをプリントする」

## 2.1.2　オプション品の種類について

**本機には次の5種類のオプション品が用意されています。**

### ■増設RAMモジュール（64MByte / 128MByte）

参照　取り付け方法については「2.2 増設RAMモジュール（64MByte / 128MByte）を取り付ける」を参照してください。

### ■インターフェイスボードType1

参照　取り付け方法については「2.4 インターフェイスボードを取り付ける」を参照してください。

### ■カラーイメージアクセラレーター

参照　取り付け方法については「2.5 カラーイメージアクセラレーターを取り付ける」を参照してください。

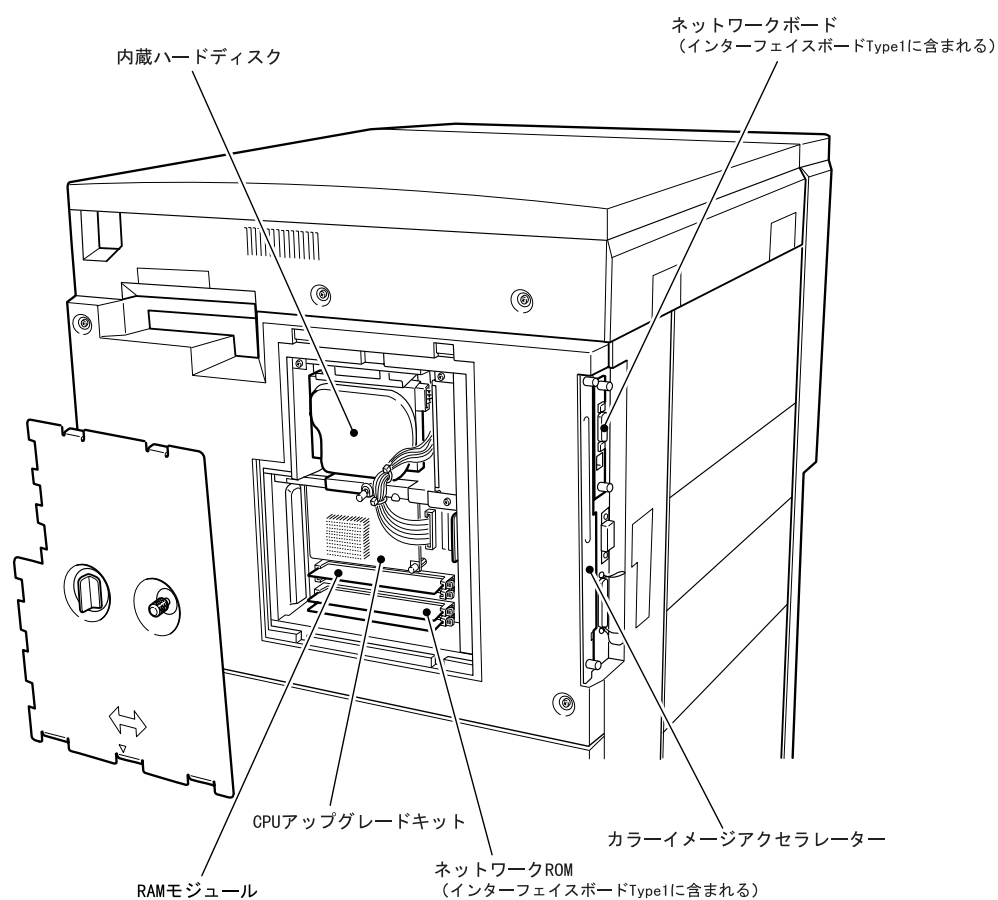
### ■内蔵ハードディスク

参照　取り付け方法については「2.3 内蔵ハードディスクを取り付ける」を参照してください。

### ■CPUアップグレードキット

参照　取り付け方法については「2.6 CPUアップグレードキットを取り付ける」を参照してください。

## 2.1.3 オプション品の装着場所について

**これらのオプション品を装着する場所は次のとおりです。**

## 2.1.4　取り付けの準備をする



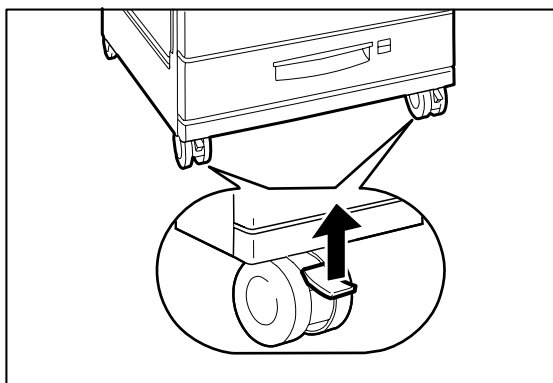
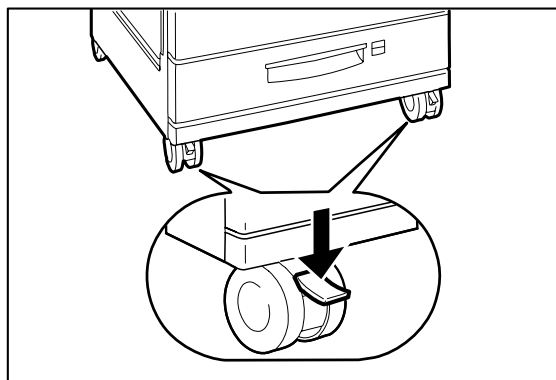
**オプション品を取り付ける場合は、本機を移動して背面と左側面に作業のできるスペースを確保します。**

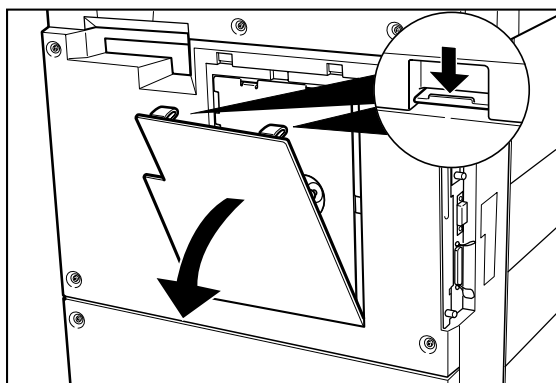
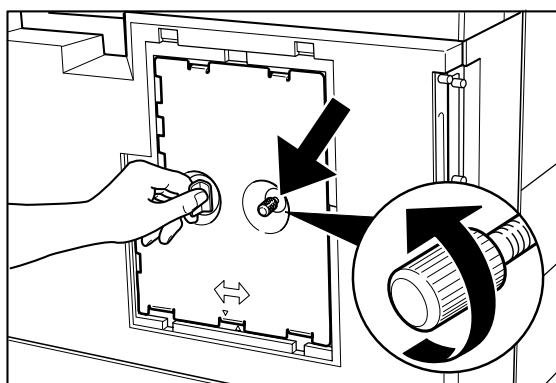
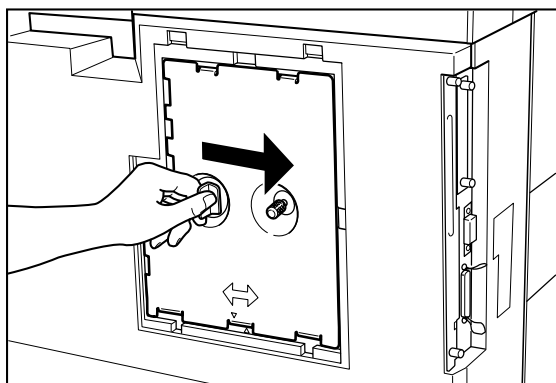
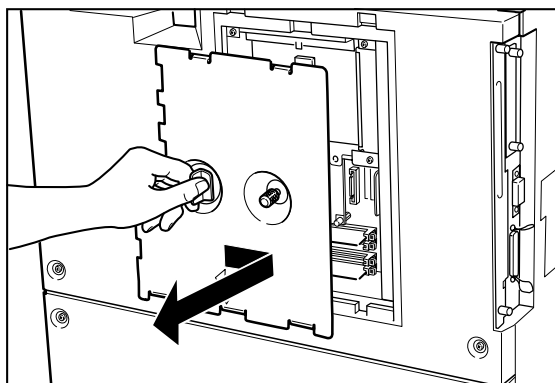
⚠警告　**ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**

⚠注意　**機械を設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。**

注記

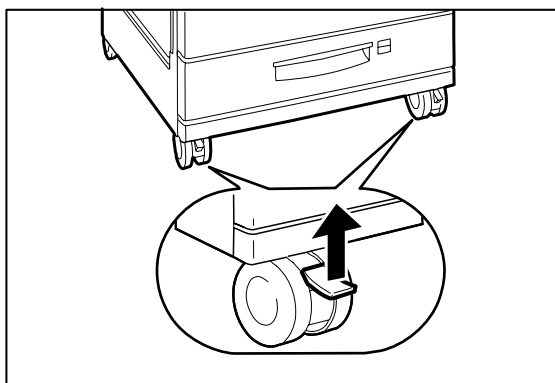
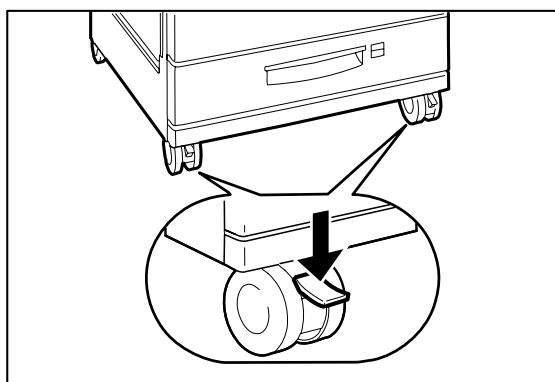
- 電源を切った直後の機械内部には高熱の箇所があります。オプション品を取り付ける場合は、機械を稼働させる前(始業前など)の作業ををおすすめします。
- ボードやROMの端子部分には触らないでください。また、端子部分を曲げたり、キズをつけないでください。
- 取り付け時は、本書で示しているケーブルや部品のみを操作してください。本書で示しているケーブルや部品以外を触ったり脱着すると、正しく動作しなくなる場合があります。

1. ディスプレイに「プリントデキマス」と表示されていることを確認します。
2. 電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜きます。
3. 接続されているネットワークなどのケーブルを抜きます。
4. 機械の前面にある2か所のキャスターの移動防止用ストッパーのロックを解除します。

⑤ 機械の背面および左側面で作業がしやすいように機械を移動し、キャスターの移動防止用ストッパー(前面2か所)をロックします。

| ⚠注意 | 本機の重さは約186kgです。必ず2人以上で移動してください。 |
|---|---|

⑥ 機械の背面にあるオプションカバーのレバー(2か所)を押し下げ、オプションカバーを取り外します。

⑦ 金属性のカバーの取っ手を持ちながら、ネジを左方向に回して取り外します。

⑧ 金属性のカバーを右方向にスライドさせます。

⑨ 金属性のカバーを取り外します。

## 2.1.5　機械を元に戻す

オプション品の取り付けが終了したら、機械を元の位置に戻し、移動防止用ストッパー(前面2か所)をロックします。

⚠注意　機械を設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

① キャスターの移動防止用ストッパー(前面2か所)のロックを解除します。

② 機械の位置を元に戻し、キャスターの移動防止用ストッパー(前面2か所)をロックします。

⚠注意　本機の重さは約186kgです。必ず2人以上で移動してください。

③ インターフェイスケーブルを接続し、コンセントに電源プラグを差し込んで電源スイッチを入れます。

④ ディスプレイに「プリントデキマス」と表示されることを確認します。

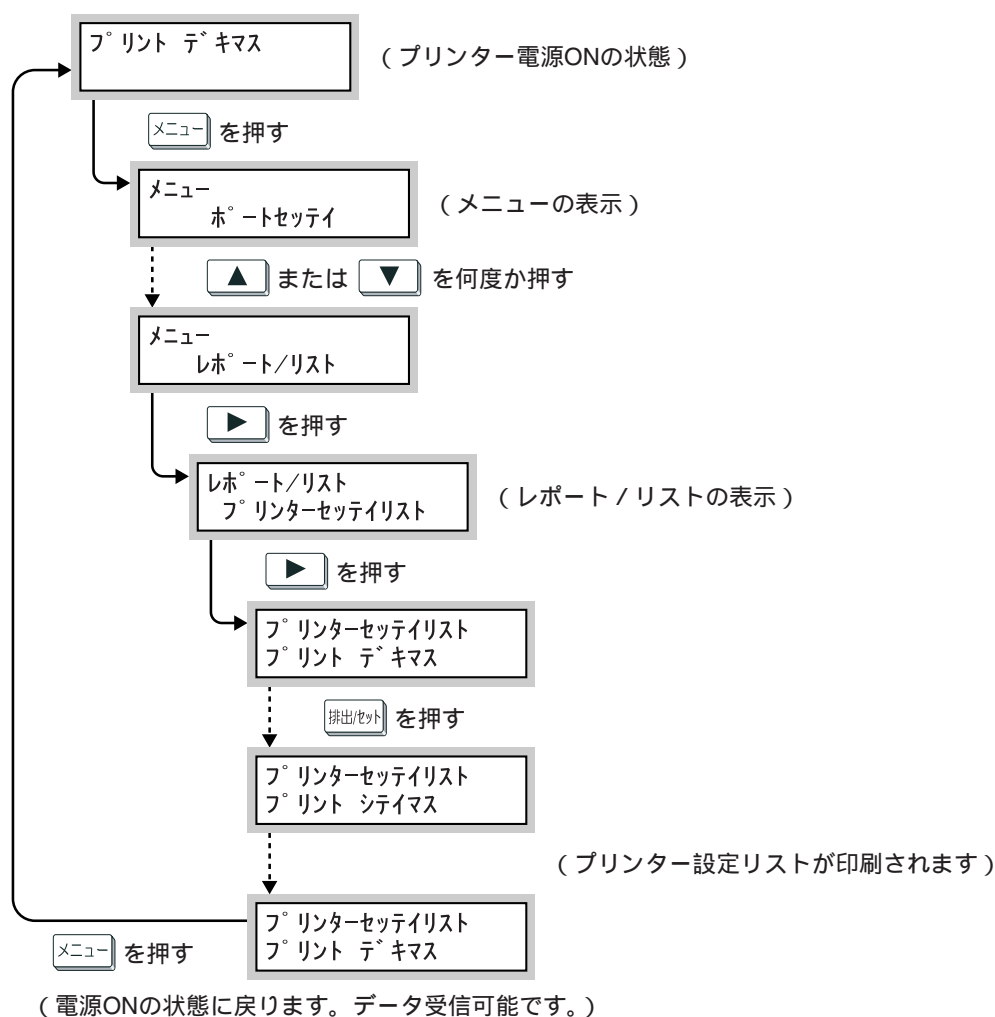
補足 「デンゲン　ヲ　キリイリ　シテクダサイ」と表示される場合は、オプション品が正しくセットされていません。取り付けたオプション品をいったん取り外し、もう一度取り付けてください。

同じメッセージが表示される場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社のテレフォンセンターにご連絡ください。

## 2.1.6　プリンター設定リストをプリントする

**オプション品の取り付けが終了したら、次の操作でプリンター設定リストをプリントし、機械の設定状態を確認してください。**

補足　電源を入れると、ディスプレイに「オマチクダサイ」と表示され、9分10秒程度で「プリントデキマス」の表示にかわります。「デンゲン　ヲ　キリイリ　シテクダサイ」と表示される場合は、オプション品が正しくセットされていません。電源を切ってから、取り付けたオプション品をいったん取り外し、もう一度取り付けてください。電源を入れても、ディスプレイに表示されない場合や、他のエラーメッセージが表示された場合には、本書の「第5章　設置時のトラブルシューティング」を参照してください。

周辺機器・部品の設置　2

プリンター設定リストのサンプルを以下に示します。オプション品の設置が完了したら、以下の説明を参考にして、取り付けたオプション品がプリンター側に認識されていることを確認してください。

参照 プリンター設定リストの内容の詳細については、『取扱説明書（仕様編）』を参照してください。

DocuPrint C1250
プリンター設定リスト

1999/05/21 00:00:00

**全体**

| | |
|---|---|
| プリントページ数 | |
| カラープリントページ数 | 0ページ |
| 白黒プリントページ数 | 0ページ |
| 総プリントページ数 | 0ページ |
| ページ記述言語(PDL) | PLW |
| 解像度 | 600dpi |
| 両面機能 | なし |
| ROMバージョン | |
| 標準ROM | Ver. 1.0.0 |
| NetROM | Ver. 1.0.0 |

**オプション**

| | |
|---|---|
| 内蔵ハードディスク | あり　総容量 (6143MB) |
| インターフェイスボード | |
| Ethernet* | 100BASE-TX/10BASE-T/10BASE-5<br>アドレス　**:**:**:**:**:** |
| 排出ユニット | オフセット排出トレイ |
| 排出先 | 排出トレイ |
| オプションROM | NetROM |
| カラーイメージアクセラレーター | なし |
| 二次キャッシュメモリー | なし |

**メンテナンス**

| | |
|---|---|
| スタートアップページ | する |
| プリント警告音 | しない |
| 節電モード移行時間 | 60分後 |
| 紙づまりの処置 | 再プリントする |
| 自動プリント履歴 | しない |
| SNMPエージェント | 起動 |
| IPX | 起動 |
| UDP | 停止 |
| CentreWare Internet Services | 停止 |
| Ethernet* | 自動(10BASE-T/100BASE-TX) |
| IPX/SPX | 自動(Ethernet II) |

**メモリー**

| | |
|---|---|
| 総容量 | 128MB |
| フォントキャッシュ | 1.50MB |
| PLW | 14.50MB |
| 受信バッファ | |
| パラレル | 256KB |
| SMB | スプール しない（容量 256KB） |

**プリント設定**

| | |
|---|---|
| 自動トレイ禁止 | なし |

**パラレル**

| | |
|---|---|
| ポート状態 | 起動 |
| プリントモード指定 | 自動 |
| JCL | 有効 |
| 自動排出時間 | 30秒 |
| 双方向通信 | する |
| インプットプライム | 有効 |

**lpd**

| | |
|---|---|
| ポート状態 | 停止 |

**SMB**

| | |
|---|---|
| ポート状態 | 起動 |
| プリントモード指定 | 自動 |
| JCL | 有効 |
| トランスポート指定 | |
| TCP/IP | 停止 |
| NetBEUI | 起動 |
| ホスト名 | FX-****** |
| ステータス情報 | 正常 |

**NetWare®**

| | |
|---|---|
| ポート状態 | 停止 |

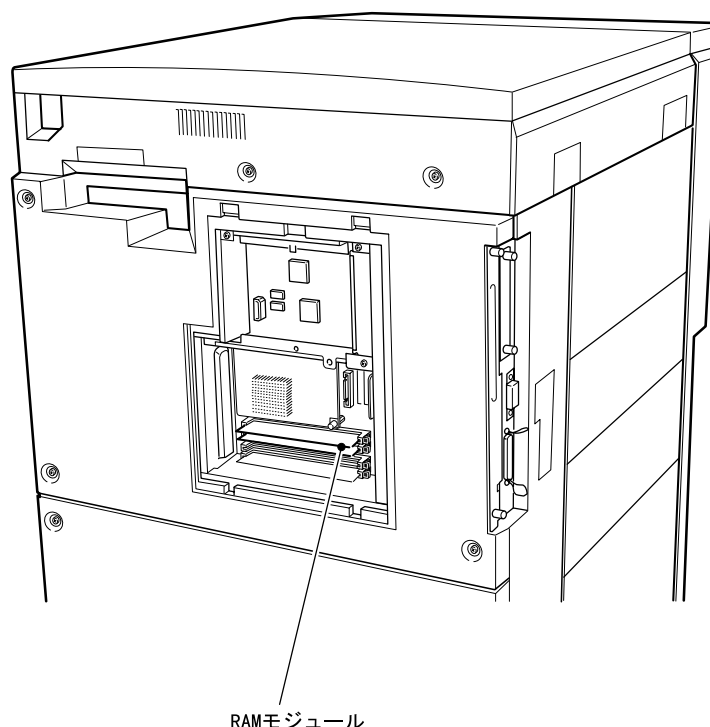
CentreWareは米国Xerox Corporationの登録商標です。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

# 2.2 増設RAMモジュール（64/128MByte）を取り付ける



**増設**RAM**モジュールには、**64MByte**と**128MByte**の**2**つのタイプがあります。**

**以下に増設**RAM**モジュールの取り付け方法を説明します。増設**RAM**モジュールは機械の背面にあるオプション設置部に取り付けます。**

**出荷時のメモリー容量は、**DocuPrint C1250**の場合は**64MByte**、**DocuPrint C1250 Net**（ネットモデル）の場合は、**128MByte**です。それぞれ、上段のスロットに１枚取り付けられています。**

**追加する増設**RAM**モジュールは、本体の出荷時のメモリー容量に関係なく、通常、下段スロットに取り付けます。**

**ただし、**DocuPrint C1250**の場合に**256MByte**まで増設するには、出荷時に装着されている上段の**64MByte**メモリーを外して、上段・下段の両方に**128MByte**の増設**RAM**モジュールを取り付けます。**

RAM**モジュールを取り付けるスロットの位置については次の表を参照してください。**

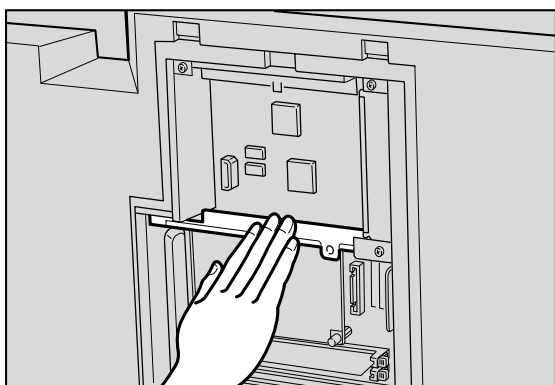
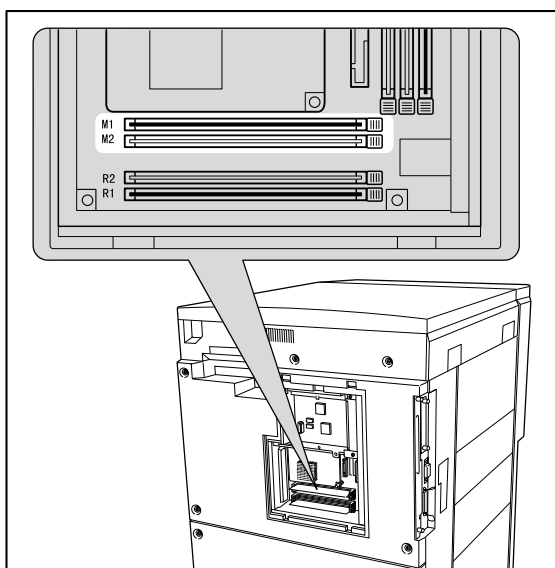
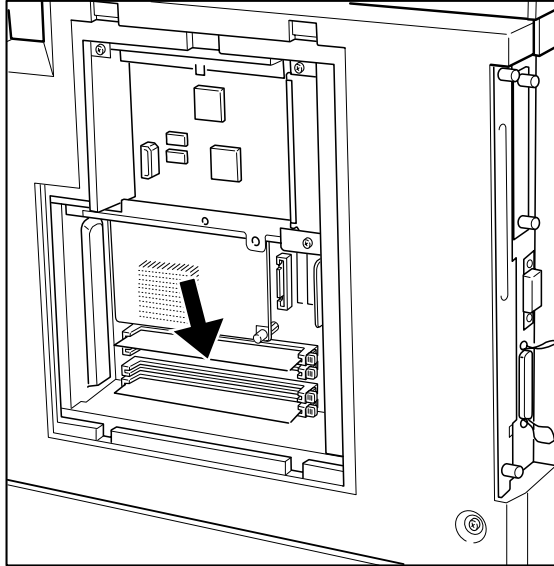
補足 **現在のメモリー容量は、スタートアップページあるいはプリンター設定リストで確認することができます。スタートアップページは工場出荷時の設定では電源を入れたときに出力されます。プリンター設定リストのプリント方法は「**2.1.6　**プリンター設定リストをプリントする」を参照してください。**

| RAM容量 | スロット | 装着される RAMモジュール | 説明 |
|---|---|---|---|
| 64 M Byte | 上側(M1) | 64 M Byte | DocuPrint C1250の工場出荷時の状態 |
| | 下側(M2) | 空き | |
| 128 M Byte | 上側(M1) | 128 M Byte | DocuPrint C1250 Net(ネットモデル)の工場出荷時の状態 |
| | 下側(M2) | 空き | |
| 128 M Byte | 上側(M1) | 64 M Byte | DocuPrint C1250の下側スロット(M2)にRAMモジュール(64 M Byte)を追加した場合 |
| | 下側(M2) | 64 M Byte | |
| 192 M Byte | 上側(M1) | 64 M Byte | DocuPrint C1250の下側スロット(M2)にRAMモジュール(128 M Byte)を追加した場合 |
| | 下側(M2) | 128 M Byte | |
| 192 M Byte | 上側(M1) | 128 M Byte | DocuPrint C1250 Net(ネットモデル)の下側スロット(M2)にRAMモジュール(64 M Byte)を追加した場合 |
| | 下側(M2) | 64 M Byte | |
| 256 M Byte | 上側(M1) | 128 M Byte | DocuPrint C1250 Net(ネットモデル)では下側スロット(M2)にRAMモジュール(128 M Byte)を追加<br>DocuPrint C1250では上側スロットのRAMモジュール(64 M Byte)をはずして、上・下ともRAMモジュール(128 M Byte)を追加 |
| | 下側(M2) | 128 M Byte | |

⚠警告 **ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**

注記

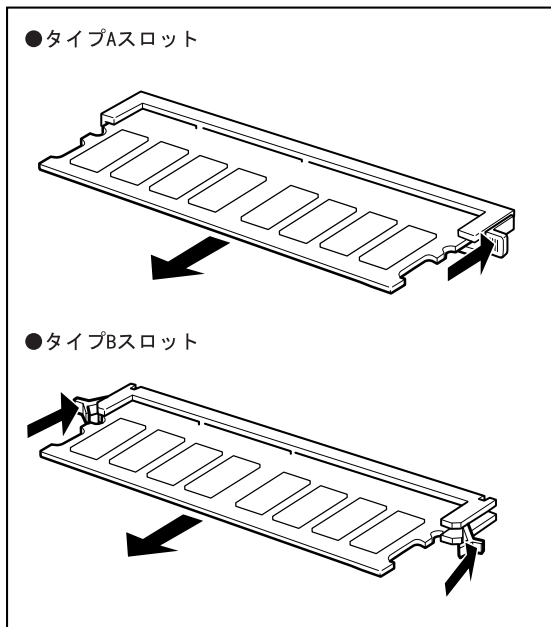
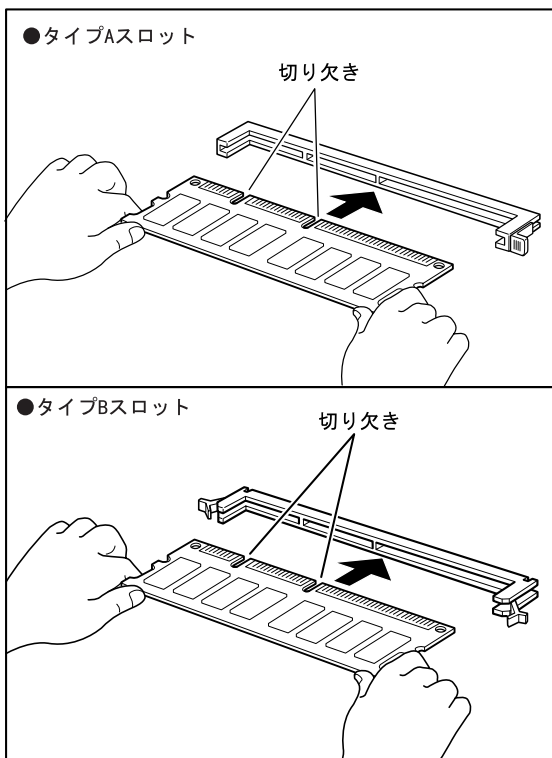
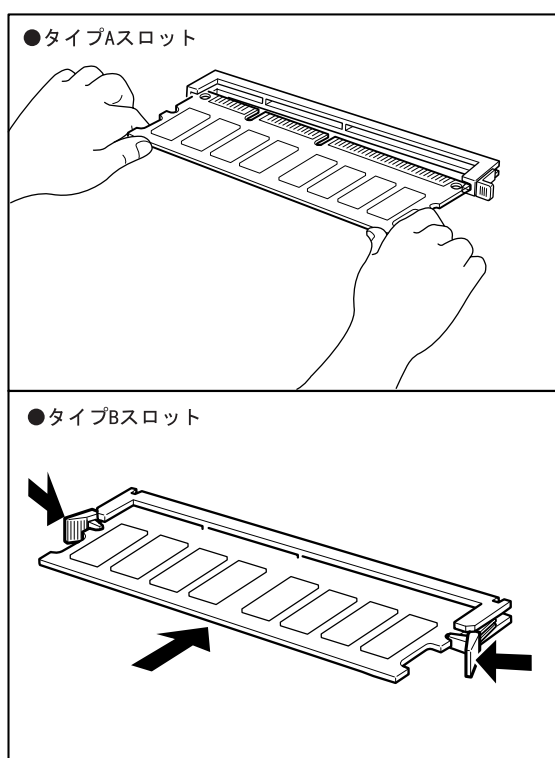
- ボードやROMの端子部分には触らないでください。また、端子部分を曲げたり、キズをつけないでください。
- 取り付け時は、本書で示しているケーブルや部品のみを操作してください。本書で示しているケーブルや部品以外を触ったり脱着すると、正しく動作しなくなる場合があります。

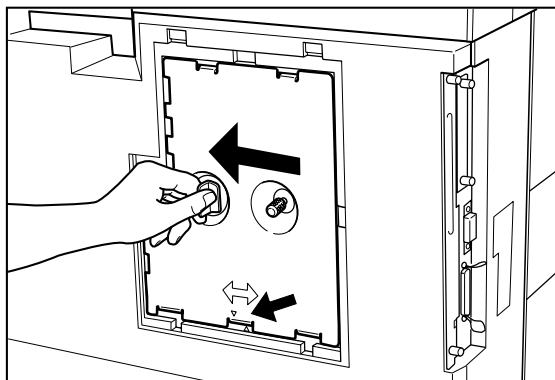
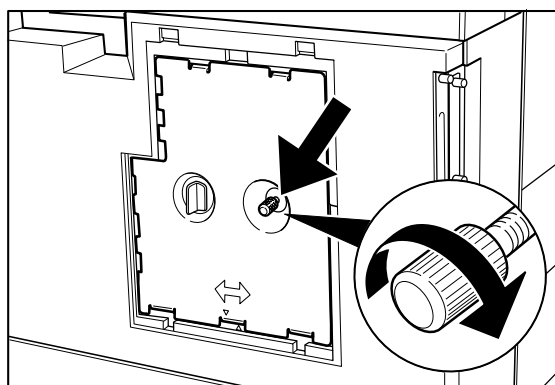
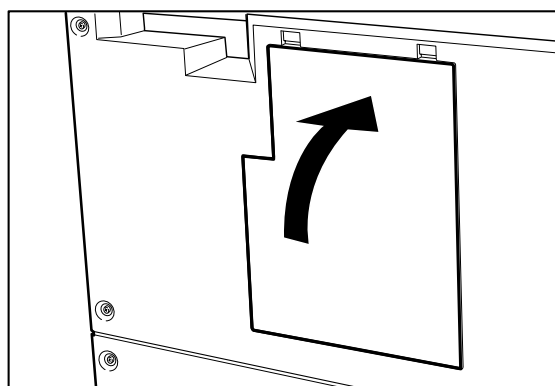
① 増設RAMモジュールの取り付け前に、本体設置時に出力されるスタートアップページで、現在のメモリー容量を確認してください。工場出荷時には、モデルによって64MByteと128MByteの２つの場合があります。また、すでに1度RAMを増設したことがある場合には、プリンター設定リストなどで確認しておきます。メモリー容量を確認したら、「2.1.4　取り付けの準備をする」(P.29)を参照して、作業できる位置に機械を移動し、機械背面のオプションカバーを開いて金属性のカバーを取り外します。

② 金属フレームに触れ、静電気を除去します。

③ 増設メモリーは左の図の位置に取り付けます。位置を確認してください。

④ 256M Byteに増設する場合で、上側(M1)のRAMスロットにRAMモジュール(64M Byte)が装着されているときは次の操作をしてください。

①タイプAスロットの場合は、上側(M1)のRAMスロット右側にある白いフックを押し、RAMモジュール(64M Byte)を取り外します。

タイプBスロットの場合は、上側(M1)のRAMスロットの両側を横に開いて、RAMモジュール(64M Byte)を取り外します。

②手順5〜7を参照し、空いている上側(M1)のRAMスロット、および上側(M2)のRAMスロットに、増設RAMモジュール(128M Byte)を取り付けます。

補足 192M Byteまでの増設の場合には、現在装着されているRAMモジュールは、そのままにします。RAM容量と各スロットのRAMモジュールの詳細は、36ページの表で確認してください。

5. 増設RAMモジュールの切り欠きが左側にくるようにして、増設RAMモジュールを少し差し込みます。

6. タイプAスロットの場合は、増設RAMモジュールの左側を奥に差し込み、続けて右側を奥に差し込み、「カチッ」という音がしてRAMスロット右側の白いフックが上がることを確認します。

   タイプBスロットの場合は、左右を均等に奥までしっかり差し込んだあと、両側のつめをRAMモジュールの両脇のみぞにはまるように、取り付けます。

⑧ フレーム側の△と、カバー側の左側▽の位置を合わせたあと、左方向にスライドさせて金属製のカバーを閉めます。

⑨ ネジを右方向に回して金属製のカバーを固定します。

⑩ オプションカバー下部の凸部を本体の溝に合わせ、パチンと音がするまで閉じます。

⑪ **「2.1.5　機械を元に戻す」(P.31)を参照して機械を元の位置に戻し、インターフェイスケーブルを接続して電源を入れます。**

補足 「デンゲン　ヲ　キリイリ　シテクダサイ」と表示される場合は、増設RAMモジュールが正しくセットされていません。増設RAMモジュールをいったん取り外し、もう一度取り付けてください。なお、同じメッセージが表示される場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社のテレフォンセンターにご連絡ください。

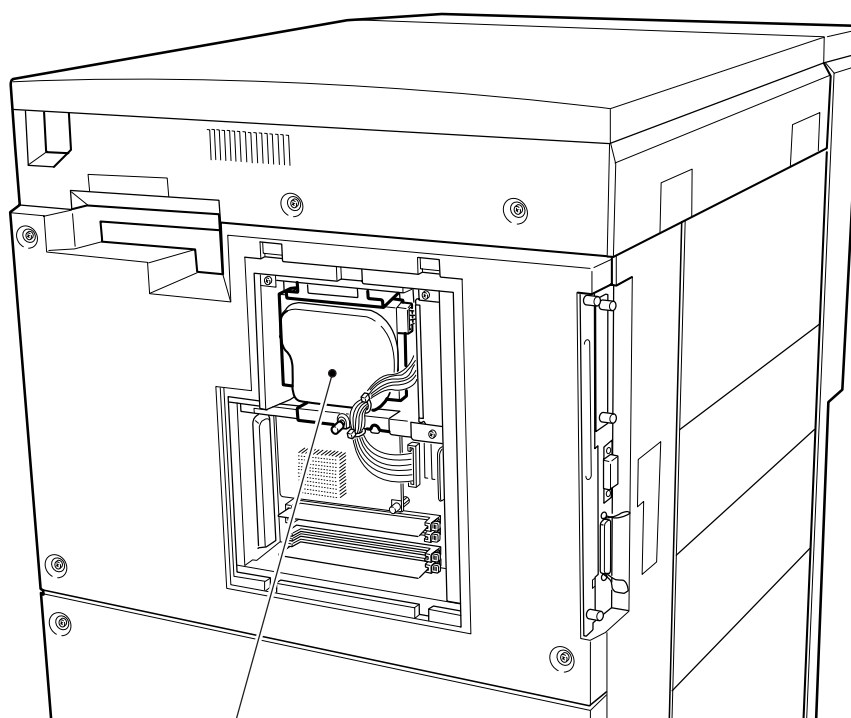
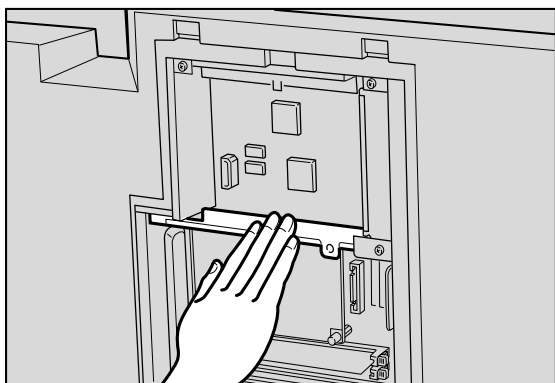
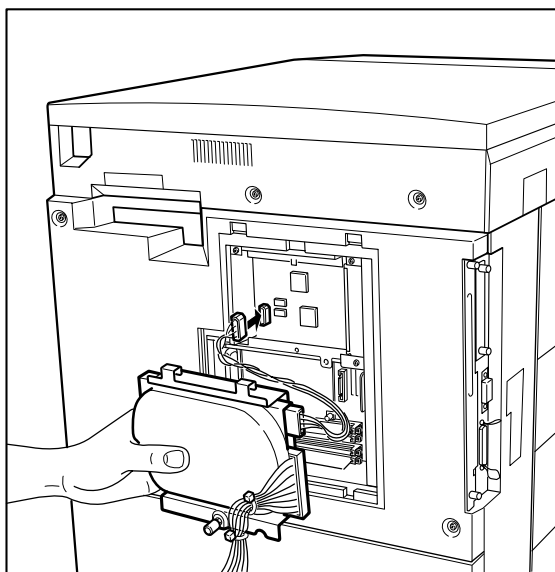
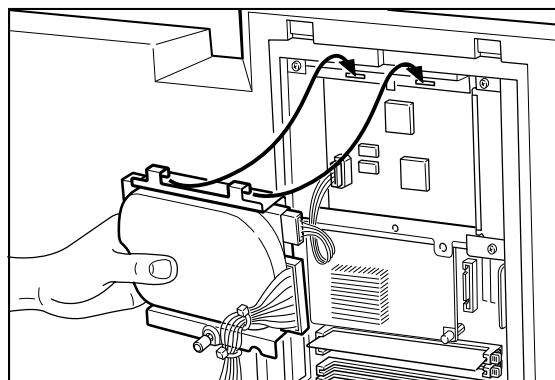
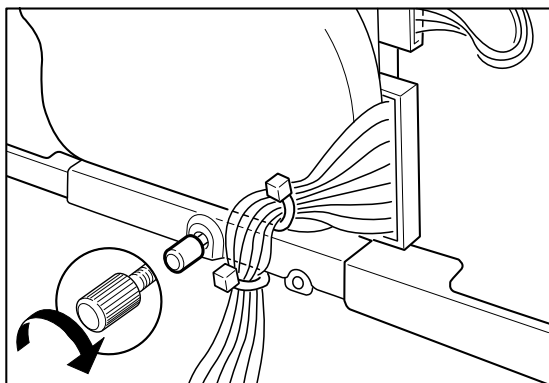
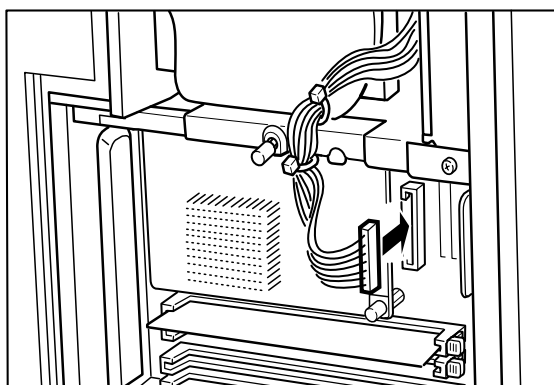
⑫ **「2.1.6　プリンター設定リストをプリントする」(P.33)を参照してプリンター設定リストをプリントし、機械の設定状態を確認します。**

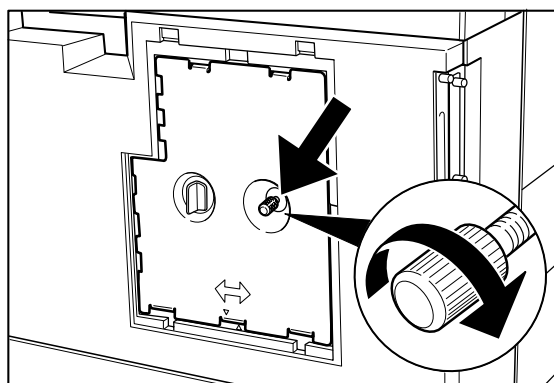
# 2.3 内蔵ハードディスクを取り付ける

**内蔵ハードディスク(以降、ハードディスクと呼びます)の取り付け方法を説明します。**
**ハードディスクは機械の背面にあるオプション設置部に取り付けます。**

⚠警告 **ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**

注記

- **ハードディスクは非常にデリケートな機器です。衝撃を与えると故障するおそれがあります。取り扱いには十分にご注意ください。**
- **ボードやROMの端子部分には触らないでください。また、端子部分を曲げたり、キズをつけないでください。**
- **取り付け時は、本書で示しているケーブルや部品のみを操作してください。本書で示しているケーブルや部品以外を触ったり脱着したりすると、正しく動作しなくなる場合があります。**

1. 「2.1.4　取り付けの準備をする」(P.29)を参照して、作業できる位置に機械を移動し、機械背面のオプションカバーを開いて金属性のカバーを取り外します。

2. 金属フレームに触れ、静電気を除去します。

3. 片手でハードディスクを持ちながら、もう一方の手でハードディスク取り付け部の左側にあるソケットにコネクターケーブル先端のソケットを合わせ、まっすぐに差し込みます。

4. ハードディスク上部にある2つの突起部分を本体のフレームの溝に掛けます。

❺ ネジを右方向に回して固定します。

❻ ハードディスクから出ているコネクターケーブルを図の位置に接続します。

❼ フレーム側の△と、カバー側の左側▽の位置を合わせたあと、左方向にスライドさせて金属製のカバーを閉めます。

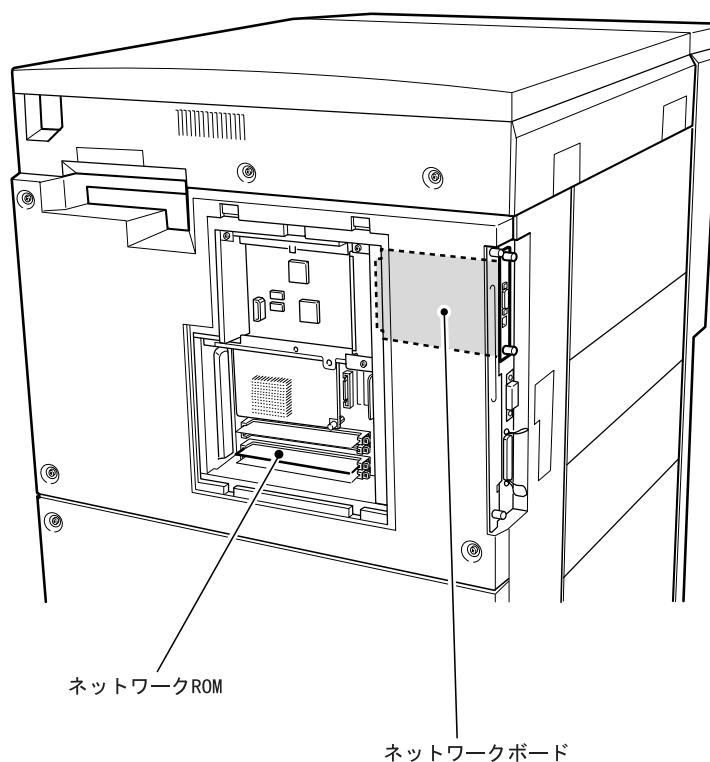
❽ ネジを右方向に回して金属製のカバーを固定します。

⑨ **オプションカバー下部の凸部を本体の溝に合わせ、パチンと音がするまで閉じます。**

⑩ **「2.1.5　機械を元に戻す」(P.31)を参照して機械を元の位置に戻し、インターフェイスケーブルを接続して電源を入れます。**

補足 「デンゲン　ヲ　キリイリ　シテクダサイ」と表示される場合は、ハードディスクが正しくセットされていません。ハードディスクをいったん取り外して、もう一度取り付けてください。同じメッセージが表示される場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社のテレフォンセンターにご連絡ください。

# 2.4 インターフェイスボードを取り付ける

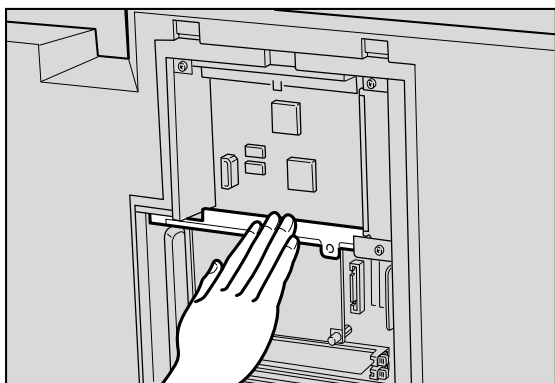
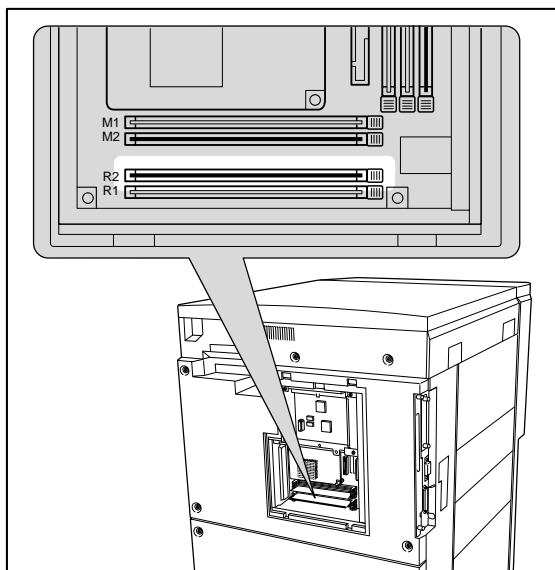
**インターフェイスボードType1（以下、インターフェイスボードと略します）は、イーサネット通信をするためのネットワークボードおよびネットワークROMの２つで構成されています。**

**以下にインターフェイスボードの取り付け方法を説明します。ネットワークROMは機械の背面にあるオプション設置部に、ネットワークボードは機械の左側面にあるインターフェイス専用スロットに取り付けます。**

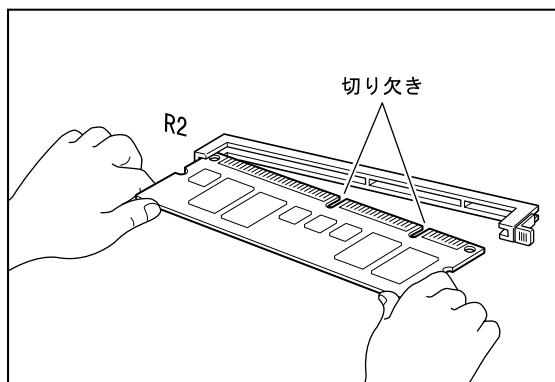
⚠警告 **ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**

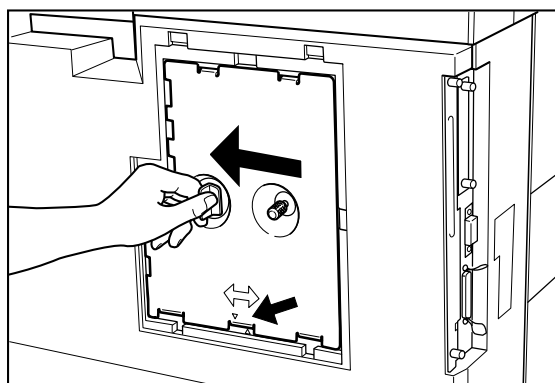
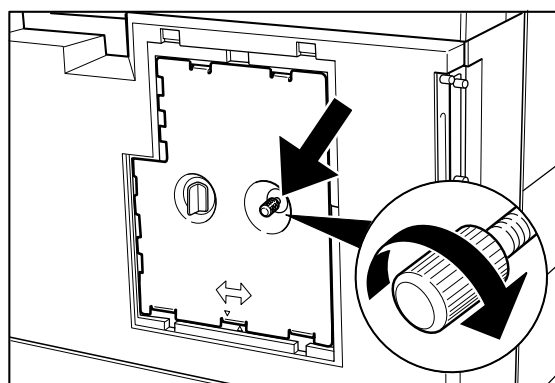
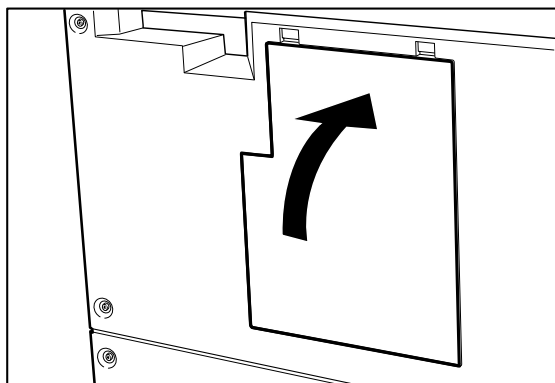
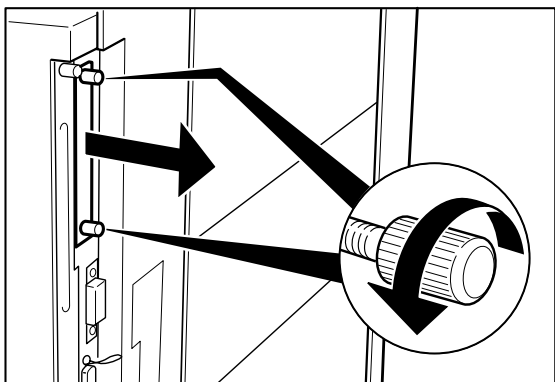
⚠注意 **インターフェイスケーブルを接続するときは，必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。**

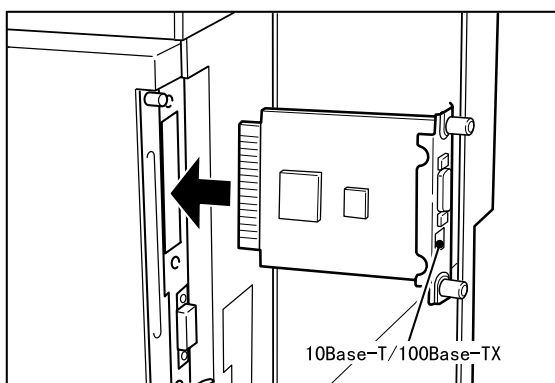
注記

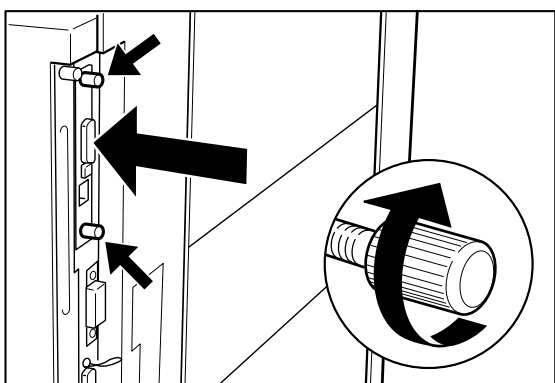
- **ボードやROMの端子部分には触らないでください。また、端子部分を曲げたり、キズをつけないでください。**
- **取り付け時は、本書で示しているケーブルや部品のみを操作してください。本書で示しているケーブルや部品以外を触ったり脱着したりすると、正しく動作しなくなる場合があります。**

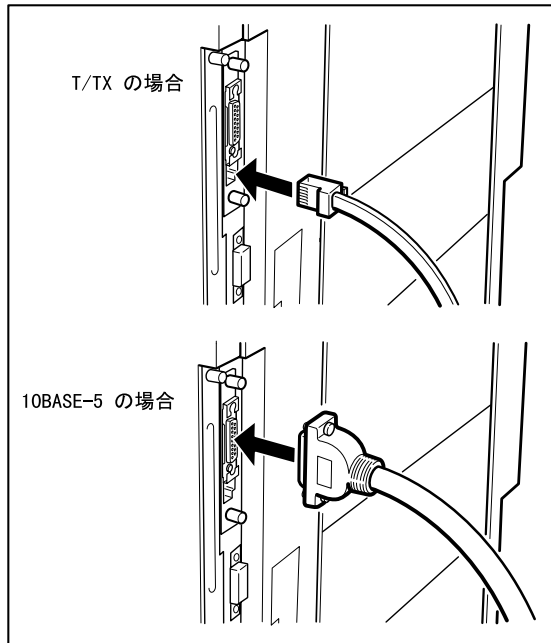
① 「2.1.4　取り付けの準備をする」(P.29)を参照して、作業できる位置に機械を移動し、機械背面のオプションカバーを開いて金属性のカバーを取り外します。

② 金属フレームに触れ、静電気を除去します。

③ ネットワークROMは、上側のROMスロット(R2)に取り付けます。位置を確認してださい。

④ 切り欠きが右側にくるようにして、上側のROMスロット(R2)にネットワークROMを軽く差し込みます。

⑤ 左側を奥に差し込みます。

⑥ 右側を奥に差し込み、「カチッ」という音がしてROMスロット左側の白いフックが上がることを確認します。

⑦ フレーム側の△と、カバー側の左側▽の位置を合わせたあと、左方向にスライドさせて金属製のカバーを閉めます。

⑧ ネジを右方向に回して金属製のカバーを固定します。

⑨ オプションカバー下部の凸部を本体の溝に合わせ、パチンと音がするまで閉じます。

⑩ 機械の左側面にあるインターフェイス専用スロットの2つのネジを左方向に回して取り外し、シールドカバーを取り外します。

補足 取り外したシールドカバー、およびネジは大切に保管してください。

⑪ ネットワークボードを図に示すように、10Base-T/100Base-TXのコネクターが下になるようにして、スロットのガイドに合わせて奥までしっかりと差し込みます。

注記 ボードの上下をしっかりと確認してください。上下を逆にしたまま無理に押し込むとボードが破損するおそれがあります。

⑫ 2つのネジを右方向に回して、ネットワークボードを固定します。

注記 ネットワークボードがスロット奥のコネクターに接続するようにしっかりと差し込んでから固定してください。

⑬ **「2.1.5 機械を元に戻す」(P.31)を参照して、機械を元の位置に戻します。**

⑭ **取り付けたネットワークボードのコネクターにインターフェイスケーブルを接続します。**

**インターフェイスケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合う、次のいずれかのケーブルを使用してください。**

- 10Base-T / 100Base-TX
- 10Base5

⑮ **電源を入れます。**

補足 「ネットワークボード　ガ　ジッソウ　サレテイマセン」「ネットワークROM　ガ　ジッソウ　サレテイマセン」「イーサネット　ケーブル　ヲ　カクニンシテ　クダサイ」「デンゲン　ヲ　キリイリ　シテクダサイ」と表示される場合は、ネットワークROMやインターフェイスボードが正しくセットされていません。ネットワークボード、ネットワークROMをいったん取り外し、もう一度取り付けてください。同じメッセージが表示される場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社のテレフォンセンターにご連絡ください。

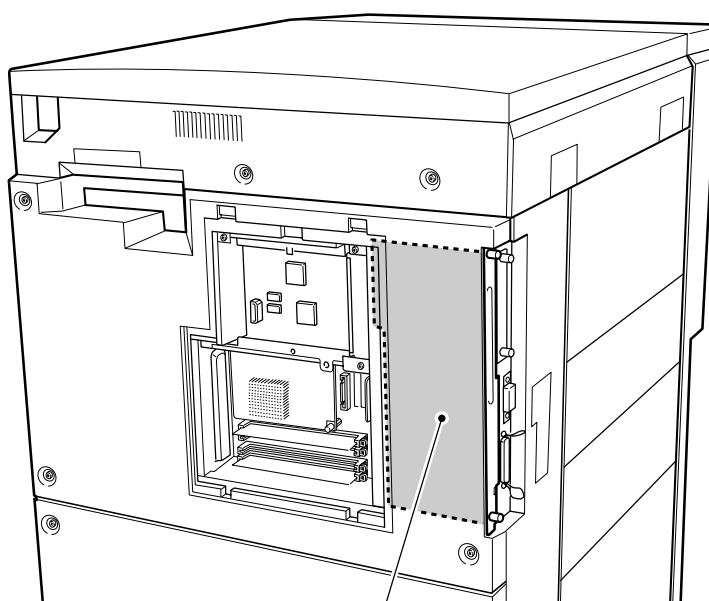
⑯ **必要に応じてネットワーク環境の設定、およびホスト装置へのプリンタードライバーのインストールなどを行います。**

参照 ネットワーク環境設定については「ネットワーク環境設定ガイド」を、プリンタードライバーのインストール方法や操作方法については「第4章 ホスト装置側の設定」を参照してください。

⑰ **本書の「2.1.6 プリンター設定リストをプリントする」(P.33)を参照してプリンター設定リストをプリントし、機械の設定状態を確認します。**

# 2.5 カラーイメージアクセラレーターを取り付ける

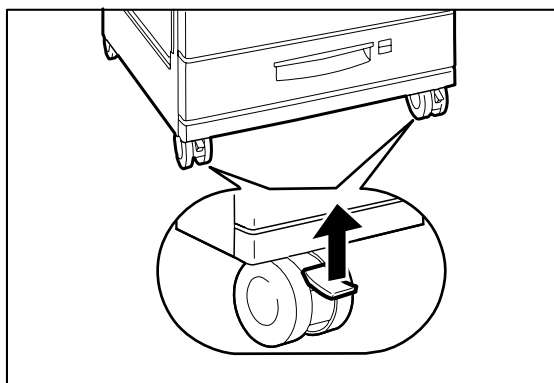


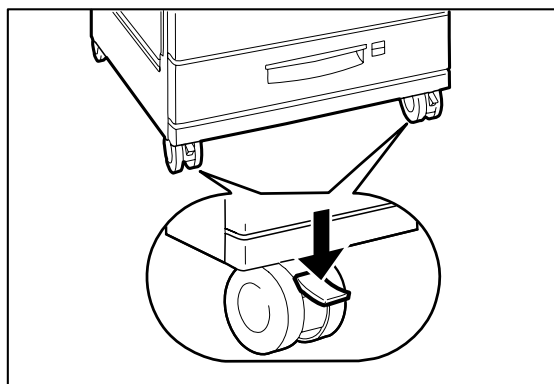
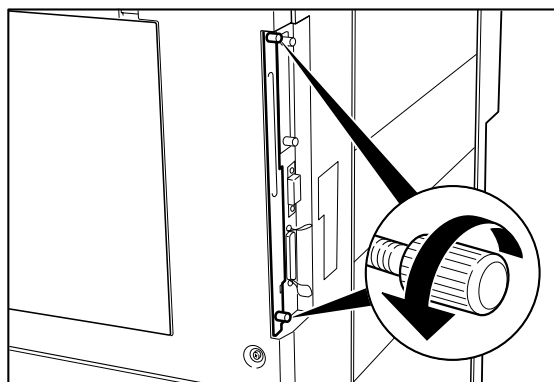
**カラーイメージアクセラレーターは、RGBデータをCMYKデータにハードウェアで変換するためのオプション製品です。以下にカラーイメージアクセラレーターの取り付け方法を説明します。カラーイメージアクセラレーターは機械の左側面にある大きいほうのスロットに取り付けます。**

⚠警告 **ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**

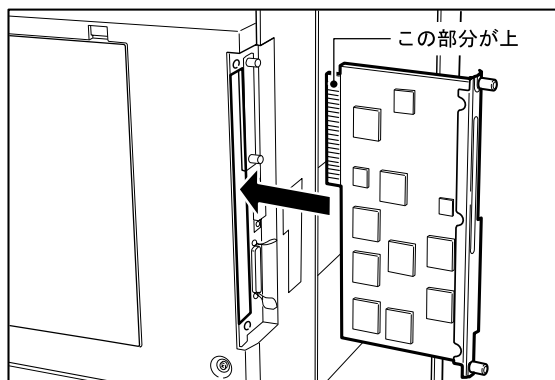
注記

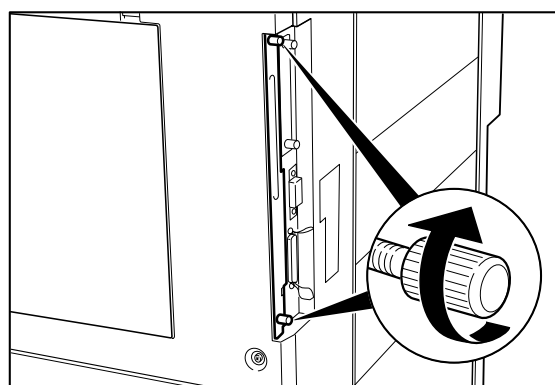
- **ボードやROMの端子部分には触らないでください。また、端子部分を曲げたり、キズをつけないでください。**
- **取り付け時は、本書で示しているケーブルや部品のみを操作してください。本書で示しているケーブルや部品以外を触ったり脱着したりすると、正しく動作しなくなる場合があります。**

① ディスプレイに「プリントデキマス」と表示されていることを確認します。

② 電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜き、接続されているネットワークなどのケーブルも抜きます。

③ 機械の前面にある2か所のキャスターの移動防止用ストッパーのロックを解除します。

⚠注意　**本機の重さは約250kgです。必ず2人以上で移動してください。**

④ 機械の左側面で作業がしやすいように機械を移動し、キャスターの移動防止用ストッパー（前面2か所）をロックします。

⑤ 機械の側面にあるアクセラレーター専用スロットの2つのネジを左方向に回して取り外し、シールドカバーを取り外します。

補足　取り外したシールドカバー、およびネジは大切に保管してください。

**⑥ カラーイメージアクセラレーターを図に示す方向に向け、スロットのガイドに合わせて奥までしっかりと差し込みます。**

注記 カラーイメージアクセラレーターの上下をしっかりと確認してください。上下を逆にしたまま無理に押し込むと、カラーイメージアクセラレーターが破損するおそれがあります。

**⑦ 2つのネジを右方向に回してカラーイメージアクセラレーターを固定します。**

**カラーイメージアクセラレーターがスロット奥のコネクターに接続するようにしっかりと差し込んでください。　2つのネジを右方向に回してカラーイメージアクセラレーターを固定します。**

**⑧ 「2.1.5　機械を元に戻す」(P.31)を参照して機械を元の位置に戻し、インターフェイスケーブルを接続して電源を入れます。**

補足 「デンゲン　ヲ　キリイリ　シテクダサイ」と表示される場合は、カラーイメージアクセラレーターが正しくセットされていません。カラーイメージアクセラレーターをいったん取り外し、もう一度取り付けてください。同じメッセージが表示される場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社のテレフォンセンターにご連絡ください。

**⑨ 「2.1.6　プリンター設定リストをプリントする」(P.33)を参照してプリンター設定リストをプリントし、機械の設定状態を確認します。**

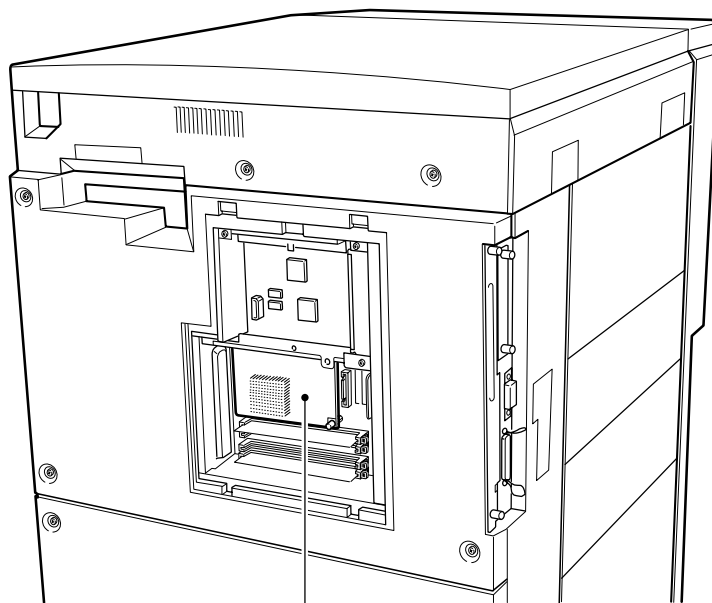
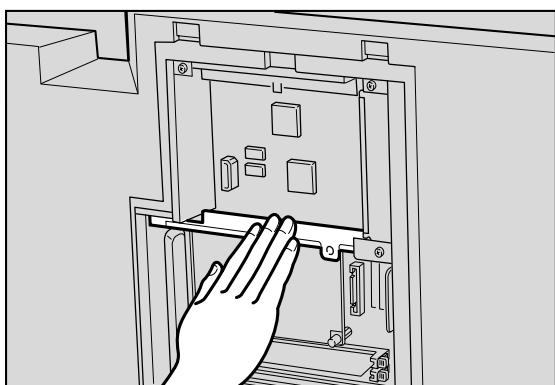
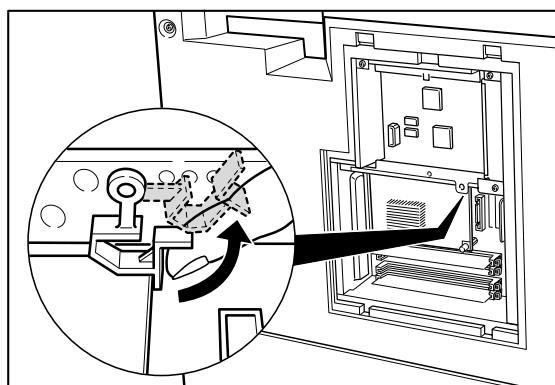
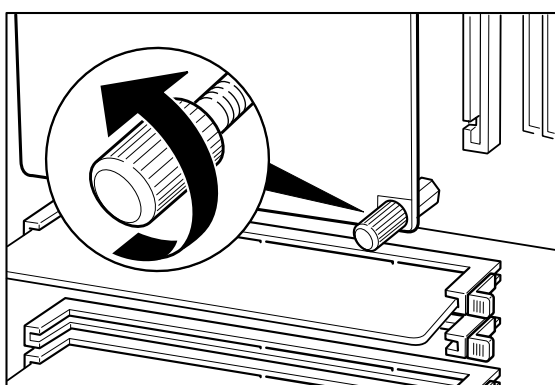
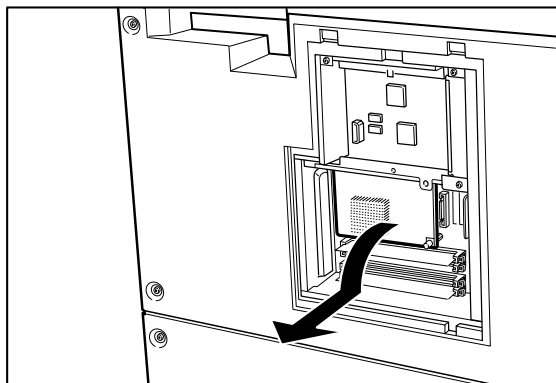
# 2.6 CPUアップグレードキットを取り付ける

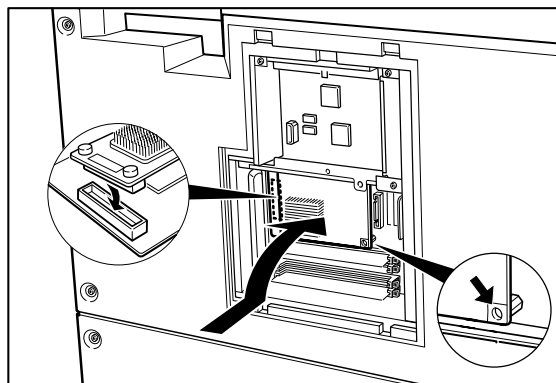
CPUアップグレードキットは、キャッシュメモリーを追加するためのオプションです。

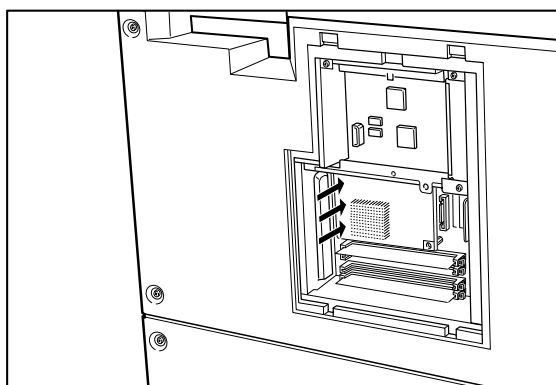
以下にCPUアップグレードキットの取り付け方法を説明します。CPUアップグレードキットは、機械の背面にあるオプション設置部に取り付けます。

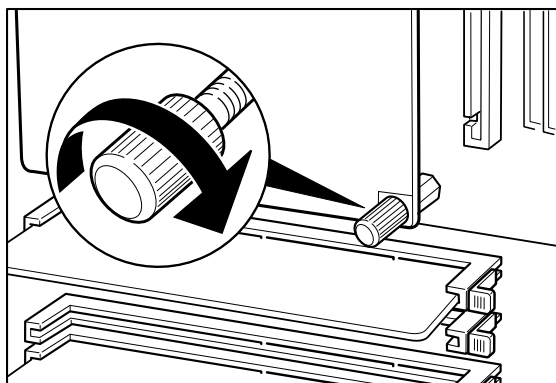
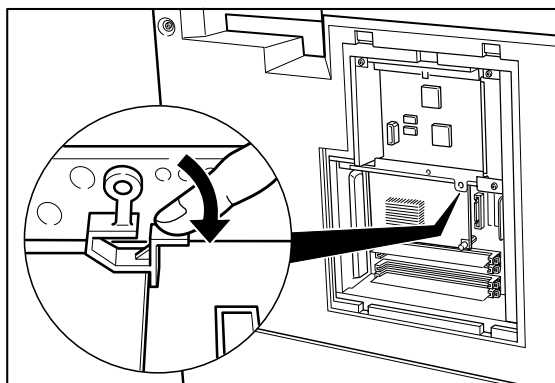
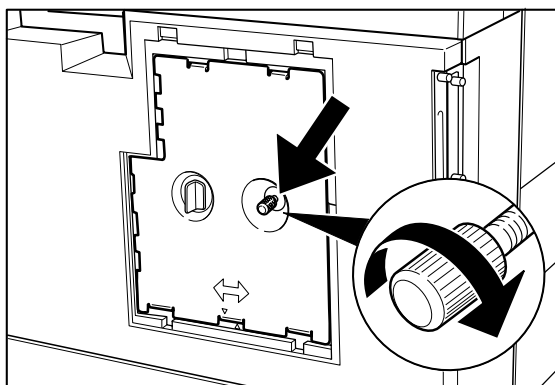
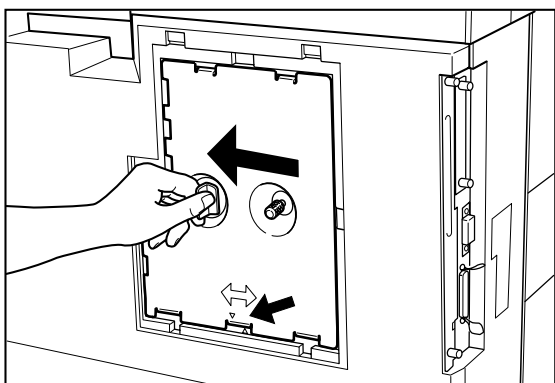
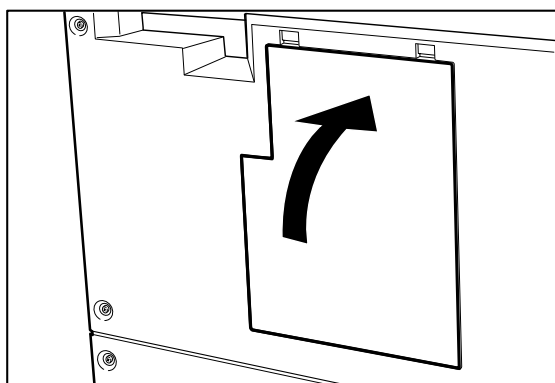
⚠警告 ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

注記

- 電源を切った直後の機械内部には高熱の箇所があります。オプション品を取り付ける場合は、機械を稼働させる前(始業前など)の作業をおすすめします。
- ボードやROMの端子部分には触らないでください。また、端子部分を曲げたり、キズをつけないでください。
- 取り付け時は、本書で示しているケーブルや部品のみを操作してください。本書で示しているケーブルや部品以外を触ったり脱着したりすると、正しく動作しなくなる場合があります。

1. 「2.1.4　取り付けの準備をする」(P.29)を参照して、作業できる位置に機械を移動し、機械背面のオプションカバーを開いて金属性のカバーを取り外します。

2. 金属フレームに触れ、静電気を除去します。

3. CPUモジュールを取り外すことのできる位置までプラスチック製の押さえを押し上げます。

4. CPUモジュール右下にあるネジを左方向に回して取り外します。

❺ CPUモジュールを少し手前に引いてコネクターの接続を外し、CPUモジュールを上下に傾けながら本体のフレームをくぐらせて取り外します。

補足 取り外したCPUモジュールは、大切に保管してください。

❻ CPUモジュールを取り外した位置にCPUアップグレードキットをセットします。

CPUアップグレードキットの上部が本体のフレームの下側にくるよう、CPUアップグレードキットの上部を本体のフレームの下側にくぐりこませ、CPUモジュールが水平になるよう、CPUモジュール右側のネジ穴と本体のネジ受けの位置を合わせます。

❼ CPUアップグレードキット背面のコネクターと本体のコネクターを「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。

さらに、CPUモジュールのコネクター部分を表側から押さえ、しっかりと固定します。

❽ CPUモジュール右下のネジ穴にネジを入れ、ネジを右方向に回してCPUモジュールを固定します。

⑨ プラスチック製の押さえを押し下げます。

⑩ フレーム側の△と、カバー側の左側▽の位置を合せたあと、左方向にスライドさせて金属製のカバーを閉めます。

⑪ ネジを右方向に回して金属製のカバーを固定します。

⑫ オプションカバー下部の凸部を本体の溝に合わせ、パチンと音がするまで閉じます。

⑬ **「2.1.5　機械を元に戻す」(P.29)を参照して機械を元の位置に戻し、インターフェイスケーブルを接続して電源を入れます。**

補足
- 電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない(真っ白)の場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、CPUアップグレードキットが正しく、しっかりとセットされているかどうかもう一度確認してください。
- 「デンゲン　ヲ　キリイリ　シテクダサイ」と表示される場合は、CPUアップグレードキットが正しくセットされていません。電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、CPUアップグレードキットをいったん取り外して、もう一度取り付けてください。

症状が変わらない場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社のテレフォンセンターにご連絡ください。

⑭ **「2.1.6　プリンター設定リストをプリントする」(P.31)を参照してプリンター設定リストをプリントし、機械の設定状態を確認します。**

3

章

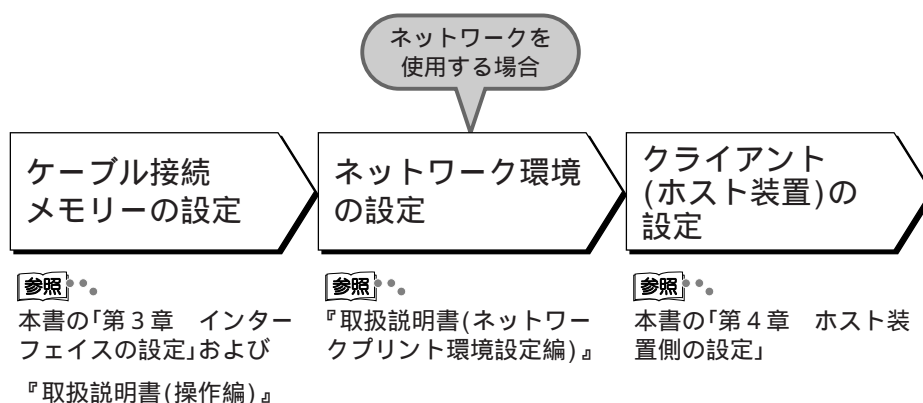
# インターフェイスの設定

# 3.1 インターフェイスケーブルの接続

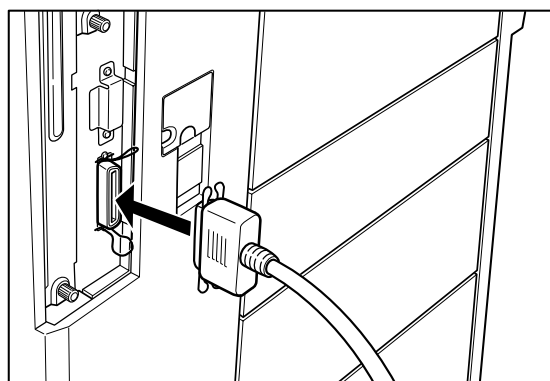
**ホスト装置とプリンターを直接接続する場合は、パラレルインターフェイスを使用します。ネットワークに接続する場合はEthernetインターフェイスを使用します。**

⚠注意 **設置時には、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となることがあります。**

補足 **本機は、パラレルインターフェイス、Ethernetインターフェイスを同時に接続することができます。また、接続されているすべてのインターフェイスから印刷データを受信することができます。**

**インターフェースケーブルの接続以降の設定操作の流れは、以下のようになります。**
**必要に応じて、対応する取扱説明書あるいは本書の章を参照してください。**

## 3.1.1 パラレルインターフェイスでの接続

**パラレルインターフェイス使用時の設置手順について説明します。**

補足 **パラレルインターフェイスを使用したホスト装置との接続には、弊社が提供するオプション製品のパラレルインターフェイスケーブルが必要です。詳しくは、『取扱説明書(仕様編)』を参照してください。**

1. **インターフェイスケーブルのコネクターをパラレルインターフェイスコネクターに差し込み、両側の金具で固定します。**
2. **ホスト装置に、インターフェイスケーブルのもう一方のコネクターを接続します。**
3. **ホスト装置の電源スイッチを入れます。**
4. **本機の電源スイッチを入れます。**

**必要に応じて、以下の項目を設定してください。**
- **プリントモード指定**　（工場出荷時：ジドウ）
- JCL**スイッチ**　（工場出荷時：ユウコウ）
- **自動排出時間**　（工場出荷時：30秒）
- **双方向送信**　（工場出荷時：スル）
- **インプットプライム**　（工場出荷時：ユウコウ）

参照 **各項目の詳細や設定方法については、『取扱説明書（操作編）』を参照してください。**

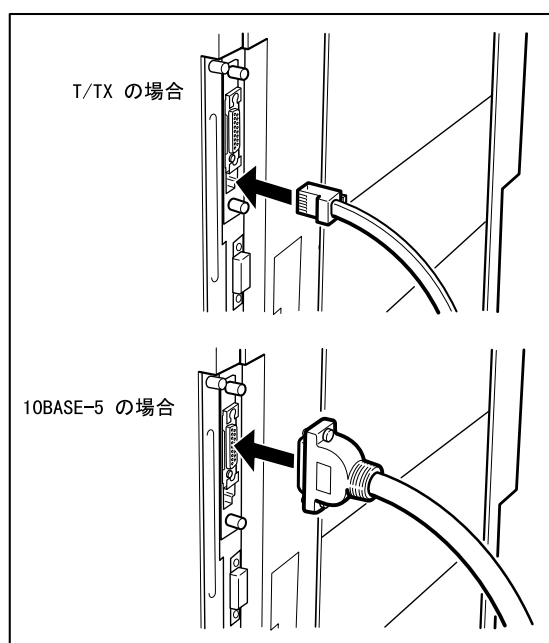
補足 **[双方向送信]以外の項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。**
**[双方向送信]については、各ホスト装置のOSによっては変更が必要な場合があります。詳細は、「第4章　ホスト装置側の設定」を参照してください。**



## 3.1.2　Ethernetでの接続

Ethernet**インターフェイスは、次の**3**種類に対応しています。**
- 100Base-TX
- 10Base-T
- 10Base-5

補足 **工場出荷時は、**100Base-TX**と**10Base-T**が自動的に切り替わるように設定されています。**10Base-5**環境で使用する場合は、ケーブル接続後、必ずプリンターの操作パネルから、**Ethernet**設定を行ってください。**

Ethernet**インターフェイス使用時の設置手順について説明します。**

① Ethernet**インターフェイスのコネクターに、インターフェイスケーブルを接続します。**

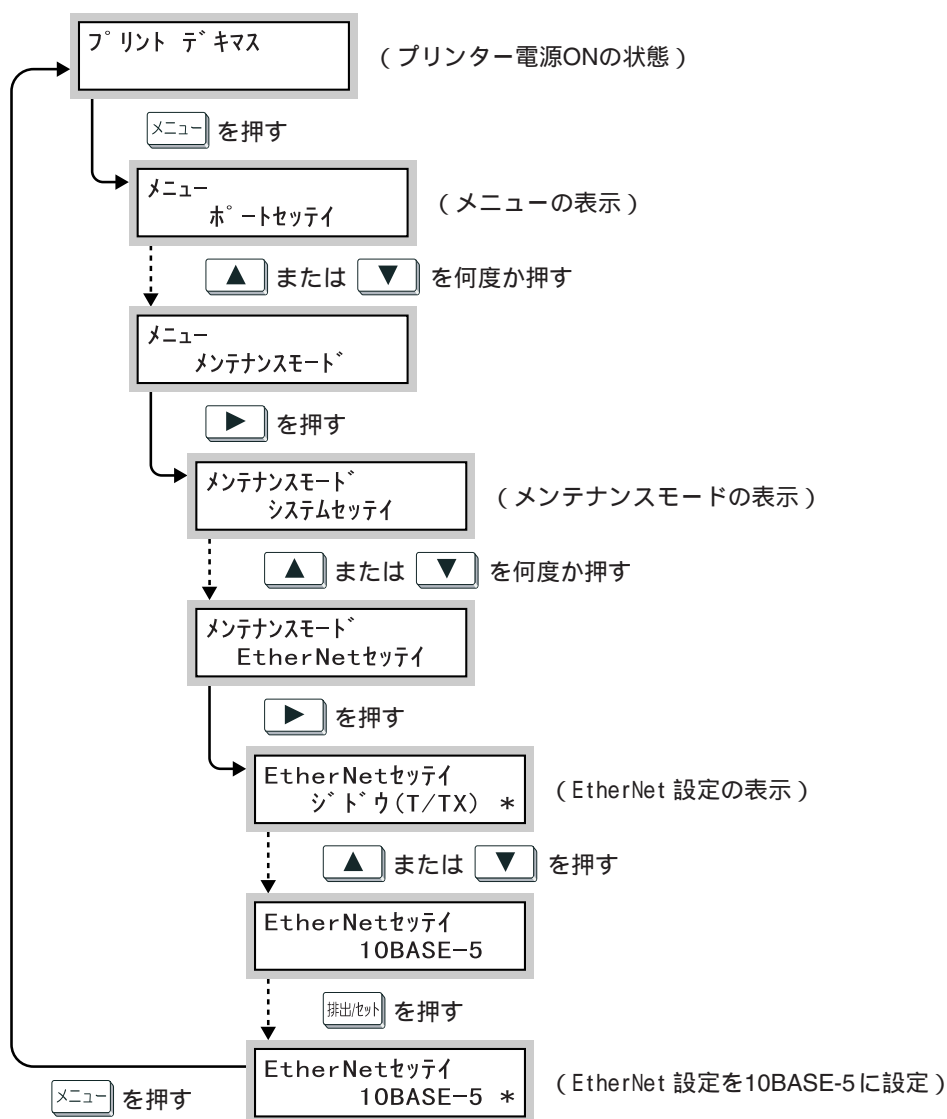
注記 Ethernet**インターフェイスの**2**つのコネクターには、インターフェイスケーブルを同時に接続しないでください。通信不良や故障の原因になります。**

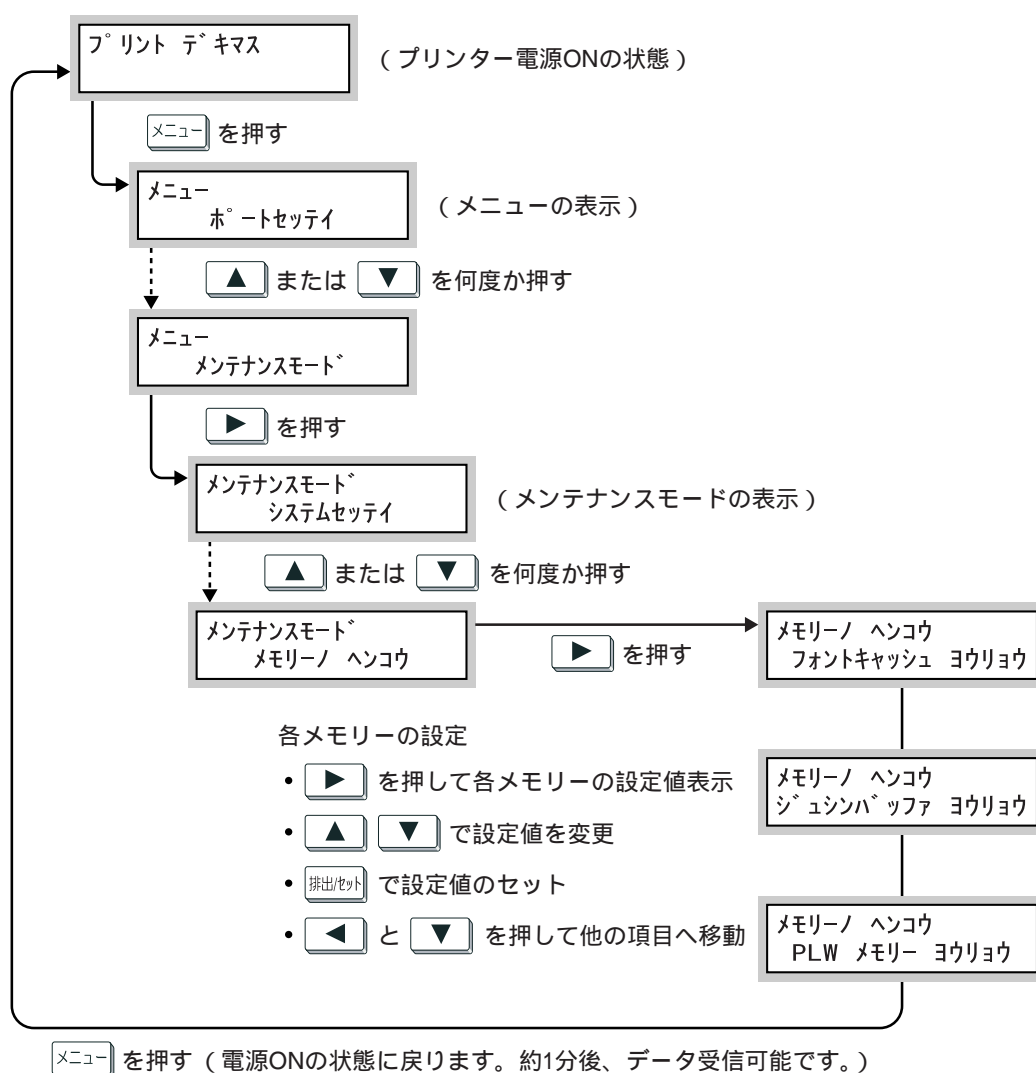
補足 **インターフェイスケーブルは、ご使用のネットワークの接続形態にあったケーブルをご用意ください。**

② **本機の電源スイッチを入れます。**

10Base-5用のコネクターに接続した場合は、次ページの手順に従って、Ethernetボード設定を10Base-5に設定してください。また、100Base-TX/10Base-Tのコネクターを接続して、100Base-TX、10Base-Tのいずれかに通信速度を固定したい場合は、次ページの手順を参考にして、設定してください。
Ethernetボード設定が終了したら、ご使用になる環境設定に応じて、プリンター側、ホスト側で設定を行ってください。

参照 設定方法は、『取扱説明書(ネットワークプリント環境設定編)』を参照してください。

# 3.2 メモリー割り当て

増設RAMモジュールを装着することにより増加したメモリー容量は、プリンターの電源投入時(システムリセット時)に必要な各メモリー容量を確保したあと、自動的にページバッファ容量に割り当てられます。必要に応じてメモリー容量の設定を変更してください。以下にメモリー設定の概要と、メモリーを増設したときにどのようにメモリーを割り当てたらよいかの概要について説明します。

参照 メモリー容量の詳細は、『取扱説明書(操作編)』の「第6章　各種設定項目について」を参照してください。

## 3.2.1　用途

メモリーは、次の用途に使用します。

- システム用
- フォントキャッシュ用
- PLWの作業領域用
- 受信バッファー用
- ページバッファー用

## 3.2.2　各メモリーの役割

システムとページバッファー以外のメモリー容量は、操作パネルから設定を変更することができます。ただし、メモリーの全体量を越えた割り振りはできません。また、電源オン時に、設定値が搭載メモリー容量を越えた場合には、次項で説明する割り振り手順によって、システムによって自動的に調整されます。

### システム用

プリンターのシステムが使用する領域です。操作パネルで使用する容量を変更することはできません。

### フォントキャッシュ用

ダウンロードフォントデータを保持しておくメモリーのことです。通常は増やす必要はありません。フォントキャッシュメモリーの容量を増やすことにより、印刷する文書によっては、印刷時間が短縮される場合もあります。

### PLWの作業領域用

PLWの作業領域用メモリーです。

### 受信バッファー用

複数のポートからのデータを受信するために、ポートごとに受信バッファーを用意しています。受信バッファーには、次の種類があります。

- パラレル受信バッファー
- SMB/lpdのスプールあるいは受信バッファー
- NetWare受信バッファー

#### パラレル受信バッファー

パラレルインターフェイス用の受信バッファーです。必要に応じて容量を増やしてください。容量を増やすと、処理が早くなることがあります。また、パラレルインターフェイスを使用しないならばポートを停止して、他の用途向けにメモリーを割り当ててください。

SMB/lpdのスプールあるいは受信バッファー

スプールする場合は、スプール用のメモリーが必要になります。スプールしない場合でも、受信バッファーが必要になります。スプール用の領域を32MB以上確保したい場合には、内蔵ハードディスクを接続することをお勧めします。内蔵ハードディスクを接続した場合は、スプール先をハードディスクにすることができます。

NetWare®受信バッファー

NetWare®用の受信バッファーです。必要に応じて容量を増やしてください。

#### ページバッファー用

実際の印刷イメージを描画する領域です。他の用途向けに割り当てたあとの、残った領域から割り当てられます。操作パネルで使用する容量を設定することはできません。最小値は44.21MBです。ただし、搭載メモリーが64MBの場合には、34.75MB(64MBのときは、12×18インチおよびSRA3用紙には印刷できません)になります。



## 3.2.3　メモリーの割り振りについて

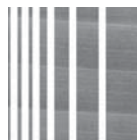
電源オン時に設定したメモリーを割り振れないときには、以下の表の上から順番で設定を最小にして割り振れたところで、正常の立上げとなります。一番左の列の番号が同じ場合はその項目は同時に処理されます。

| | 項目 | 初期値 | 最小値 | 最大値 | 設定単位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ページバッファー | - | 44.21MB（メモリー64MB時は34.75MB） | 44.21MB +残り | - |
| 2 | NetWare受信バッファー | 256KB | 64KB | 1024KB | 32KB |
| 2 | パラレル受信バッファー | 256KB | 64KB | 1024KB | 32KB |
| 2 | SMB受信バッファー（スプールシナイ） | 256KB | 64KB | 1024KB | 32KB |
| 2 | SMBスプール領域（スプールスル） | 1MB | 0.5MB | 32MB | 0.25MB |
| 3 | lpd受信バッファー（スプールシナイ） | 256KB | 64KB | 1024KB | 32KB |
| 3 | lpdスプール領域（スプールスル） | 1MB | 0.5MB | 32MB | 0.25MB |
| 4 | PLWの使用領域 | 14.5MB | 14.5MB | 64MB | 0.25MB |
| 5 | フォントキャッシュ | 1.5MB | 1.5MB | 2MB | 0.25MB |

# ホスト装置側の設定



4
章

# 4.1 プリンターの設置が終了したら

**プリンターの設置が終了したら、ホスト装置の設定をします。ホスト装置から印刷するために、プリンタードライバーをインストールします。プリンタードライバーは、ホスト装置上の印刷データや指示を、プリンターが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。**

**ここでは、DocuPrint C1250の機能を使って印刷するために必要なPLWドライバーについて説明します。**

## 4.1.1 PLWドライバー

PLWとは、富士ゼロックス独自のカラープリント用ページ記述言語です。

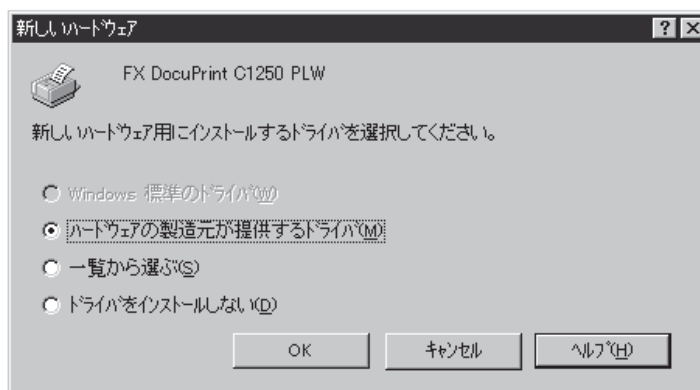
参照 お使いのOSによって、本書の以下の場所を参照してください。


- Windows® 95/98の場合 ..................「4.2 Windows® 95/98での設定」
- Windows NT® 4.0の場合.................「4.3 Windows NT® 4.0での設定」

# Windows® 95/98での設定

**ここでは、**Microsoft® Windows® 95 operating system**日本語版または**Microsoft® Windows® 98 operating system**日本語版に**PLW**ドライバー（**Windows® 95/98**用）をインストールし、オプションを設定する手順を説明します。**

## 4.2.1　2種類のインストール方法

**今回はじめて**PLW**ドライバー（**Windows® 95/98**用）をインストールする場合は、プラグアンドプレイで自動的にインストールすることができます。双方向セントロケーブル（パラレルインターフェイスケーブル）を接続して、コンピューターとプリンターの電源を入れた時点で、以下のダイアログボックスが表示されたら、プラグアンドプレイが起動されています。****「**4.2.3　**プラグアンドプレイでのインストール」を参照して****インストールを行ってください。以下のダイアログボックスが表示されなかった場合とネットワークインストールの場合は、****「**4.2.4　**機種名を選択する場合のインストール」を参照して****ください。なお、以下の画面は**Windows® 95**のものです。**

## 4.2.2　インストール前に

**インストールには、本体同梱品の「**Printer Driver DocuPrint C1250/DocuColor 1250**」**CD-ROM**を使用します。**CD-ROM**の中の**Readme.doc**は、インストールを実行する前に必ずお読みください。**

## 4.2.3 プラグアンドプレイでのインストール（Windows® 95/98）

Windows® 95/98で、ローカル接続（セントロニクス接続）して、はじめてPLWドライバーをインストールする場合、プラグアンドプレイでインストールすることができます。
ここでは、プラグアンドプレイでの、PLWドライバー（Windows® 95/98用）のインストール手順について説明します。

### 操作手順

1. PLWドライバー（Windows® 95/98用）をインストールしたいコンピューターの電源を切ります。
2. プリンターの電源を入れます。
3. コンピューターの電源を入れ、Windows® 95/98を起動します。
このあと、画面が表示されますので、その指示に従ってください。また、「4.2.4 機種名を選択する場合のインストール」を参照してください。

補足 プラグアンドプレイでインストールするときは、操作パネルで[ソウホウコウ ソウシン]が[スル]になっていることを確認してください。

## 4.2.4　機種名を選択する場合のインストール

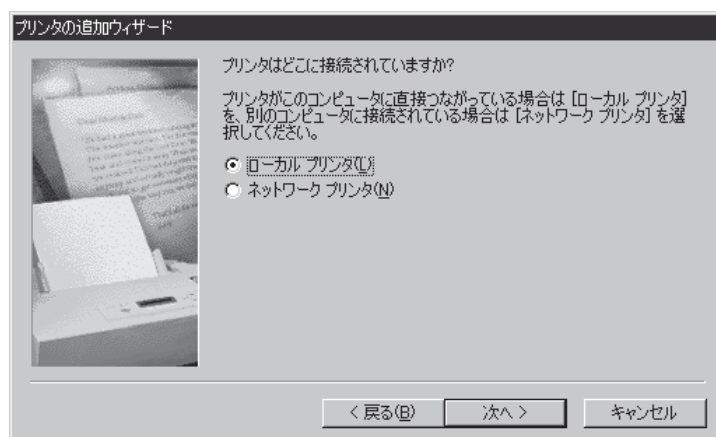
PLWドライバー（Windows® 95/98用）のインストール手順について説明します。
なお、以下の手順では、Windows® 98上での画面例で説明しています。

注記 プリンタードライバーのバージョンアップ他、何らかの理由によりプリンタードライバーを再インストールする場合は、一度プリンターアイコンを削除して、OSを再起動後、インストールしてください。

### 操作手順

1. プリンターの電源を入れます。
2. コンピューターの電源を入れ、Windows® 95/98を起動します。
3. [スタート]ボタンをクリックします。[設定]をポイントし、[プリンタ]をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

   補足 「マイコンピュータ」ウィンドウの「プリンタ」アイコンをダブルクリックする方法もあります。

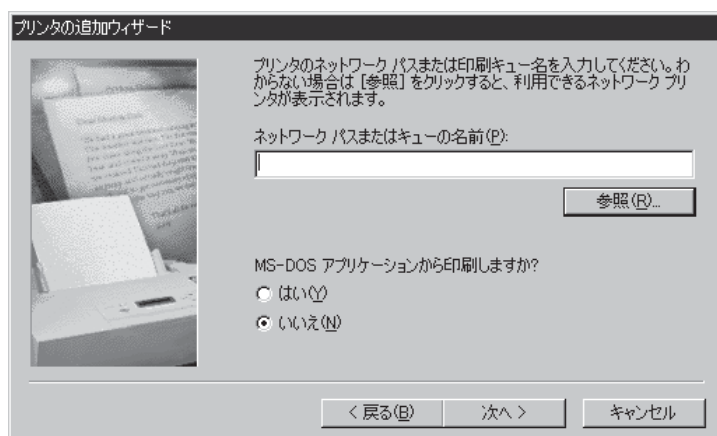
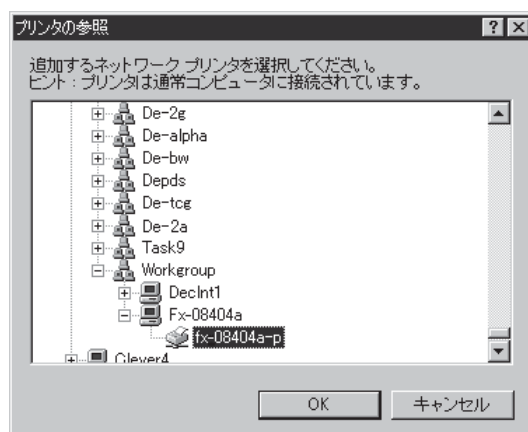
4. 「プリンタ」ウィンドウの中の、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
5. 指示に従って、[次へ>]をクリックします。
6. プリンターの接続を指定します。

●ローカルプリンタの場合

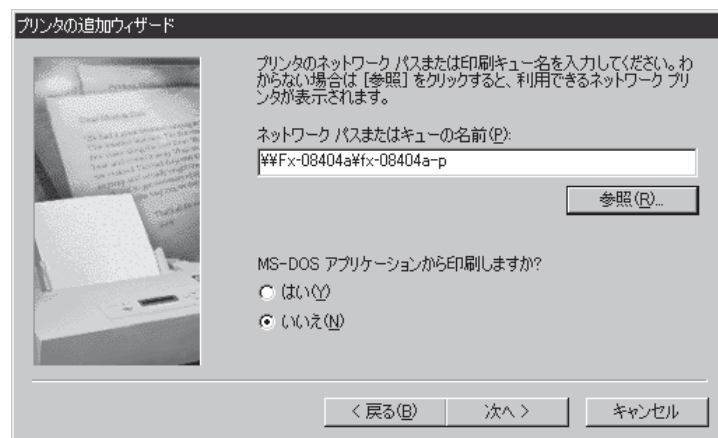
[ローカルプリンタ]を指定して、[次へ>]をクリックします。

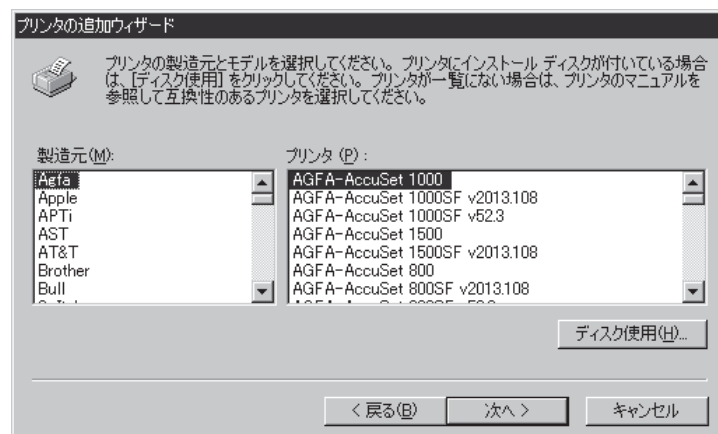
補足 パラレルで印刷する場合は、[ローカルプリンタ]を指定します。

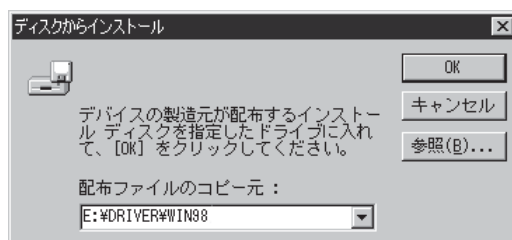
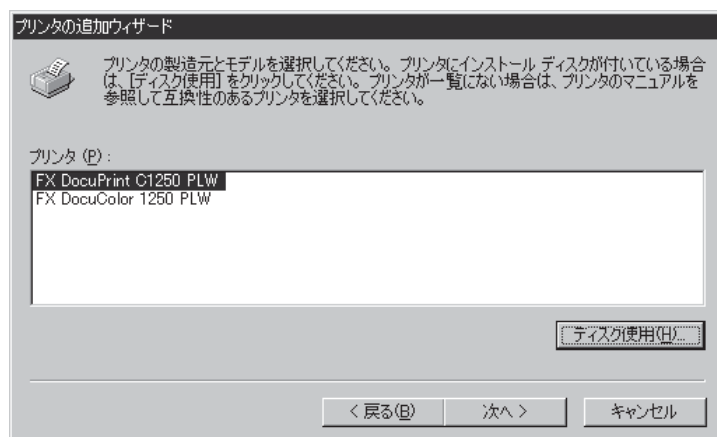
ホスト装置側の設定 4

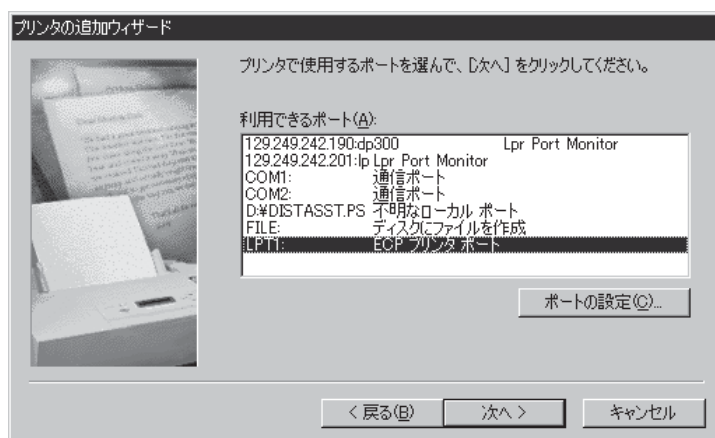
●ネットワークプリンタの場合

［ネットワークプリンタ］を指定して、［次へ>］をクリックします。

［参照］ボタンをクリックします。

ネットワーク上からDocuPrint C1250を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

補足　対応しているネットワークプロトコルには、lpd、Netware、SMBと3種類ありますが、ここではSMBの場合を例にしています。lpd、Netwareについては、『DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250 取扱説明書(ネットワークプリント環境設定編)』で詳しく説明しています。SMBの場合、例えばアドレスが08:00:37:08:40:4Aのとき、プリンター名は、Fx-08404aとなります。

ネットワークパスが入力されたことを確認して、[次へ>]をクリックします。

⑦ [ディスク使用]をクリックします。

⑧ 「Printer Driver DocuPrint C1250/DocuColor 1250」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

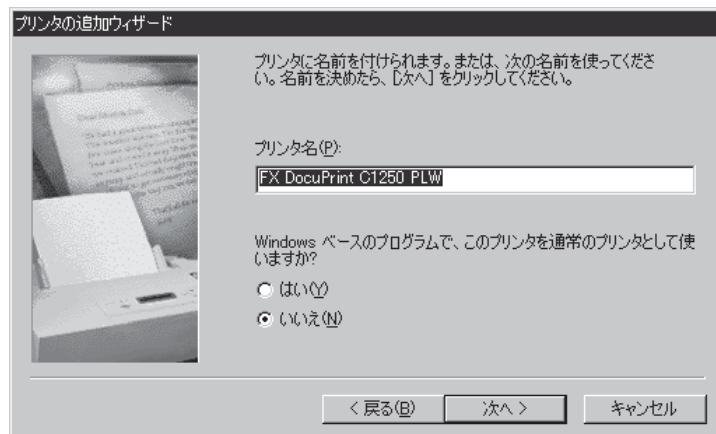
**9** **[配布ファイルのコピー元]ボックスに、CD-ROMがセットされているドライブ名、コロン(：)に続いて「¥DRIVER¥WIN98(Windows® 95は¥DRIVER¥WIN95)」を入力し、[OK]をクリックします。**

**10** **[FX DocuPrint C1250 PLW]を指定し、[次へ>]をクリックします。**

**11** **●ローカルプリンタの場合**

**プリンターに使用するポートを指定し、[次へ>]をクリックします。**

補足 **コンピューターによって、表示されるポートの一覧が異なります。**

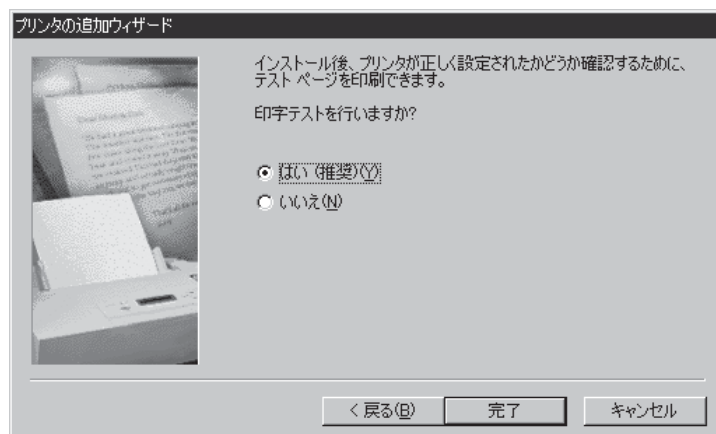
●ネットワークプリンタの場合

ネットワークプリンタの場合は左の画面は表示されません。手順⑫へ進んでください。

⑫ **プリンターの名前を決定します。入力されているプリンター名を変更する場合は、[プリンタ名]ボックスに任意の名前を入力します。**

補足 プリンター名は、使用するときにわかりやすいような名前に変更すると便利です。

⑬ **このプリンターを通常使用するプリンターとする場合は[はい]、しない場合は[いいえ]を指定し、[次へ>]をクリックします。**

補足 本機が一台目のプリンターのときは、表示されません。

⑭ **インストール後、テストページを印刷するかを指定します。[はい(推奨)]を指定した場合は、プリンター本体にA4の用紙をセットし、[完了]をクリックします。PLWドライバー(Windows® 95/98用)のインストールが始まります。**

補足 [はい(推奨)]を指定すると、インストール終了後、コンピューター側の設

定が正しく行えたかどうかを確認するためのテストページが印刷されます。[いいえ]を指定するとテストページは印刷されません。

⑮ 操作手順⑭でテストページの印刷について[はい(推奨)]を指定した場合、印字テスト結果を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックします。

補足 操作手順⑭でテストページの印刷について[いいえ]を指定した場合、このプリンタウィザードは表示されません。

⑯ 新しいプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示され、プリンターが使用できる状態になります。

⑰ ドライバーのインストールは終了です。「Printer Driver DocuPrint C1250/DocuColor 1250」CD-ROMを取り出してください。

ホスト装置側の設定 4

⑱ ひきつづき、プリンターに装着されている排出トレイ、内蔵ハードディスク、メモリーについて設定します。これらの設定は、「プリンタ」ウィンドウからプリンターのプロパティダイアログボックスの[プリンタ構成]タブを表示して行います。

「プリンタ」ウィンドウの中の、該当するプリンタアイコンをクリックします。

⑲ [ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックします。

補足 Windows® 95には[色の管理]タブはありません。また、Windows® 95では、[全般]タブは[情報]タブとなります。

⑳ [プリンタ構成]タブをクリックします。

[プリンタ構成]タブが表示されたら、以下を参考に設定してください。

また、プリンタ構成について不明な場合は、スタートアップページを参照してください。

### オフセット排出トレイ

本機に排出トレイM(白色)が装着されている場合、チェックボックスをオンにします。ここをオンにすると、[用紙/出力]タブの[オフセット排出]の項目で[する]を選択できるようになります。用紙の排出位置をずらして出力する設定が可能になります。
DocuPrint C1250 Net(ネットワークモデル)には標準で装着されています。

### 内蔵ハードディスク

内蔵ハードディスク装置が装着されている場合、チェックボックスをオンにします。ここをオンにすると、[用紙/出力]タブの[ソートする(一部ごと)]の項目が、選択できるようになります。複数ページの文書を、指定部数ソートして排出します。
DocuPrint C1250 Net(ネットワークモデル)には標準で装着されています。

### メモリー容量128MB以上

DocuPrint C1250 Net(ネットワークモデル)の場合、またはDocuPrint C1250に増設RAMモジュールが装着されている場合、チェックボックスをオンにします。メモリーを増設すると、[用紙/出力]タブの[原稿サイズ]および[出力用紙サイズ]の項目で選択できるサイズが増えます。DocuPrint C1250 Netには、標準で128MBが装着されています。



注記 プリンタードライバーをインストールした初期状態では、色の設定はつねにカラーで印刷されるようになっています。そのため、プリンタプロパティを変更しないで印刷すると、すべてのページが本機のカラーモードで印刷されます。

白黒のページを本機の白黒モードで印刷したい場合には、プリンタのプロパティ設定時あるいは印刷時に、プリンタードライバーの[グラフィックス]タブの[カラーモード]で[白黒]を指定してください。

なお、アプリケーションに[白黒印刷]などのオプションがある場合でも、プリンタのプロパティで指定しなければ、本機のカラーモードで印刷されますので、ご注意ください。

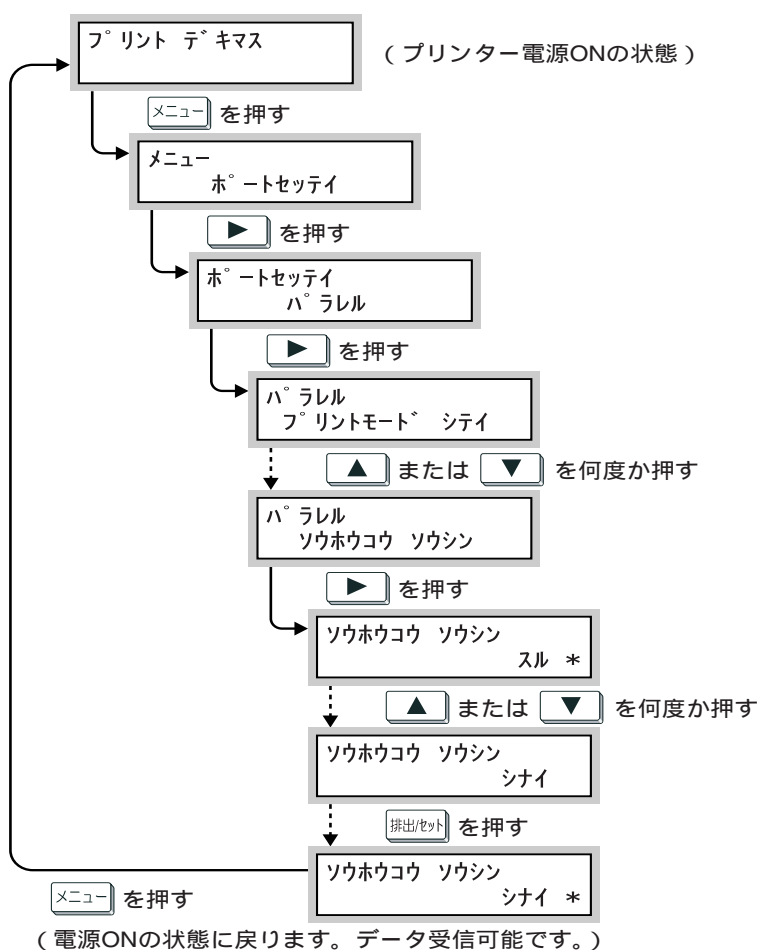
# 4.3 Windows NT® 4.0での設定

**ここでは、**Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0**日本語版にPLW ドライバー（**Windows NT® 4.0**用）をインストールし、オプションを設定する手順を説明します。**

## 4.3.1 インストール前に

**インストールには、本体同梱品の「**Printer Driver DocuPrint C1250/DocuColor 1250**」**CD-ROM**を使用します。**CD-ROM**の中の**Readme.doc**はインストールを実行する前に、必ずお読みください。なお、PLW ドライバー（**Windows NT® 4.0**）をインストールする前に、以下の手順に従って、プリンターの操作パネルで初期値を変更します。**

補足

- PLW **ドライバーは、**Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0**日本語版にインストールすることもできます。**
  PLW **ドライバー（**Windows NT® 4.0**用）の対象**CPU**は、**Intel x86**です。**
- Windows NT® 4.0**では双方向送信の機能がないため、以下のようにパラレルポートの設定を変更します。ネットワーク接続ではこの変更操作は必要ありません。**

## 4.3.2　インストールの操作手順

PLWドライバー（Windows NT® 4.0用）のインストール手順について説明します。

注記 プリンタードライバーのバージョンアップ他、何らかの理由によりプリンタードライバーを再インストールする場合は、一度プリンターアイコンを削除して、OSを再起動後、インストールしてください。

### 操作手順

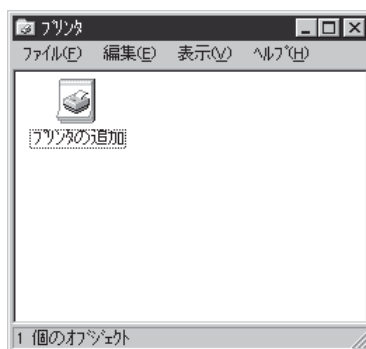
1. **プリンターの電源を入れます。**

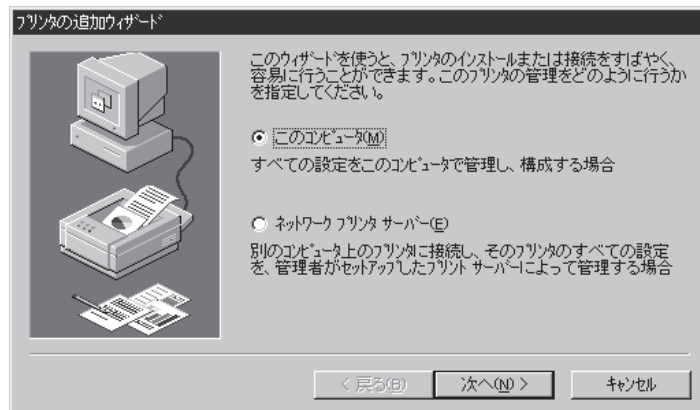
2. **コンピューターの電源を入れます。**
   **Windows NT® 4.0を起動し、「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。**

   補足 「Administrators」グループの詳細については、Windows NT® 4.0に付属の説明書を参照してください。

3. **[スタート]ボタンをクリックします。**
   **[設定]をポイントし、[プリンタ]をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが表示されます。**

   補足 「マイコンピュータ」ウィンドウの「プリンタ」アイコンをダブルクリックする方法もあります。

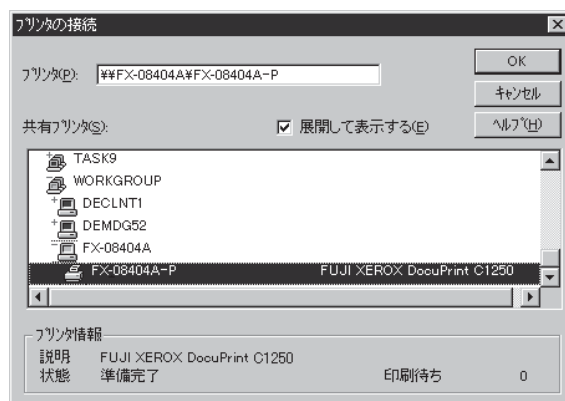
4. **「プリンタ」ウィンドウの中の、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。**

5. **指示に従って、[次へ>]をクリックします。**

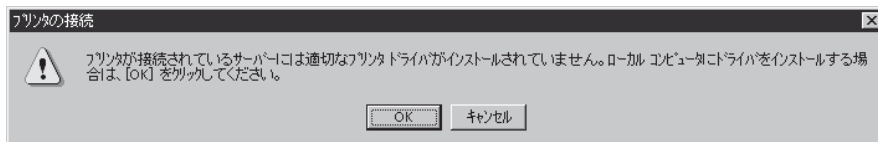
⑥　**プリンタの接続を指定します。**

**●ローカルプリンタの場合**

**[このコンピュータ]を指定し、[次へ>]をクリックします。**

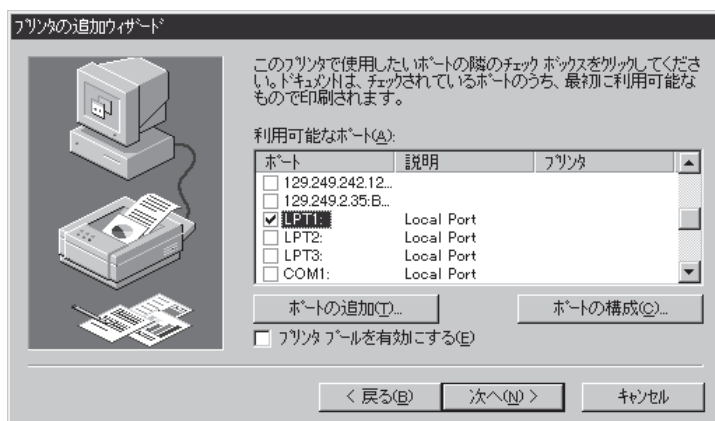
補足　**パラレルで印刷する場合は、[ローカルプリンタ]を指定します。**

**●ネットワークプリンタの場合**

**[ネットワークプリンタサーバー]を指定し、[次へ>]をクリックします。**

**ネットワーク上から**DocuPrint C1250**を選択し、[**OK**]ボタンをクリックします。**

補足　**対応しているネットワークプロトコルには、**lpd、Netware、SMB**と**3**種類ありますが、ここでは**SMB**の場合を例にしています。**lpd、Netware**については、『**DocuColor 1250**シリーズ**/DocuPrint C1250 **取扱説明書(ネットワークプリント環境設定編)』で詳しく説明しています。**
SMB**の場合、例えばアドレスが**08:00:37:08:40:4A**のとき、プリンター名は、**Fx-08404a**となります。**

**上のダイアログが表示されたら、[OK]をクリックします。**

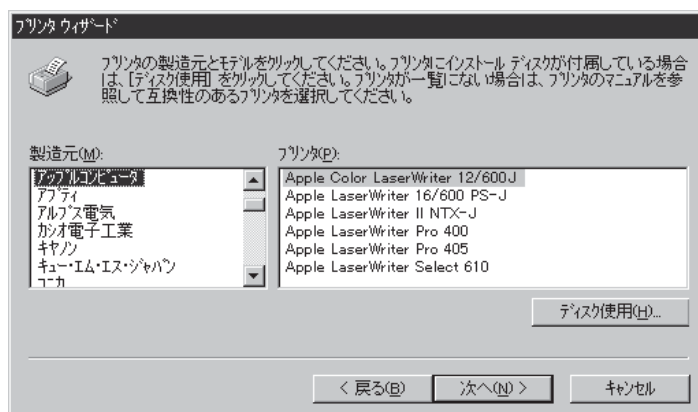
**⑦　●ローカルプリンタの場合**

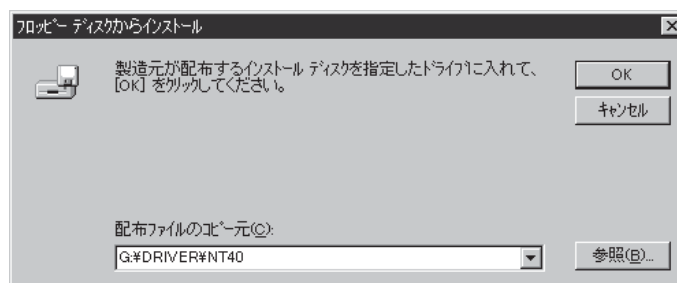
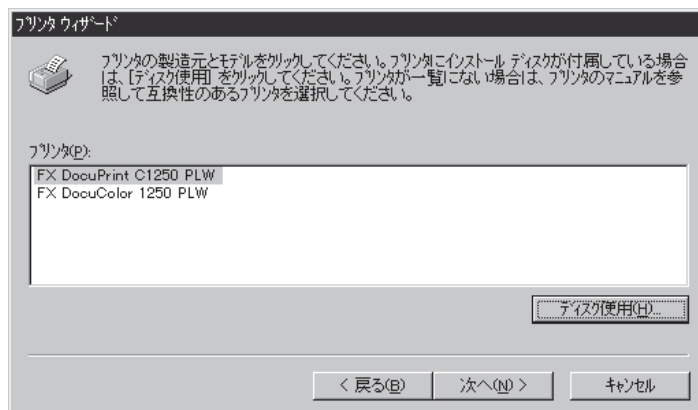
**プリンターに使用するポートを指定し、[次へ>]をクリックします。**

補足　**コンピューターによって表示されるポートの一覧が異なります。**

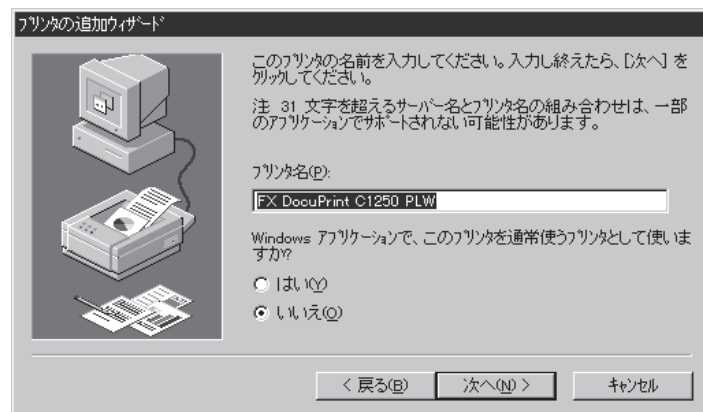
**●ネットワークプリンタの場合**

**ネットワークプリンタの場合は上の画面は出ません。手順⑧へ進んでください。**

補足　**ネットワークプリンタサーバーを指定した場合、適切なファイルがすでにインストールされているときは、以下のウィンドウが表示されますので、通常使うプリンタとして使うかどうかを指定し、[次へ>]をクリックします。インストールが終わったら、[完了]をクリックして、インストールは終了です。**

**8** **[ディスク使用]をクリックします。**

**9** **「**Printer Driver DocuPrint C1250/DocuColor 1250**」**CD-ROM**を、**CD-ROM**ドライブにセットします。**

**10** **[配布ファイルのコピー元]ボックスに、**CD-ROM**がセットされているドライブ名、コロン(:)に続いて「**¥DRIVER¥NT40**」を入力し、[**OK**]をクリックします。**

**11** **[**FX DocuPrint C1250 PLW**]を指定し、[次へ>]をクリックします。**

⑫ **プリンターの名前を決定します。[プリンタ名]に入力されているプリンター名を変更する場合は、[プリンタ名]ボックスに任意の名前を入力します。**

補足 **プリンター名は、使用するときにわかりやすい名前に変更すると便利です。**

⑬ **このプリンターを通常使用するプリンターとする場合は[はい]を指定し、[次へ>]をクリックします。**

補足 **すでにインストールされているほかのプリンターがない場合は、通常使用するプリンターとするかを指定するためのオプションボタンは表示されません。**

⑭ **このプリンターをほかのネットワークユーザーと共有するかどうかを指定し、[次へ>]をクリックします。**

補足
- **プリンターをほかのコンピューターから使用する場合は、[共有する]を指定します。**
- **NTサーバーからWindows NT® 4.0にダウンロードして使用する場合は、オペレーティングシステムを選択します。**

ホスト装置側の設定

4

⑮ **インストール後、テストページを印刷するかを指定します。[はい(推奨)]を指定した場合は、プリンター本体にA4の用紙をセットし、[完了]をクリックします。PLWドライバー(Windows NT® 4.0用)のインストールが始まります。**

補足 **[はい(推奨)]を指定すると、インストール終了後、コンピューター側の設定が正しく行えたかどうかを確認するためのテストページが印刷されます。[いいえ]を指定するとテストページは印刷されません。**

⑯ **操作手順⑮でテストページの印刷について[はい(推奨)]を指定した場合、印字テスト結果を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックします。**

補足 **操作手順⑮でテストページの印刷について[いいえ]を指定した場合、このプリンターウィザードは表示されずにインストールは終了します。**

⑰ **新しいプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示され、プリンターが使用できる状態になります。**

⑱ **ドライバーのインストールは終了です。「**Printer Driver DocuPrint C1250/DocuColor 1250**」**CD-ROM**を取り出してください。**

⑲ **ひきつづき、プリンターに装着されている排出トレイ、内蔵ハードディスク、メモリーについて設定します。これらの設定は、「プリンタ」ウィンドウからプリンターのプロパティダイアログボックスの[プリンタ構成]タブを表示して行います。**

**「プリンタ」ウィンドウの中の、該当するプリンタアイコンをクリックします。**

⑳ **[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックします。**

㉑ **[プリンタ構成]タブをクリックします。**

[プリンタ構成]タブが表示されたら、以下を参考に設定してください。

また、プリンタ構成について不明な場合は、スタートアップページを参照してください。

### オフセット排出トレイ

本機に排出トレイM(白色)が装着されている場合、チェックボックスをオンにします。ここをオンにすると、[用紙/出力]タブの[オフセット排出]の項目で[する]を選択できるようになります。用紙の排出位置をずらして出力する設定が可能になります。
DocuPrint C1250 Net(ネットワークモデル)には標準で装着されています。

### 内蔵ハードディスク

内蔵ハードディスク装置が装着されている場合、チェックボックスをオンにします。ここをオンにすると、[用紙/出力]タブの[ソートする(一部ごと)]の項目が、選択できるようになります。複数ページの文書を、指定部数ソートして排出します。
DocuPrint C1250 Net(ネットワークモデル)には標準で装着されています。

### メモリー容量128MB以上

DocuPrint C1250 Net(ネットワークモデル)の場合、またはDocuPrint C1250に増設RAMモジュールが装着されている場合、チェックボックスをオンにします。メモリーを増設すると、[用紙/出力]タブの[原稿サイズ]および[出力用紙サイズ]の項目で選択できるサイズが増えます。
DocuPrint C1250 Netには、標準で128MBが装着されています。

注記 プリンタードライバーをインストールした初期状態では、色の設定はつねにカラーで印刷されるようになっています。そのため、プリンタプロパティを変更しないで印刷すると、すべてのページが本機のカラーモードで印刷されます。

白黒のページを本機の白黒モードで印刷したい場合には、プリンタのプロパティ設定時あるいは印刷時に、プリンタードライバーの[グラフィックス]タブの[カラーモード]で[白黒]を指定してください。

なお、アプリケーションに[白黒印刷]などのオプションがある場合でも、プリンタのプロパティで指定しなければ、本機のカラーモードで印刷されますので、ご注意ください。

# 印刷のしかた

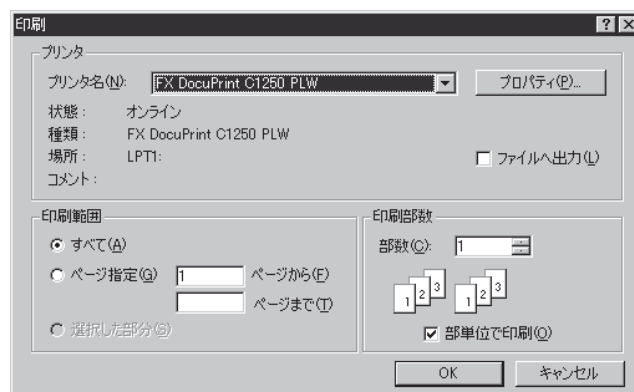
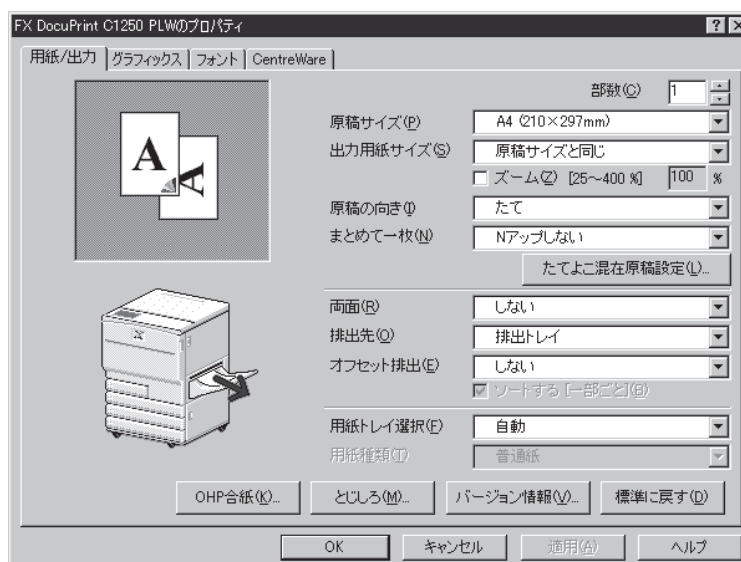
**ここでは、アプリケーションからの基本的な印刷実行の手順について説明します。**

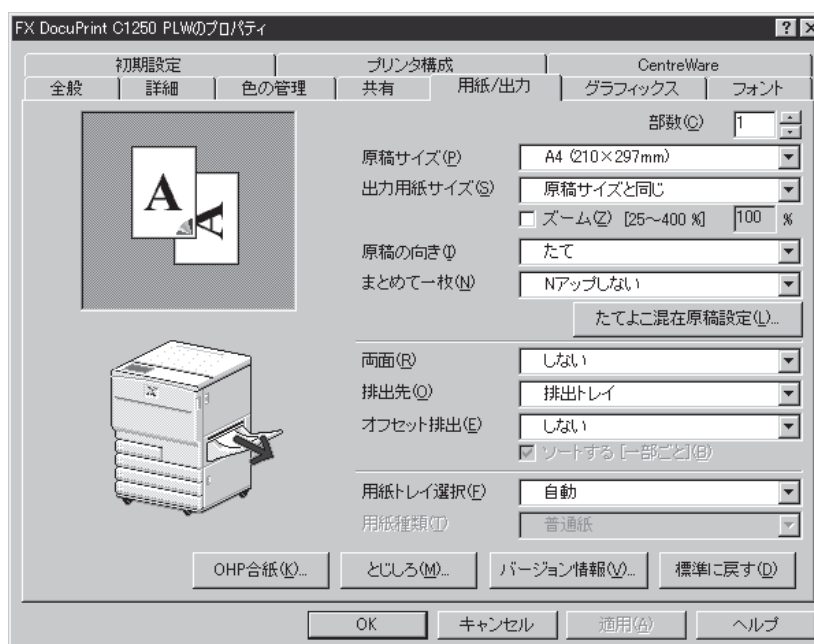
## 4.4.1　印刷の手順

**印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトウェアの説明書を参照してください。ここでは、Windows® 95/98、Windows NT® 4.0に添付の「ワードパッド」を例に説明します。**

### 操作手順

**① 「ワードパッド」を起動し、印刷データを作成します。**

**② ［ファイル］メニューをクリックし、［印刷］をクリックします。**

**③ お使いのプリンターが選択されていることを確認し、必要なら［プロパティ］をクリックして、各項目を設定します。**

## 4.4.2　印刷の設定（概要）

**プリンタアイコンを選択して、[プロパティ]をクリックすると、以下のようなプリンタードライバーのプロパティが表示されます。なお、印刷ダイアログボックスで、[プロパティ]をクリックした場合には、表示されるタブが限定されます。**

**補足**

- Windows NT® 4.0**では、プリンタアイコンを選択して、[ドキュメントの既定値]をクリックすると、[用紙/出力]タブ、[グラフィックス]タブ、[フォント]タブ、[**CentreWare**]タブが表示され、[プロパティ]をクリックすると、[全般]タブ、[ポート]タブ、[スケジュール]タブ、[共有]タブ、[セキュリティ]タブ、[初期設定]タブ、[プリンタ構成]タブが表示されます。**
- **[色の管理]タブは、**Windows® 98**のみで表示されます。**
- **[全般]タブは、**Windows® 95**では[情報]タブになります。**
- [CentreWare]**タブは、**CentreWare**をインストールした場合に表示されます。**

PLW**ドライバー独自の機能は、次の６つのタブに分かれています。**

[用紙/出力]タブ

**原稿サイズ、出力用紙サイズ、縮小拡大（率）、原稿の向き、まとめて一枚、排出先、ソート有無、用紙トレイの選択などを設定します。とじしろを設定するダイアログを表示するボタンもこのパネルになります。**

[グラフィックス]タブ
印刷時の画質に関連する項目について設定します。
カラーモード(カラー、白黒)、印刷モード(画質優先、速度優先)、画質調整モード、解像度を設定します。画質調整モードで[おすすめ]を選択した場合には、画面に表示されるヒントを見ながら、原稿に適していると思われる画質タイプを選択します。
さらに詳細な画質設定を行う場合は、下部のボタンをクリックして、表示されるグラフィックスプロパティの各タブで設定します。原稿の要素ごと(文字や図など)に、明度、彩度、コントラストなどを設定したり、トナーの色ごとのカラーバランスなどを設定することができます。

[フォント]タブ
TrueTypeフォントをプリンターフォントで置き換えて印刷するかどうかを設定します。フォント置き換えテーブルの設定の変更は、[初期設定]タブの[フォント置き換えテーブルの編集]ボタンを使用します。

[初期設定]タブ
TrueTypeフォントをプリンターフォントで置き換えるときのテーブルを変更するための[フォント置き換えテーブルの編集]ボタンと、定型外の用紙を使用するために用紙を登録する[ユーザー定義用紙]ボタンがあります。プリント機能の設定もできます。

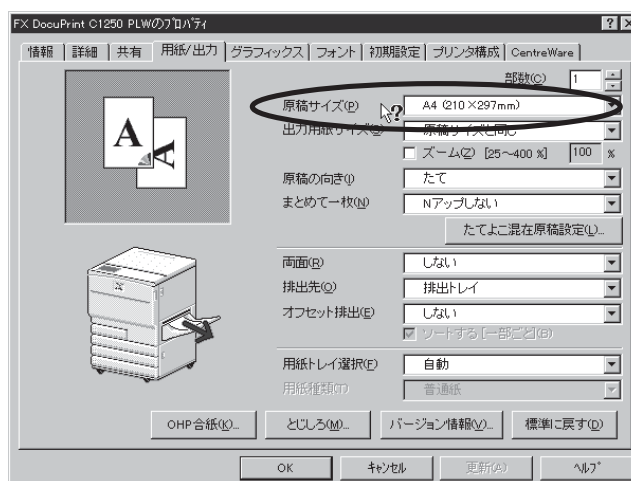
[プリンタ構成]タブ
プリンター本体に接続されているオプション類について設定します。ここで選択するオプションによって、[用紙/出力]タブで選択できる項目や選択肢に差がでます。目的のプリンター本体の構成にあわせて設定します。
また、プリンタ構成について不明な場合は、スタートアップページを参照してください。

[CentreWare]タブ
弊社のCentreWareをインストールしている場合に表示されます。
CentreWareのドキュメントモニターを使用するかどうかを設定します。

## 4.4.3　項目の説明と印刷時の基本的な操作について

**ドライバーの各項目の説明と、基本的な印刷の操作はオンラインヘルプで説明しています。また、詳細については『DocuPrint C1250 取扱説明書（操作編）』を参照してください。**

**各項目の説明が見たいときには**

**プリンタードライバーの画面が表示されている状態で、ウィンドウ右上の [?] ボタンをクリックし、マウスポインタが ?の状態になったら、説明を表示したい項目上でクリックします。**

**印刷時の基本的な操作が知りたいときには**

**プリンタードライバーの画面が表示されている状態で、ウィンドウ右下の[ヘルプ]ボタンをクリックします。項目へのヘルプのリンクが表示されますので、ヘルプウィンドウで[目次]をクリックし、操作に関する目次項目を表示させます。**

**目的の操作の説明をクリックすると、説明が表示されます。**

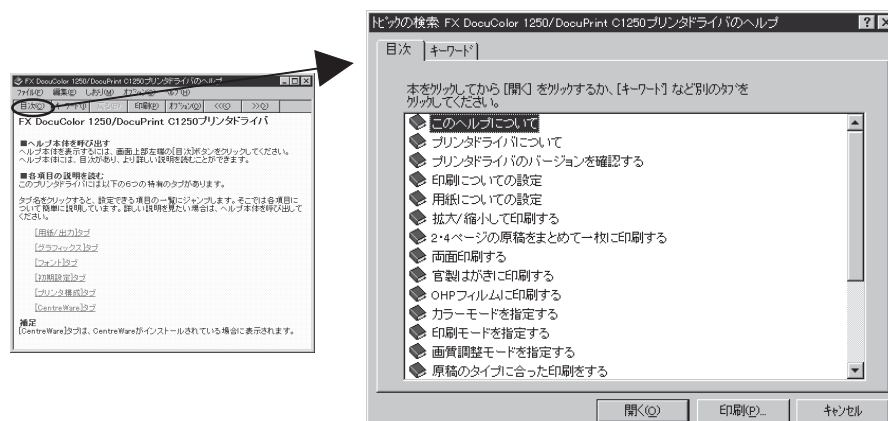
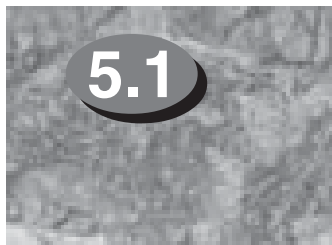
補足　PLW**ドライバー独自のタブを表示しているときのみ、[ヘルプ]ボタンを選択できます。**

ホスト装置側の設定

4

# 設置時のトラブルシューティング



# 5 章

# こんなときは

プリンターの設置時に、トラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

## 5.1.1　故障かな...と思う前に

トラブルが発生したら、故障かなと思う前に、プリンターの状態を確認してください。
問題が解決しない場合は、「5.2　エラーメッセージ一覧」を参照して、適切な処置を行ってください。

⚠警告　本プリンターは精密部品、および高圧電源を使用しています。
ネジで固定されているパネルやカバーなどは取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。オプションの着脱作業でネジで固定されているパネルやカバーを開ける場合には、必ず各取扱説明書の指示に従ってください。

⚠警告　プリンターを改造したり、部品を変更して使用しないでください。発火や発煙のおそれがあります。

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 電源が入らない | プリンターのブレーカースイッチ、および電源スイッチが切れていませんか? | プリンターのブレーカースイッチ、および電源スイッチを入れてください。 |
| | 電源プラグがコンセントに入っていますか? | プリンターの電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。その後、プリンターの電源スイッチを入れてください。 |
| | プリンター側の電源コードのコネクターが抜けていませんか? | プリンターの電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。その後、プリンターの電源スイッチを入れてください。 |
| | 電源の電圧が適切ですか? | 電源が100V(ボルト)、15A(アンペア)であることを確認してください。<br>プリンターの最大消費電力(1500W)に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。<br>参照 「安全にご利用いただくために」 |

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 印刷できない | 「オンライン」ランプが消灯していませんか? | プリンターがポーズ状態または、メニューを設定している状態になっています。下記の表示状態に応じて処置してください。<br>• 【ポーズシテイマス】<br>ポーズを押して、ポーズ状態を解除します。<br>• その他<br>メニューを押して、メニューを設定している状態を解除します。<br>参照『取扱説明書(操作編)』「1.2　操作パネル」 |
| | ディスプレイにメッセージが表示されていませんか? | 表示されているメッセージに従って処置してください。<br>参照「5.2　エラーメッセージ一覧」 |
| | プリンターとホスト装置を、パラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、ホスト装置が、双方向通信に対応していません。 | 工場出荷時、プリンターの双方向通信の設定は、【スル】になっています。ホスト装置が、双方向通信に対応していないと印刷できません。この場合は、プリンターの操作パネルで、双方向通信の設定を【シナイ】にしてから印刷してください。<br>参照「5.1.2　保守サービス」「6.2　共通メニューの設定」 |
| 手差しトレイに印刷指示を出したのに印刷されない | 印刷を指定したサイズの用紙がセットされていますか? | 正しいサイズの用紙をセットして、再度、印刷指示をしてください。<br>参照『取扱説明書(操作編)』 |
| 印刷を指示していないのに、【プリントシテイマス】が表示される | プリンターの電源を入れたあとに、ホスト装置の電源を入れませんでしたか? | そのまま5分間待つか、プリント中止を押して、印刷を中止します。<br>補足 プリンターの電源を入れる際には、ホスト装置の電源が入っていることを確認してください。 |
| | ハードディスクに印刷データが残っています。 | 印刷が終了するまで、お待ちください。 |
| 「処理中」ランプが点灯、点滅したまま排紙されない | 印刷データがプリンター内に残っています。 | 印刷の中止、または残っているデータの強制排出をしてください。<br>参照『取扱説明書(操作編)』「1.5　印刷を中止する」「1.6　排出する」 |

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 印刷を指示したのに「処理中」ランプが点滅、点灯しない。 | インターフェイスケーブルが抜けていませんか? | プリンターの電源スイッチをいったん切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。 |
| | インターフェイスボードを使用している場合、インターフェイスボードは正しくセットされていますか? | プリンターの電源スイッチをいったん切り、インターフェイスボードの装着状態を確認してください。<br>参照 「2.2　インターフェイスボードを取り付ける」 |
| | 使用するインターフェイスが【キドウ】に設定されていますか? | インターフェイスのポート状態を確認してください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「6.2　共通メニューの設定」 |
| | ホスト装置側の環境が正しく設定されていますか? | プリンタードライバーなどホスト装置側の環境を確認してください。 |
| | メモリー容量が不足していませんか? | いったん電源スイッチを切り、増設RAMモジュールを取り付けて、メモリーを増設してください。<br>参照 「2.4　増設RAMモジュール（64MB/128MByte）を取り付ける」<br>補足 メモリーの容量が不足していると、プリンターは自動的にインターフェイスを【テイシ】に設定し直して、起動します。 |
| ネットワークポートを【キドウ】にしても、使用できないものがある | メモリーが不足していると、自動的に【テイシ】に変更されることがあります。 | ポートの状態を確認し、メモリーの割り当てを変更するか、メモリーを追加してください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「6.2　共通メニューの設定」 |
| 10Base-Tでは通信できるのに、100Base-TXではうまく通信できないことがある | Ethernet設定を【ジドウ（T/TX）】にしている場合に発生する可能性があります。 | 設定値を、使用しているネットワークの速度（10Base-Tあるいは100Base-TX）にあわせてください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「6.2　共通メニューの設定」 |

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| SMBを【キドウ】にしたが、Windowsから参照すると別のPCが見える | 別のPCが見える場合は、他のPCと名前が重複していることが考えられます。 | プリンター設定リストを出力して、SMBのホスト名を確認してください。<br>参照「2.1.6　プリンター設定リストをプリントする」 |
| SMBを【キドウ】にしたが、Windowsから参照すると見えない | Windowsマシン上で、プリンター側で設定したプロトコル（NetBEUIあるいはTCP/IP）がインストールあるいは設定されていないことが考えられます。 | 対応するプロトコルをインストールおよび設定してください。<br>参照『取扱説明書（ネットワークプリント環境設定編）』 |

補足　印刷処理が正しく行われなかったとき、その情報はプリンター履歴レポートに保存されます。

印刷処理されていない場合は、プリンター履歴レポートの機能を使用して、印刷処理状況を確認してください。正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

参照　プリンター履歴レポートの印刷方法については、『取扱説明書（操作編）』の「1.7 リスト／レポートを印刷する」を参照してください。

## 5.1.2　保守サービス

**本書の「第5章　設置時のトラブルシューティング」および『取扱説明書(操作編)』の「第7章　こまったときは」に従って処置をしても障害を復旧できないときは、プリンターの電源を切り、ディスプレイ消灯後、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または弊社にご連絡ください。**

# 5.2 エラーメッセージ一覧

**プリンターの設置時に、プリンターのディスプレイに、エラーメッセージが表示された場合は、次の中から該当するメッセージを探し、適切な処置をしてください。**

参照 その他のメッセージについては、『取扱説明書（操作編）』を参照してください。

注記
- メッセージを、一定時間放置すると、プリンター内に残っている印刷データが廃棄されることがあります。長時間放置しないように気をつけてください。
- プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。

補足 プリンターには、アラームの鳴る時間を設定できる機能がついています。アラーム時間の設定については、『取扱説明書（操作編）』「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

| メッセージ | 原因 / 処置 |
|---|---|
| トレイ* ヲ<br>セット シテクダ゛サイ | 【原因】　トレイ＊が引き出されています。<br>【処置】　用紙トレイを正しくセットしてください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「2.3　用紙をセットする」 |
| トレイ* ニ ヨウシヲ ホキュウ<br>xxxx　　　xxxx | 【原因】　用紙トレイ＊のxxxxサイズは、用紙切れです。<br>【処置】　用紙トレイ＊にxxxxサイズの用紙を補給してください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「2.3　用紙をセットする」 |
| ヒダ゛リシタカバ゛ー ヲ<br>トジ゛テ クダ゛サイ | 【原因】　左側面下部カバーが開いています。<br>【処置】　左側面下部カバーを確実に閉じてください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「1.1　各部の名称とはたらき」 |
| ミギ゛シタカバ゛ー ヲ<br>トジ゛テ クダ゛サイ | 【原因】　右側面下部カバーが開いています。<br>【処置】　右側面下部カバーを確実に閉じてください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「1.1　各部の名称とはたらき」 |
| テンシャ ユニット ヲ<br>オシコンデ゛ クダ゛サイ | 【原因】　転写ユニットが引き出されています。<br>【処置】　転写ユニットを押し込んでください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「1.1　各部の名称とはたらき」 |
| フロントカバ゛ー ヲ<br>トジ゛テ クダ゛サイ | 【原因】　フロントカバーが開いています。<br>【処置】　フロントカバーを閉じてください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「1.1　各部の名称とはたらき」 |
| テザ゛シ トレイ ウエノ<br>カバ゛ーヲ トジ゛テ クダ゛サイ | 【原因】　手差しトレイの上面カバーが開いています。<br>【処置】　手差しトレイの上面カバーを閉じてください。<br>参照 『取扱説明書（操作編）』「1.1　各部の名称とはたらき」 |

補足 「＊」は数字を表します。「xxxx」は用紙サイズ、または用紙サイズと方向を表します。

| メッセージ | 原因/処置 |
|---|---|
| オイル カートリッジ゛[D]<br>ヲ コウカン シテクダ゛サイ | 【原因】 オイルカートリッジを設置していない可能性があります。<br>【処置】 オイルカートリッジが設置されていることを確認してください。<br>参照「1.5　オイルカートリッジの取り付け」 |
| カミヅ゛マリ　オクリカケノ<br>ヨウシヲトリノゾ゛イテクダ゛サイ | 【原因】 用紙トレイで紙づまりが発生しています。<br>【処置】 操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまりをしている用紙トレイを確認して、つまっている用紙を取り除いてください。<br>参照『取扱説明書(操作編)』「7.3　用紙がつまった場合」 |
| カミヅ゛マリデ゛ス<br>ヨウシヲトリノゾ゛イテクダ゛サイ | 【原因】 紙づまりが発生しています。<br>【処置】 操作パネルの状態表示部のランプで紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。<br>参照『取扱説明書(操作編)』「7.3　用紙がつまった場合」 |
| ツマッテイル ヨウシ ヲ トリ<br>カバ゛ーヲ トジ゛テ クダ゛サイ | 【原因】 紙づまりが発生しています。<br>【処置】 つまっている用紙を取り除いて、カバー閉じてください。<br>参照『取扱説明書(操作編)』「7.3　用紙がつまった場合」 |
| カミヅ゛マリデ゛ス　テンシャ<br>ユニットヲヒキダ゛シテクダ゛サイ | 【原因】 転写ユニットで紙づまりが発生しています。<br>【処置】 転写ユニットを引き出して、つまっている用紙を取り除いてください。<br>参照『取扱説明書(操作編)』「7.3　用紙がつまった場合」 |
| ヨウシヲ トリ テンシャユニット<br>ヲ オシコンデ゛ クダ゛サイ | 【原因】 転写ユニットで紙づまりが発生しています。<br>【処置】 つまっている用紙を取り除いて、転写ユニットを押し込んでください。<br>参照『取扱説明書(操作編)』「7.3　用紙がつまった場合」 |
| デ゛ンゲ゛ン ヲ キリイリ シテ<br>クダ゛サイ | 【原因】 エラーが発生しました。<br>【処置】 いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、再度電源スイッチを入れてください。 |
| デ゛ンゲ゛ン ヲ キリイリ シテ<br>クダ゛サイ　(***-***) | 【原因】 エラーが発生しました。<br>【処置】 いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、再度電源スイッチを入れてください。再び表示された場合は、「(＊＊＊－＊＊＊)」の表示内容を書き写してください。電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。 |

補足 「＊」は数字を表します。「xxxx」は用紙サイズ、または用紙サイズと方向を表します。

| メッセージ | 原因/処置 |
|---|---|
| テレホンセンターヘ　レンラクシテ<br>クダ゛サイ　（***－***） | 【原因】　エラーが発生しました。<br>【処置】　「(＊＊＊－＊＊＊)」の表示内容を書き写してください。電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。 |
| ヒョウジ゛ュン　フォントROM<br>ヲ　カクニン　シテクダ゛サイ | 【原因】　標準フォントROMモジュールが装着されていません。<br>【処置】　標準フォントROMモジュールを正しく装着してください。 |
| イーサネット　ケーフ゛ル　ヲ<br>カクニン　シテ　クダ゛サイ | 【原因】　イーサネット上がビジー状態か、または、ケーブルが終端されていません。<br>【処置】　イーサネットケーブルを確認してください。 |
| HDDファイル　フリョウ<br>セットホ゛タンデ゛ショキカシマス | 【原因】　ハードディスクのファイルシステムに異常があります。またはハードディスクがフォーマットされていません。<br>【処置】　排出/セットを押してください。ハードディスクを初期化します。 |
| メモリ　フ゛ソクデ゛ス<br>メモリヲ　ツイカ　シテクダ゛サイ | 【原因】　メモリーが不足しています。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、増設RAMモジュールや、内蔵ハードディスク装置を装着して、メモリーを増やしてください。 |
| ネットワークホ゛ード゛　カ゛<br>ジ゛ッソウ　サレテイマセン | 【原因】　ネットワーク用ROMが取り付けられていますが、ネットワークボードが正しく設置されていない可能性があります。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、ネットワークボードが正しく設置されていることを確認してください。再度表示される場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。<br>参照 「2.2　インターフェイスボードを取り付ける」 |
| ネットワークROM　カ゛<br>ジ゛ッソウ　サレテイマセン | 【原因】　ネットワークボードが取り付けられていますが、ネットワーク用ROMが正しく設置されていない可能性があります。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、ネットワーク用ROMが正しく設置されていることを確認してください。再度表示される場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。<br>参照 「2.2　インターフェイスボードを取り付ける」 |

補足　「＊」は数字を表します。「xxxx」は用紙サイズ、または用紙サイズと方向を表します。

| メッセージ | 原因/処置 |
| --- | --- |
| ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲｶﾞ　ｷｴﾏｼﾀ<br>ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝﾃﾞｼｮｷｶｼﾏｽ | 【原因】　NVメモリーのバッテリー電圧が低下したため、システム設定の記憶が消えました。<br>【処置】　[排出/セット]を押してください。システムを初期化します。 |
|  | 【原因】　現在のROMモジュールのバージョンと、NVメモリーに格納してあるROMモジュールのバージョンが異なります。<br>【処置】　[排出/セット]を押してください。システムを初期化します。 |
| ｵﾅｼﾞ　ﾌｫﾝﾄROM　ﾊ<br>ﾄﾞｳｼﾞﾆ　ｼﾖｳﾃﾞｷﾏｾﾝ | 【原因】　同一のフォントROMモジュールがセットされています。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、一方のフォントROMモジュールを取り外してください。 |
| ROMﾓｼﾞｭｰﾙﾉ　ﾊﾞｰｼﾞ<br>ｮﾝｦ　ｶｸﾆﾝ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 【原因】　複数装着されているROMモジュールのバージョンが合っていません。または、使用できない組み合わせのROMモジュールが装着されています。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、再度電源スイッチを入れてください。<br>補足　複数のROMモジュールを装着する場合には、メジャーバージョン、およびマイナーバージョンを一致させてください。 |
| ROMﾓｼﾞｭｰﾙ　ﾉ　ｲﾁ　ｦ<br>ｶｸﾆﾝ　ｼﾃ　ｸﾀﾞｻｲ | 【原因】　ROMモジュールが正しい位置に装着されていません。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、ROMモジュールを正しい位置に装着してください。 |
| ﾋｮｳｼﾞｭﾝ　ROM　ｦ<br>ｶｸﾆﾝ　ｼﾃ　ｸﾀﾞｻｲ | 【原因】　標準ROMモジュールが装着されていないか、データのダウンロード直後の場合は、ダウンロードに失敗しました。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、再度電源スイッチを入れてください。ダウンロード直後の場合は再度ダウンロードを行ってください。 |
| ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾃﾞｰﾀ　ｦ<br>ｶｸﾆﾝ　ｼﾃ　ｸﾀﾞｻｲ | 【原因】　データのダウンロードに失敗しました。<br>【処置】　ダウンロードデータを確認してください。 |
| ｽﾛｯﾄ*　ﾉ<br>ROMﾊ　ｼﾖｳ　ﾃﾞｷﾏｾﾝ | 【原因】　スロット＊に他機種用のROMモジュールが装着されています。<br>補足　使用できないROMモジュールが複数装着されている場合は、数の少ないスロット番号が表示されます。<br>【処置】　いったん電源スイッチを切り、ディスプレイ消灯後、本機用のROMモジュールに交換してください。 |

補足　「＊」は数字を表します。「xxxx」は用紙サイズ、または用紙サイズと方向を表します。

# 保守機能について

# 6.1 プリンター機能の自己診断テスト

**ここでは、プリンター機能の自己診断について説明します。**
**自己診断テストには、自動診断テストと個別診断テストの2つがあります。**

**それぞれの診断テストで診断される項目は以下のようになります。**

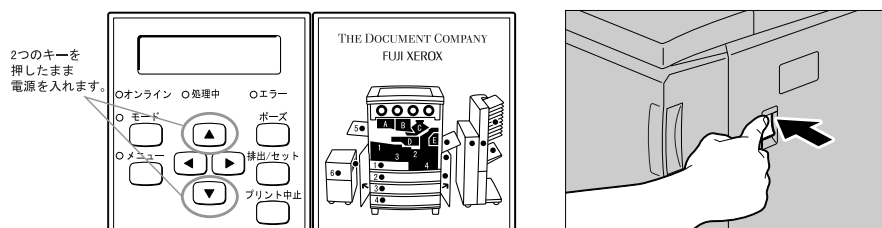
| | 自動診断テスト | 個別診断テスト |
|---|---|---|
| 標準RAM | ○ | ○ |
| カレンダーIC | ○ | ○ |
| 圧縮チップ | ○ | ○ |
| カラーイメージアクセラレーター | ○ | ○ |
| 内蔵ハードディスクコントローラー | − | ○ |
| 内蔵ハードディスクリードテスト | − | ○ |

補足 **自動診断テストでは、内蔵ハードディスクに関するテスト以外のものを自動で順番に実施します。**

**自己診断テストを実行する場合には、まず、通常の操作メニューとは別の診断用メニューを表示します。**
**以下に、診断用メニューの表示方法と終了方法、自己診断テストの実行方法を説明します。**

## 6.1.1 診断用メニューの表示方法

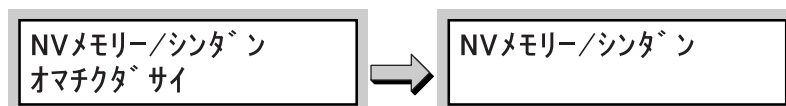
**操作手順**

① **プリンター操作パネルの［▲］と［▼］を同時に押しながらプリンターの電源を入れ、操作パネルの［▲］と［▼］を押し続けます。**

② **以下の画面が表示されたら、操作パネルの［▲］と［▼］を離します。**

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ

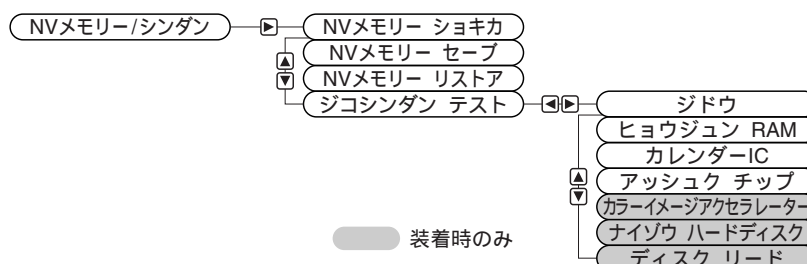
**③ 操作パネルの[▼]を1回押し、続けて[▶]を押します。**

補足 [▶]を押さないうちは、[▲]または[▼]を押すことにより【ダウンロード】【NVメモリー/シンダン】【CEモード】の表示が繰り返されます。【ダウンロード】は現在は使用しないメニューです。【CEモード】は弊社のエンジニア用のメニューです。

**④ 以下の画面が表示され、「オマチクダサイ」の表示が消えると、診断用メニューに入ります。**

参照 以降の操作は、それぞれ「6.1.3　自動診断テストの実行」「6.1.4　自動診断テストの実行」「6.1.5　NVメモリーの実行」を参照してください。

注記 誤って【ダウンロード】あるいは【CEモード】のところで、[▶]を押すとそれぞれのメニューに入ってしまいます。その場合には、一度電源を切って、プリンターの操作パネルの表示が消えたのを確認し、再度手順１からの操作を行ってください。表示が消える前に電源を入れてしまうと、プリンターは診断用メニューでなく、通常の状態で起動してしまいます。

## 診断用メニューの階層と実行

**診断用メニューは、以下のような階層になっています。**

補足 通常は、【ジコシンダン テスト】以下の項目のみ実行します。【NVメモリー ショキカ】は、弊社から指示があったときのみ実行してください。また、【NVメモリー セーブ】【NVメモリー リストア】は、弊社の担当者が使用するメニューです。

**メニューから、目的の自動診断テストあるいは個別診断テストを実行します。**

参照 「6.1.3　自動診断テストの実行」「6.1.4 個別診断テストの実行」

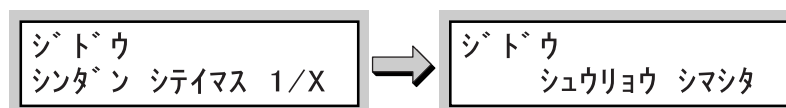
保守機能について 6

診断テストで、エラーが発生した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

テレホンセンターへ　レンラクシテ
クダ゛サイ　（＊＊＊−＊＊＊）

「***-***」の部分はエラーコードです。エラーが発生した場合には、エラーコードを書き留めて弊社テレホンセンターまたは販売店にご連絡ください。

## 6.1.2　診断用メニューの終了方法

診断が終了すると、以下の画面例のように、診断項目名の下に【シュウリョウ シマシタ】と表示されます。

この状態で、電源を切ってください。診断用メニューを終了することができます。

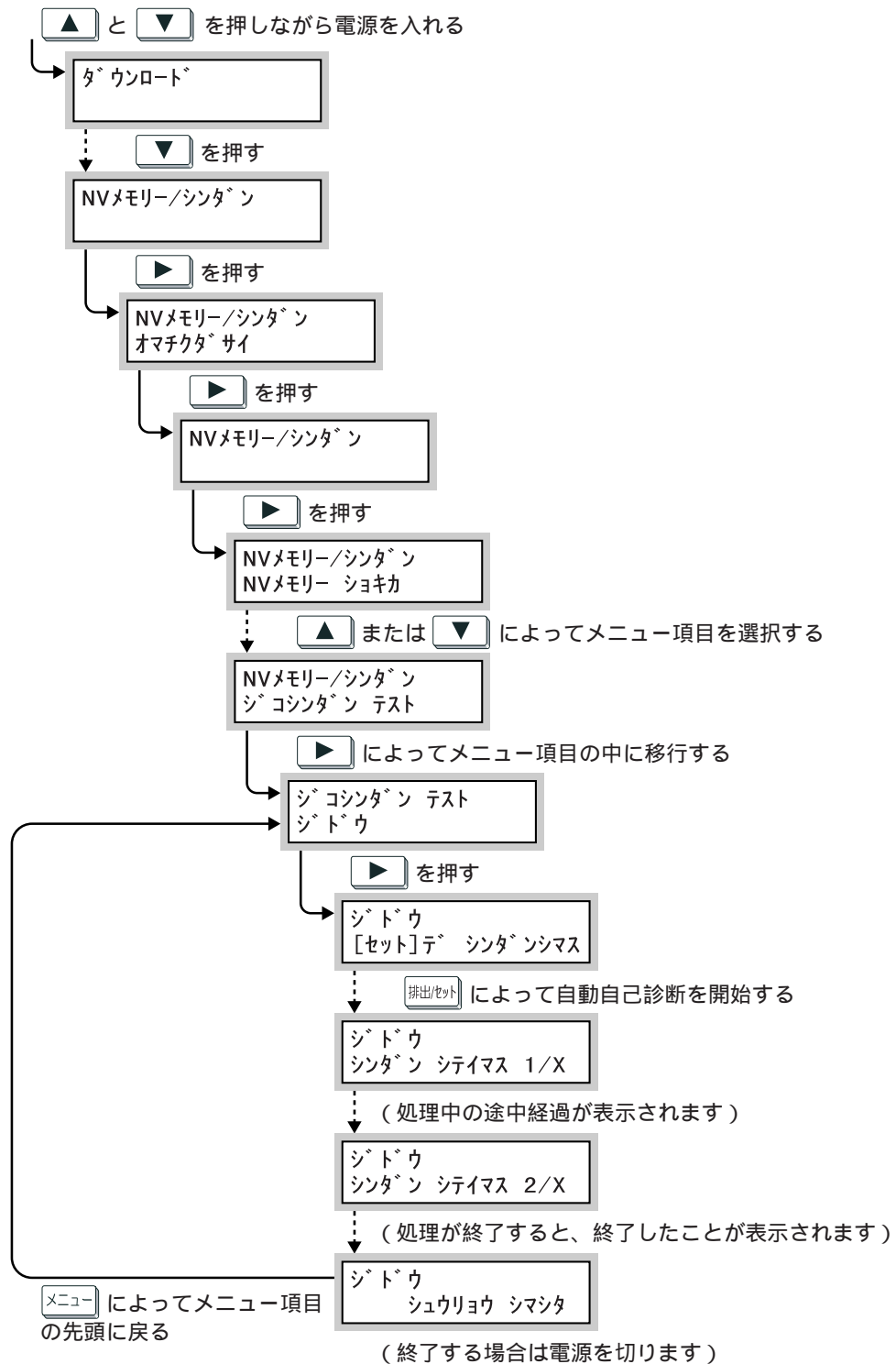
また、メニューを押して、以下の画面になっているときにも電源を切ることができます。

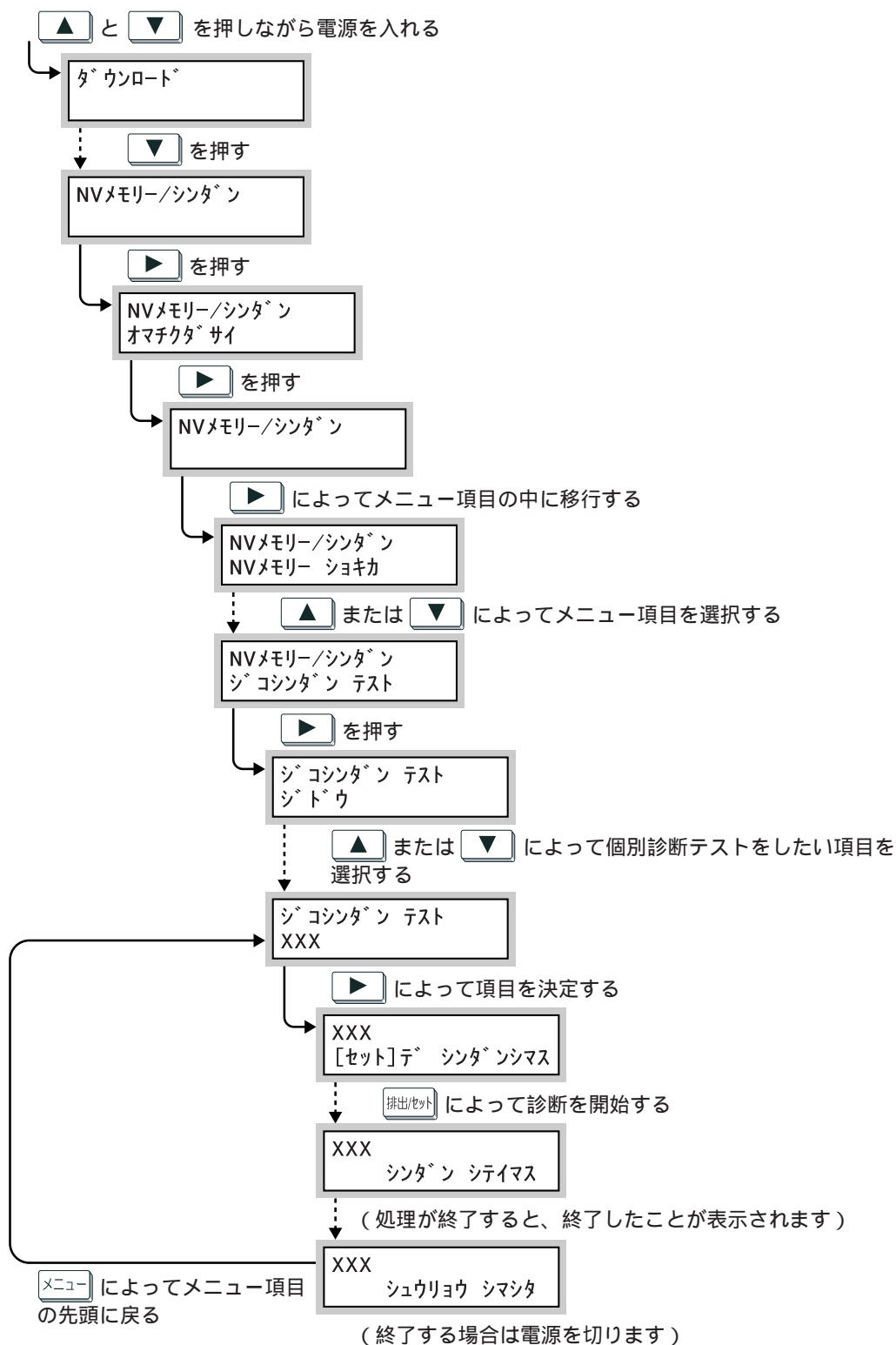
NVメモリー/シンダ゛ン
シ゛コシンダ゛ン　テスト

## 6.1.3　自動診断テストの実行

**以下の手順にしたがって、自動診断テストを実行します。**

保守機能について

6

## 6.1.4　個別診断テストの実行

**以下の手順にしたがって、個別診断テストを実行します。**

## 6.1.5　NVメモリーの初期化の実行

**以下の手順にしたがって、NVメモリーの初期化を実行します。**

**注記** NVメモリーの初期化をすると、現在の設定はすべてクリアされます。弊社からの指示のあったとき以外は実行しないでください。

# 索　引

## セ



## ソ



## チ



## テ



## ト



## ナ



## ハ



## フ



## ヘ



## ホ



## メ



## ヨ

# マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見(説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など)をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

| • マニュアルの名称 | DocuPrint C1250<br>取扱説明書(設置編) | • 管理番号 | DE-0579 |
|---|---|---|---|

| • ご 芳 名 | | • 貴 社 名 | |
|---|---|---|---|
| • 所属部門 | | • 電話番号 | [内線] |
| • 所 在 地 | | | |

| • ペ ー ジ | • 行 | • 内容へのご指摘/ご要望 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| • 富士ゼロックス記入欄 | | |
|---|---|---|
| • 記事 | • 受付No. | • 受付担当印 |
| | | |

2版

[折り込み線]

## 富士ゼロックス(株)社内メール扱い

[送付先]

ドキュメントエンジニアリング 部　行

**担当社員**

事業部　営業所　課　G

氏名

[折り込み線]

切り取り線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

# 保守・操作のお問い合わせは

**この商品の保守・操作のお問い合わせは、テレフォンセンター(または販売店)へご連絡ください。**

- テレフォンセンターの電話番号は、機械に貼付してあるラベル、またはカードに記載されています。
- ご連絡の際は、ラベル、またはカードに記載されている「機種名」および「機械番号」をお知らせください。

お問い合わせ先が不明の際は、お買い上げの販売店、または営業所へご連絡ください。

## 富士ゼロックスグループの営業所一覧

### 営業事業部･支店･営業所

| 営業所 | 電話番号 |
|---|---|
| 第一中央販売本部 | (03) 3584 - 3211 |
| 第二中央販売本部 | (03) 3584 - 3211 |
| 地域販売本部 | |
| 北日本営業事業部 | (022) 221 - 7652 |
| 北海道支店 | (011) 241 - 7341 |
| 仙台支店 | (022) 221 - 7651 |
| 福島支店 | (0245) 22 - 9211 |
| 青森営業所 | (0177) 75 - 2741 |
| 秋田営業所 | (0188) 62 - 4406 |
| 山形営業所 | (0236) 31 - 2662 |
| 盛岡営業所 | (019) 623 - 5475 |
| 北関東営業事業部 | (03) 5814 - 0702 |
| 茨城支店 | (029) 221 - 7575 |
| 埼玉支店 | (048) 641 - 5012 |
| 新潟営業所 | (025) 247 - 2211 |
| 宇都宮営業所 | (028) 622 - 4111 |
| 群馬営業所 | (0273) 26 - 1721 |
| 南関東営業事業部 | (03) 5814 - 0704 |
| 千葉支店 | (043) 297 - 2361 |
| 神奈川支店 | (045) 224 - 1302 |
| 山梨営業所 | (0552) 26 - 5731 |
| ニューマーケティング営業部 | (0120) 84 - 2209 |
| ドキュメントソリューション営業部 | (045) 224 - 1302 |
| 東京第一営業事業部 | (03) 3348 - 4551 |
| ドキュメントソリューション第一営業部 | (03) 3348 - 1891 |
| ドキュメントソリューション第二営業部 | (03) 3293 - 1459 |
| ネットワークソリューション第一支店 | (03) 5418 - 7280 |
| ネットワークソリューション第二支店 | (03) 5418 - 7270 |
| ネットワークプリンティングシステム第一支店 | (03) 3552 - 1411 |
| ネットワークプリンティングシステム第二支店 | (03) 3293 - 1452 |
| ネットワークプリンティングシステム第三支店 | (03) 3354 - 0511 |
| クリエーションビジネス支店 | (03) 3354 - 5901 |
| ニューマーケティング営業部 | (03) 3348 - 1898 |
| 東京第二営業事業部 | (03) 3348 - 4115 |
| ドキュメントソリューション営業部 | (03) 3348 - 1820 |
| 城東支店 | (03) 5828 - 6221 |
| 城南支店 | (03) 5423 - 5111 |
| 城西支店 | (03) 3400 - 5161 |
| 城北支店 | (03) 3981 - 3221 |
| 東京西支店 | (042) 524 - 8111 |
| 中部営業事業部 | (052) 583 - 1741 |
| 名古屋第一支店 | (052) 583 - 4521 |
| 名古屋第二支店 | (052) 583 - 9621 |
| 東愛知支店 | (0566) 83 - 1771 |
| 静岡支店 | (054) 255 - 2361 |
| 長野支店 | (026) 227 - 0769 |
| 北陸支店 | (076) 222 - 2591 |
| 沼津オフィス | (0559) 63 - 1324 |
| 浜松営業所 | (053) 454 - 8365 |
| 岐阜営業所 | (058) 276 - 1311 |
| 福井営業所 | (0776) 23 - 0442 |
| 富山オフィス | (0764) 31 - 8751 |
| 三重営業所 | (059) 226 - 1924 |
| 大阪営業事業部 | (06) 6271 - 8352 |
| 京都支店 | (075) 241 - 0281 |
| 大阪第一支店 | (06) 6271 - 5285 |
| 大阪第二支店 | (06) 6315 - 7200 |
| 大阪北支店 | (06) 6305 - 3941 |
| 大阪南支店 | (06) 6633 - 5923 |
| 大阪東営業所 | (06) 6747 - 2680 |
| 神戸支店 | (078) 272 - 4411 |
| 滋賀営業所 | (0775) 22 - 4685 |
| 阪神営業所 | (06) 6412 - 4631 |
| 姫路営業所 | (0792) 82 - 3030 |
| 奈良営業所 | (0742) 26 - 6811 |
| 和歌山営業所 | (0734) 33 - 1460 |
| 中国四国営業事業部 | (082) 262 - 2018 |
| 岡山支店 | (086) 225 - 7231 |
| 広島支店 | (082) 262 - 2011 |
| 山口営業所 | (0839) 24 - 0600 |
| 山陰営業所 | (0852) 21 - 9494 |
| 高松営業所 | (0878) 34 - 2111 |
| 松山営業所 | (089) 941 - 5661 |
| 九州営業事業部 | |
| 福岡支店 | (092) 411 - 9100 |
| 北九州営業所 | (093) 541 - 2681 |
| 佐賀営業所 | (0952) 26 - 8750 |
| 長崎営業所 | (095) 824 - 0911 |
| 大分営業所 | (0975) 34 - 3463 |
| 熊本営業所 | (096) 322 - 3131 |
| 宮崎営業所 | (0985) 25 - 8383 |
| 鹿児島営業所 | (099) 253 - 1881 |
| 沖縄営業所 | (098) 863 - 8866 |

### 地区販売会社

| 会社 | 電話番号 |
|---|---|
| 北海道ゼロックス株式会社 | (011) 271 - 4533 |
| 岩手ゼロックス株式会社 | (019) 653 - 5519 |
| 宮城ゼロックス株式会社 | (022) 221 - 2131 |
| 福島ゼロックス株式会社 | (0249) 27 - 1011 |
| 群馬ゼロックス株式会社 | (0273) 61 - 1431 |
| 栃木ゼロックス株式会社 | (028) 637 - 5111 |
| 茨城ゼロックス株式会社 | (029) 229 - 2911 |
| 埼玉ゼロックス株式会社 | (048) 647 - 3211 |
| 千葉ゼロックス株式会社 | (043) 221 - 2711 |
| 東京ゼロックス株式会社 | (03) 3205 - 7211 |
| 多摩ゼロックス株式会社 | (042) 645 - 4851 |
| 神奈川ゼロックス株式会社 | (045) 681 - 1101 |
| 新潟ゼロックス株式会社 | (025) 246 - 1313 |
| 長野ゼロックス株式会社 | (026) 227 - 1231 |
| 静岡ゼロックス株式会社 | (054) 255 - 4431 |
| 北陸ゼロックス株式会社 | (076) 260 - 0900 |
| 愛知東ゼロックス株式会社 | (0532) 32 - 7601 |
| 愛知ゼロックス株式会社 | (052) 201 - 7141 |
| 岐阜ゼロックス株式会社 | (058) 276 - 3058 |
| 三重ゼロックス株式会社 | (059) 228 - 7561 |
| 京都ゼロックス株式会社 | (075) 255 - 3091 |
| 大阪ゼロックス株式会社 | (06) 6281 - 1501 |
| 奈良ゼロックス株式会社 | (0742) 27 - 7801 |
| 兵庫ゼロックス株式会社 | (078) 232 - 3341 |
| 四国ゼロックス株式会社 | (0878) 23 - 4565 |
| 岡山ゼロックス株式会社 | (086) 243 - 1051 |
| 広島ゼロックス株式会社 | (082) 243 - 3221 |
| 山口ゼロックス株式会社 | (0836) 21 - 1147 |
| 北九州ゼロックス株式会社 | (093) 531 - 3313 |
| 福岡ゼロックス株式会社 | (092) 271 - 3111 |
| 長崎ゼロックス株式会社 | (0958) 22 - 3330 |
| 熊本ゼロックス株式会社 | (096) 367 - 2220 |
| 鹿児島ゼロックス株式会社 | (099) 254 - 4222 |
| 株式会社テクノル | (0178) 47 - 8311 |
| 秋田ゼロックス株式会社 | (0188) 23 - 4645 |
| 山形ゼロックス株式会社 | (0236) 24 - 2468 |
| 株式会社テクノ山梨 | (0552) 33 - 3151 |
| 福井ゼロックス株式会社 | (0776) 34 - 3666 |
| 和歌山ゼロックス株式会社 | (0734) 46 - 4300 |
| 株式会社ケーオウエイ | (0859) 35 - 5550 |
| 株式会社ミック | (0852) 27 - 0329 |
| 大分ゼロックス株式会社 | (0975) 56 - 7112 |
| 株式会社ソアー | (0952) 33 - 0694 |
| 宮崎電子機器株式会社 | (0985) 20 - 7666 |
| 沖縄ゼロックス株式会社 | (098) 867 - 1415 |

営業所名、電話番号は変更になることがあります。(1999年2月現在)

**富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターへご連絡ください。**

**フリーダイヤル 0120-27-4100**

(フリーダイヤル受付時間:土、日、祝日を除く9～12時、13～17時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。)

インターネットホームページで商品情報を提供しています。アクセス先は、http://www.fujixerox.co.jp

*DocuPrint C1250* 取扱説明書(設置編)

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
ドキュメントエンジニアリング部
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22
電話 03 (3585) 3211

発行年月―1999年 5月 第1版
5月 第2版

Printed in Japan